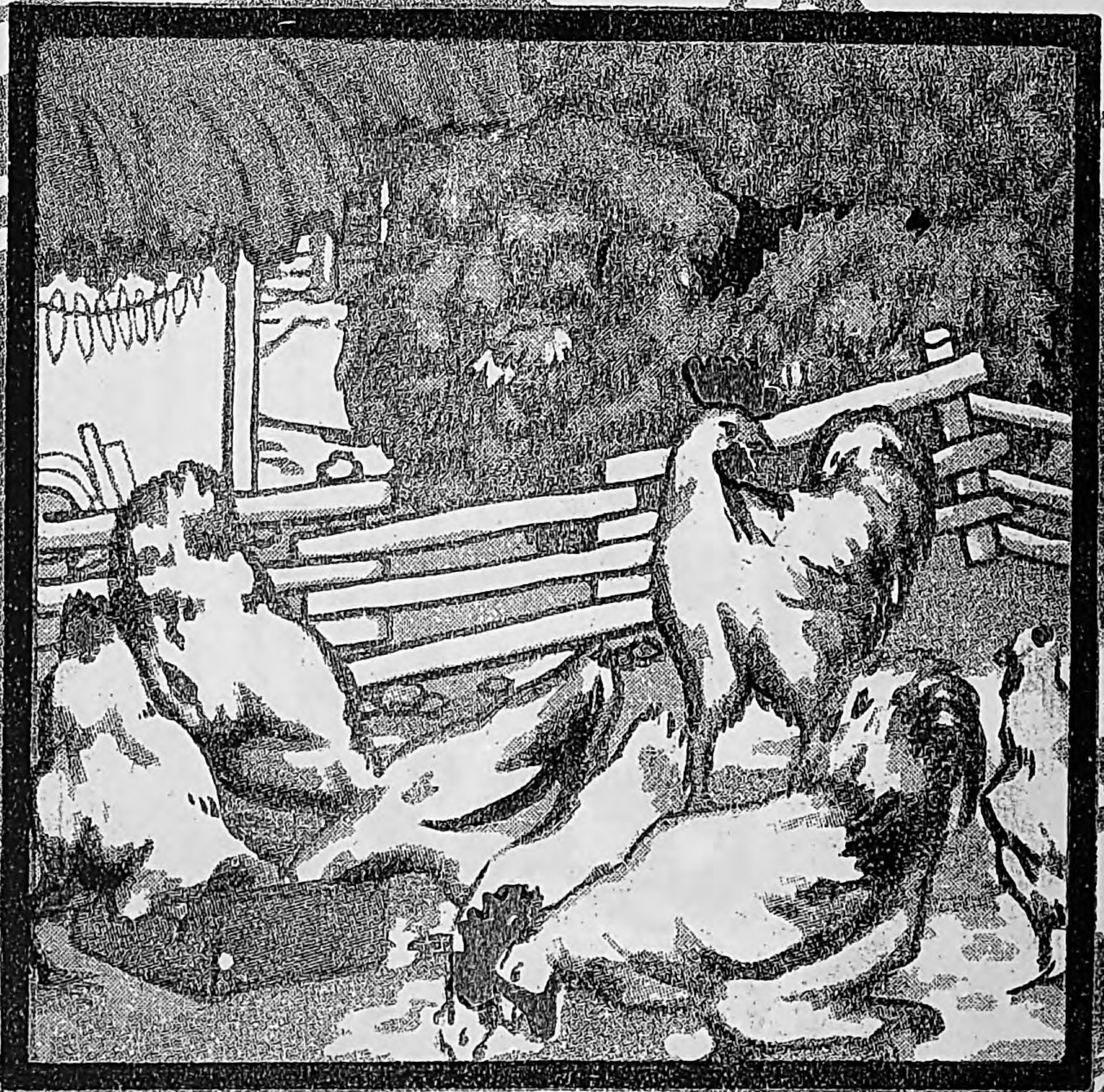
大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可　大正十年七月廿七日印刷納本
大正十年八月一日發行（毎月一回一日發行）

處女の友

第四巻　八月　第八號

4巻8号



處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へ乞ふ○

經濟的家庭染料の大王

燈臺印 絞り染下繪用 青花（あをばな）

定價壹袋十錢 送料二錢

絞り染の下繪をお書きになるには本品を御使用下さい使用法簡單にて具合よろし

燈台印

家庭用改良染粉

みやこ染

●みやこ染は　御婦人御子供樣方どなたにも極く手輕に美しく染る輕便な染粉です

●みやこ染は　他の染粉の如く色留粉を用ひずして充分堅牢です

●みやこ染は　色の配合自由自在御望みの色が思ふ儘に出來ます

色合（紺、黑、赤、淺黄、茶、黄、海老茶、紫、オリーブ、桃色、牡丹、萠黄、納戸、鶯茶、樺色、鐵色、鼠、藍鼠等、

定價（小瓶（半反染）金二十五錢　大瓶（一反染）金四十五錢　（染法は現品に詳しく書いてあります）

◎賣捌は全國の小間物店荒物店藥店にあり

◎御買求めの節は燈臺印みやこ染に御注意

東京小舟町

かつらや

電話浪花 長一九五八番 二九五八番

振替東京三九五番

御申越次第染色標本（說明書進呈此の廣告を見し旨御書添を乞ふ）

絞り染用染料として大好評

化粧界の流行兒

萬人向の薄化粧料

ホーカーパツト

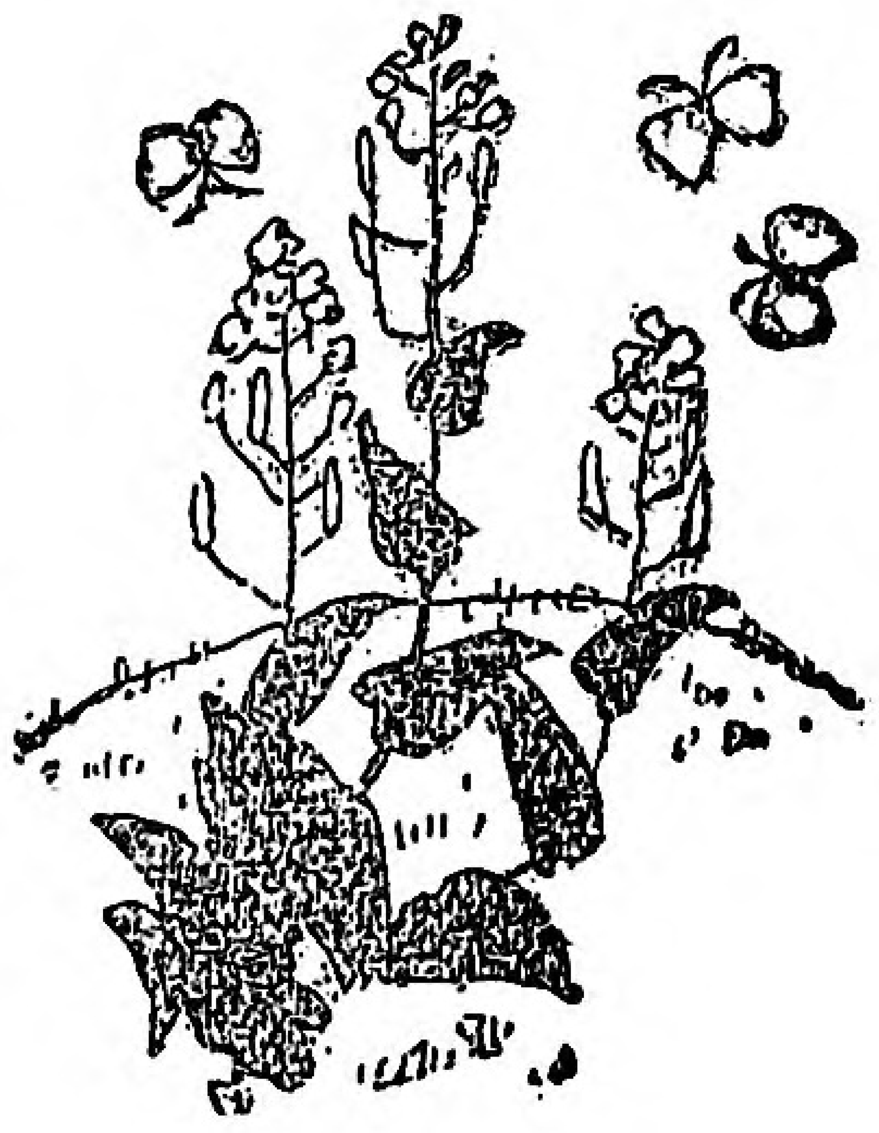
塗けた白さに厭味がなく
誰人も手輕に塗けられる

一瓶定價三十五錢

ホーカー液本舖　堀越嘉太郎商店

東京神田和泉橋　振替東京一五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



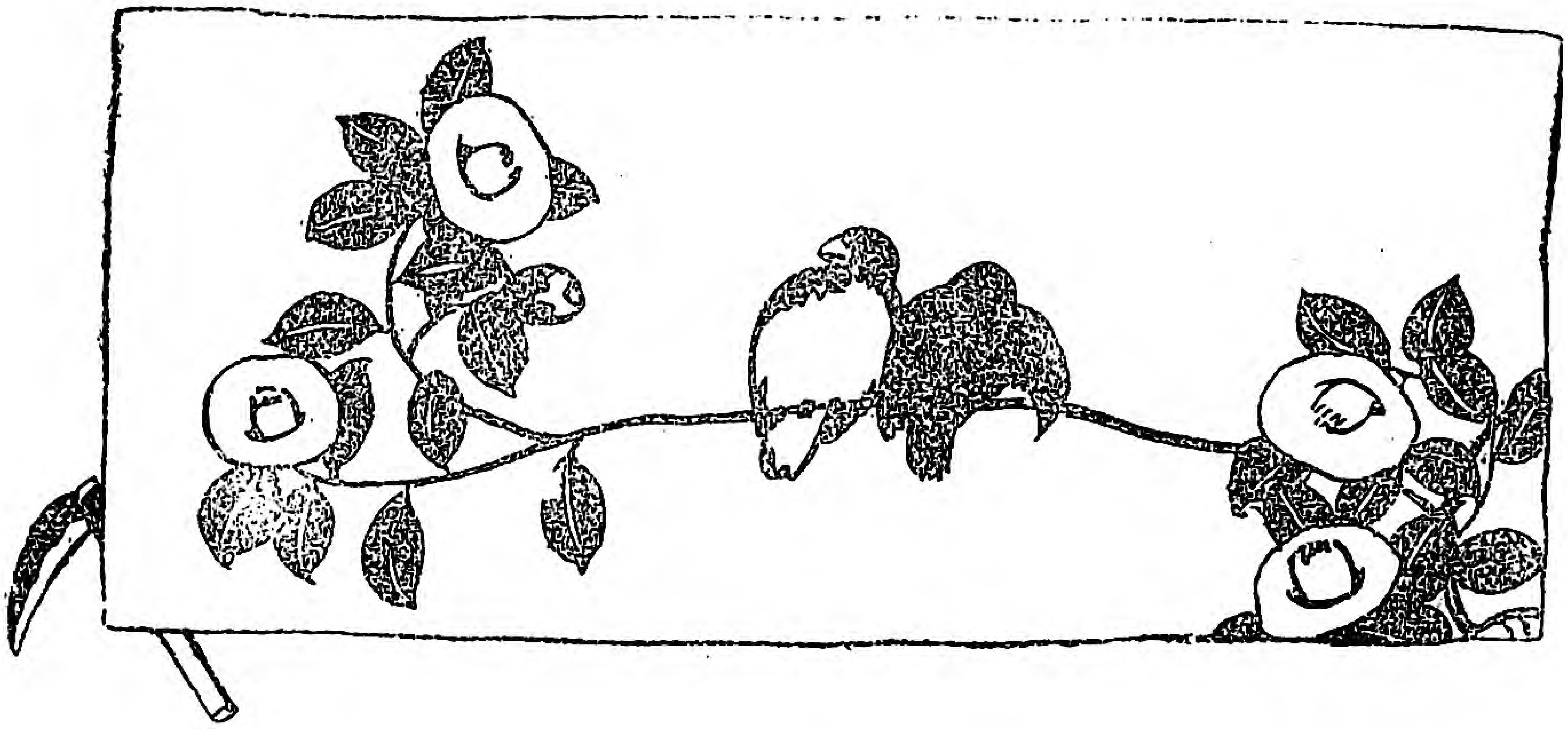
處女の友 大正十年八月號 目次

○表紙 平和の村……田代紫光筆
○口繪 地方處女會の清きつどひ

◉記事◉

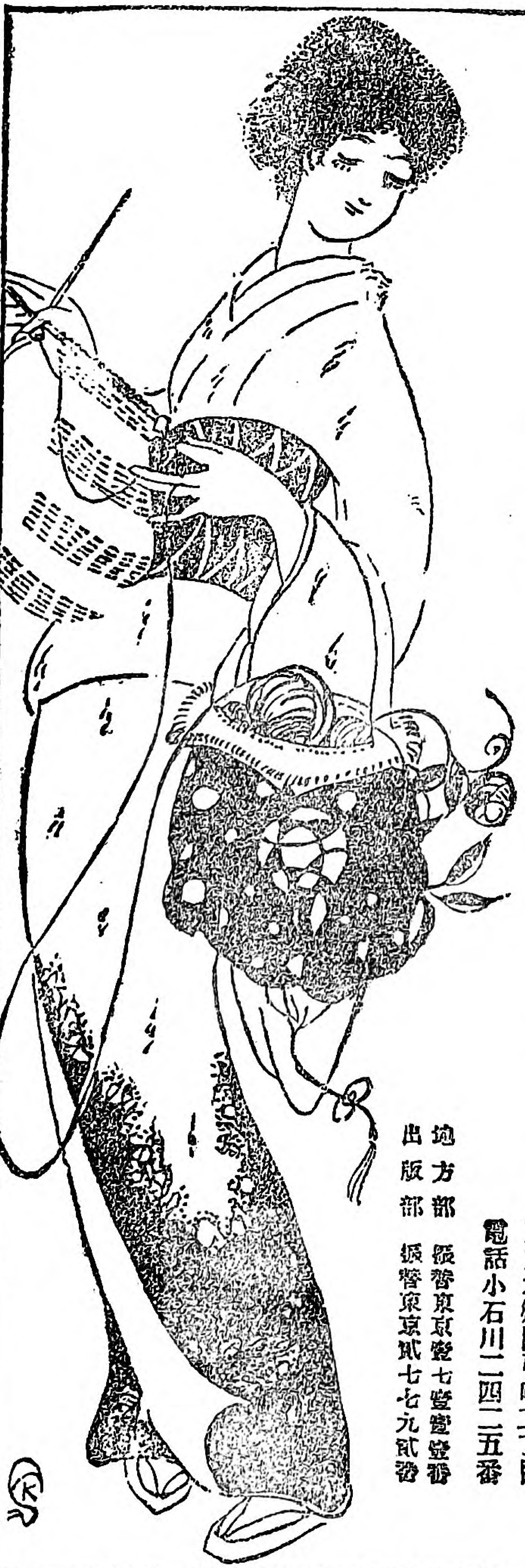
◉巻頭(波と人)……一
◉竹田宮妃の御養蠶……二
◉婦人運動は男子の爲めである……(社說)……三
◉二人の工女の運命……本會理事 山脇房子……八
◉よく働きよく遊ぶフランスの婦人 本會理事 國府種德……一一
◉工場處女會と娯樂……文學士 小林愛雄……一五
◉家庭婦人のいろいろ……本會理事 大江すみ子……一七
◉最愛の我兒を殺した父 マテオ 本會理事 天野藤男……二〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



二つの展覧會のぞ記……婦人記者…二五
乙女の日記……渡邊みつ子…二八
よもやま……二九
國際聯盟の話……三〇
新らしいお餅の作り方……三二
臺所から……三二
身の上話……三七
新讀者紹介者芳名錄……四〇
結婚する前に……天野清子…四一
青森の夏……松崎ひろの…四四
處女會指導者講習會時間割……四八
處女文壇……四九
處女歌壇……五〇
處女俳壇……五〇
誌友くらぶ……五四
編輯だより……六二
考へ物……六二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



女子技藝材料並に器具

袋物。造花。刺繡。絽差。摘細工。編物。組紐。
果實。壇細工。裁縫。絞り用具及染料。

女子高等師範學校
女子美術學校御用
共立女子職業學校

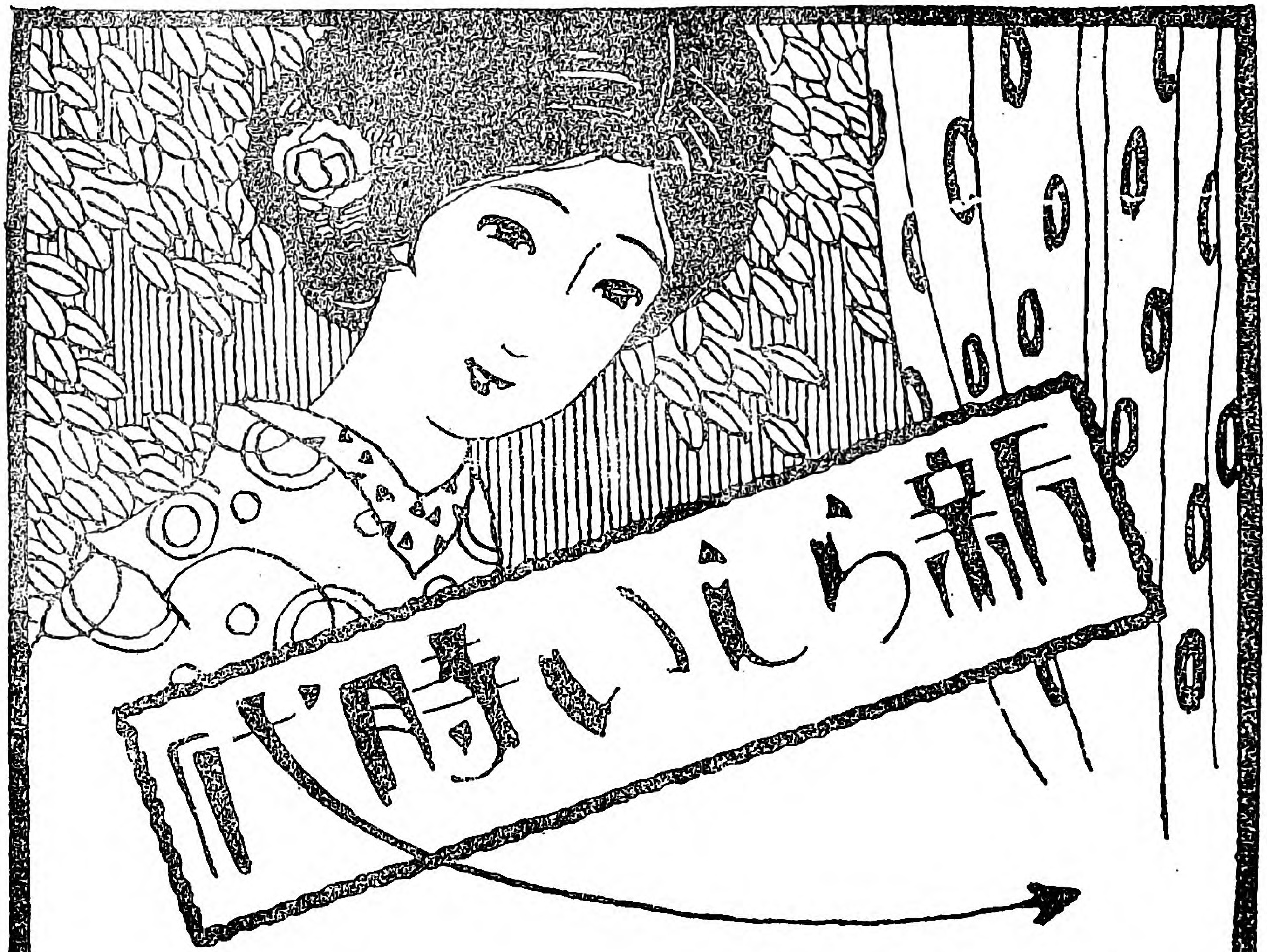
倉持本店

無代進呈
定價表は御申込次第無代進呈します

東京本郷區弓町二丁目
電話小石川一四二五番

地方部 振替東京壹七壹壹番
出版部 振替東京貳七七九貳番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



に遅れない丈の修養は是非必要であります。高等女學校に行けない方々の爲に拵へたのがこの

新制 高等女學校講義録

（十五ヶ月で卒業出來る）

であります。内容見本規則等はお申越し次第無代でお送りします。

會長 貴族院議員子爵 菊花高等女學校長 清岡長言

顧問 實踐女學校長 下田歌子

顧問 女子醫學專門學校長 東京至誠病院長 吉岡彌生

學監 日本女子商業學校長 嘉悦孝子

講師 專門の大家先生 三十八名執筆

月謝 壹圓貳拾錢 毎月二回發行

東京市麹町區土手三番町廿壹番地
日本女子商業學校内

大日本婦女教育會

電話番町四三四八番 振替東京五三八六四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

簞笥、長持
御婚禮用具

調製

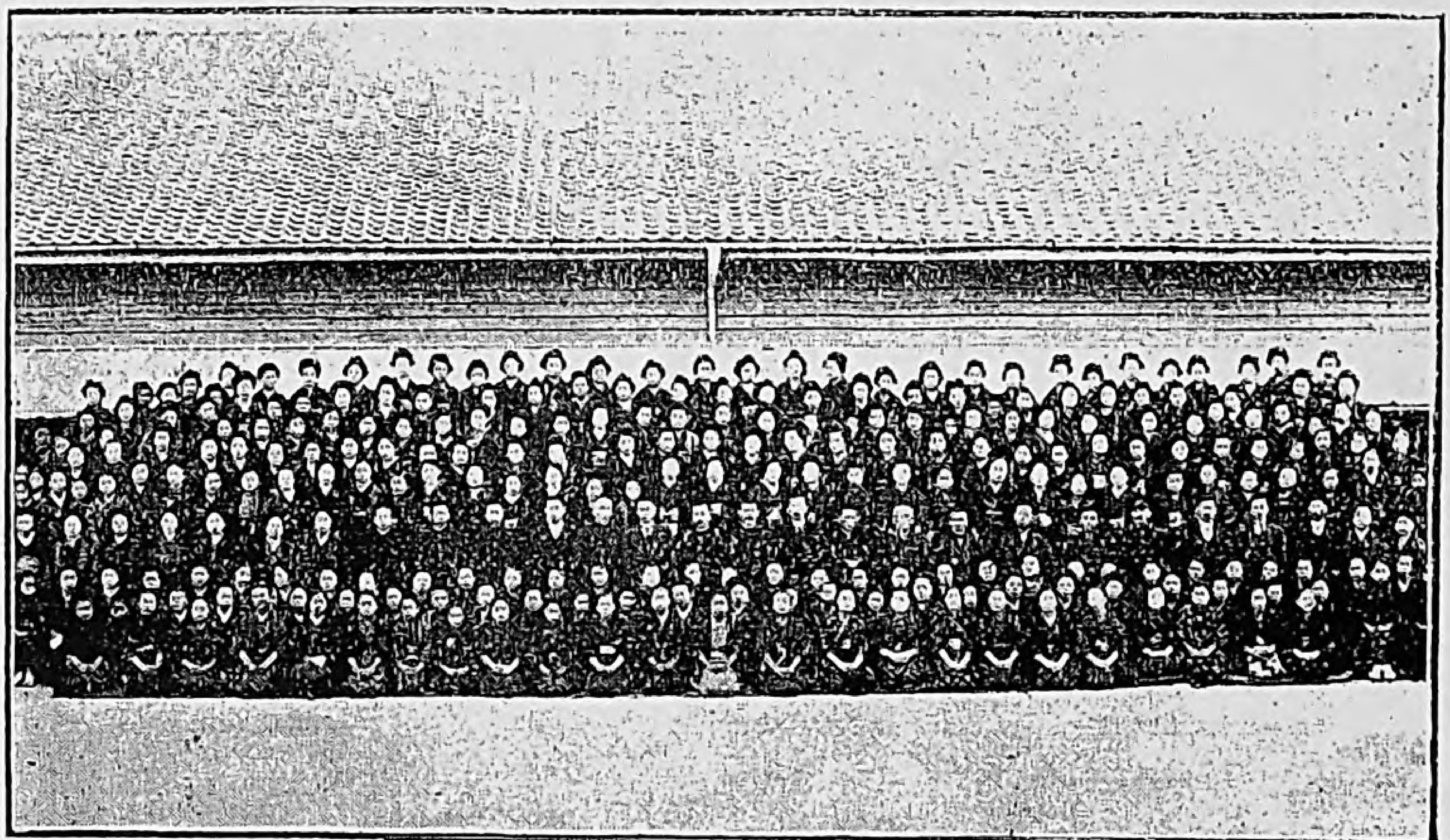
東京市内製造業者直營
中央簞笥工販賣所
電話淺草三〇三四番

弊所は淺草駒形町停留所前にて電車(乘り降り)も御便利に御座候觀音へ御參詣之節は御買上の有無に拘はらず是非〱當陳列所へ御立寄被下製造品各種御高覽の上にて他店製品と比較御高評を願上候

但御注文品市内無料配達いたします
地方へ御送品類は入念荷作りいたします
荷造及送賃は實費申けます

地方處女會の清きつどゐ

靜岡縣志太郡燒津町處女會



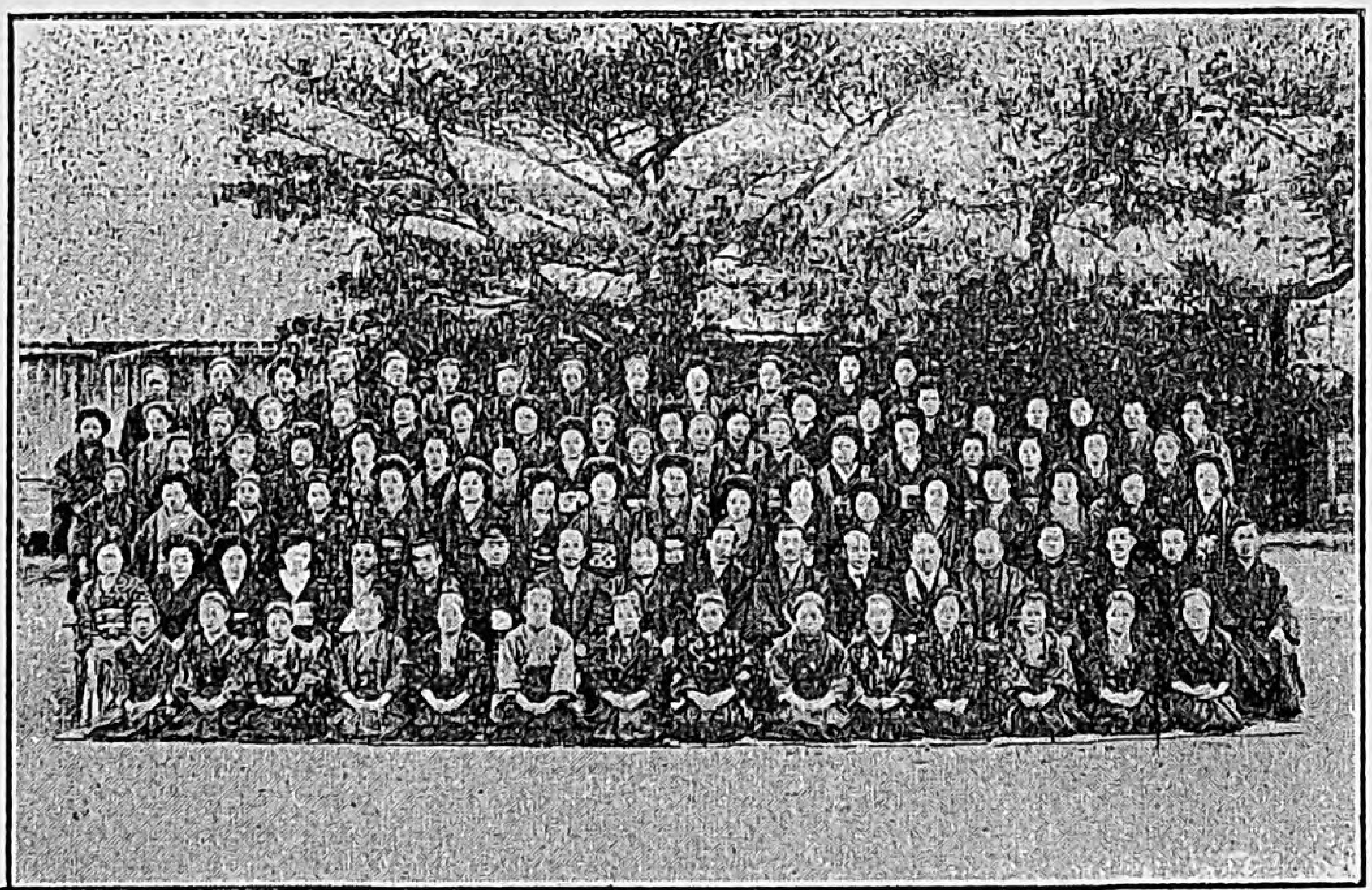
神奈川縣津久井郡
佐野川村
東部處女會

裁縫講習修了記念

和歌山縣伊都郡戀野村
婦人總集會南部支部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會の清きつどゐ

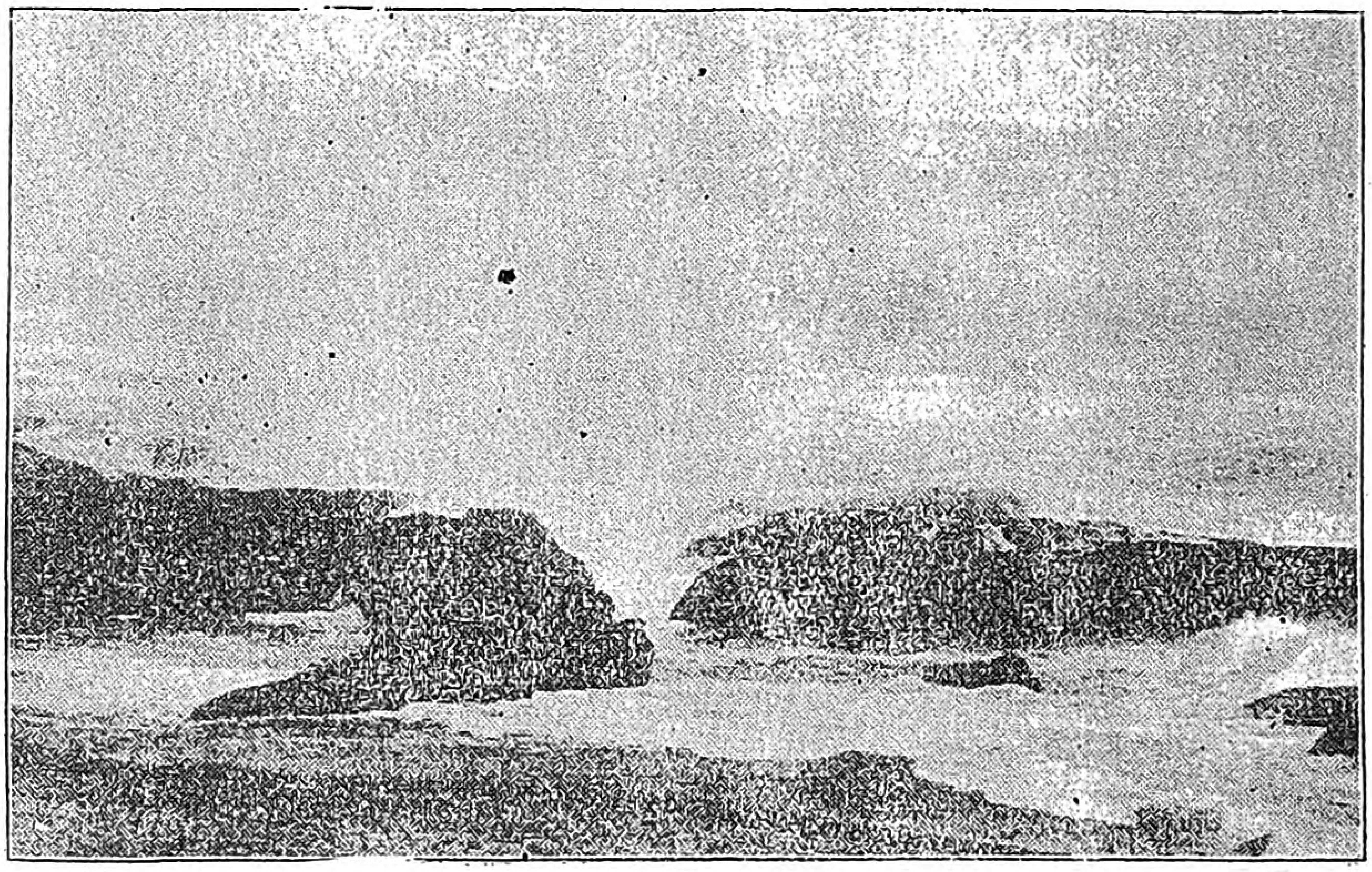


愛知縣渥美郡高師村
早蕨會

岡山縣苫田郡阿波村
處女會一夜講習
靜座してゐる所

香川縣三豐郡常磐村
婦人會處女部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



常陸大洗の怒濤

處女の友　八月號

海と女

山も靜かで落ちついていゝが、海もいゝ。山を父とすると、海は母だ。私は海が好きだ。ことに、岩の上に立つてあのひろ〳〵とした大海原を眺めてゐると、氣も心も廣く深くなつて、天然の壯大に魅せれてしまふ。足許をみると、波が岩に當つては碎けて散る。その間に小さな魚が泳いでゐる。たのしさうに泳いでゐる。魚には、此處が天地である。帆かけ舟が通る、あの中にも人がゐる。汽船が通る、あすこにも幾千人といふ人がゐる。男も女も——と考へると、海は廣い、天地はひろい。狹い考へをもつてはならぬ。女もとき〴〵は海に親しみ、波に親んで海の樣な廣い心を養はねばならぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

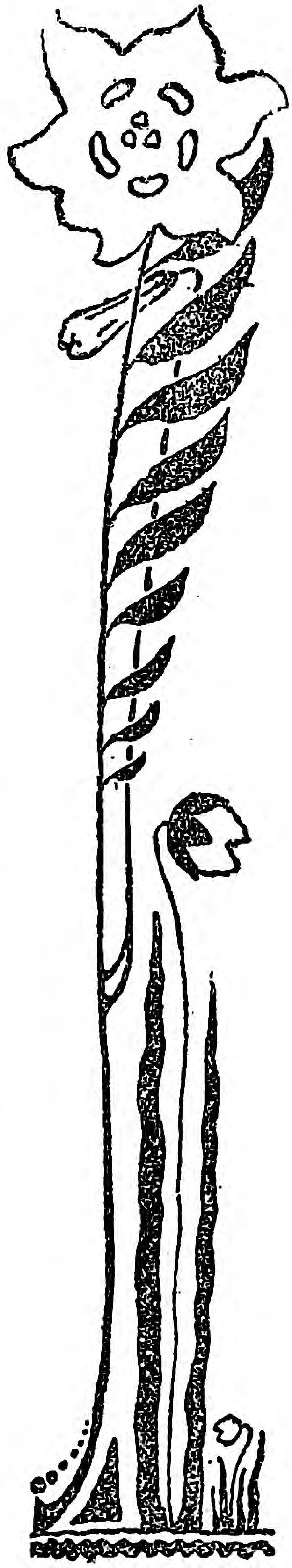
昌子内親王の御養蠶

竹田宮妃昌子内親王殿下には、御邸内に於て、御手づから御養蠶を遊ばされて居られます。蟻量は枠製一枚で五月四日掃立、内約七分の一を妹宮北白川宮妃殿下に御分け遊ばされ、同十日第二齡、十五日第三齡、廿一日第四齡廿八日第五齡に達し、蠶座籠數一枚平均六百五十入廿三枚となつたが、飼育成績極めて良好で、全部雪白の繭を結んだのを妃殿下御自身侍女を御指圖なされて、繭かきを行はせられました。

妃殿下には掃立から上簇まで、侍女を御相手に、御自身御飼育遊ばされて若宮、姫宮御二方にも御手傳はせ遊ばされました。繭かきの日も殿下には白いエプロンを掛けて、御働きになりました、恰度土曜日であつた爲學校からお歸りの兩殿下を御待受けられまして、收繭の御喜びを御分ちなさいました。桑は御邸内稻荷山の桑畑から妃殿下御自身に摘み取られました、繭は生絲に製した上、何れ御料の絹を織られることゝ存じます。又殿下には御庭園の一部に蔬菜園を設けられまして、御自身に茄子胡瓜等を御栽培になつて居られます。そして折にふれ時につけ、若宮、姫宮殿下に御説明申上げて實物教授の御資料となさいます程に兩殿下の御教養に御心を注がれますと承り我々婦女子として、感激の至りであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

婦人運動は男子の爲である



(一) 婦人運動とは何か

近ごろ頻りに婦人問題とか、婦人解放とかいふことが、叫ばれますので、之について大體のお話しを致します。

人間が働かなくても樂々と生活が出來ました、大昔に於ては、子を産む役目をもつた女の方が、權力も強く、尊敬もされて居つたさうです。所が今日のように、男子が主もに生活の原資を外に出て働いて得るようになつてからは、女は、家庭に於てこそ、なくてならぬ人として、重んぜられますが、一般社會に對しては、一向權力もなく。重き地位も與へられず、職業につくにしても、敎育を受けるにしても、不公平な待遇を受け、貞操に就ても、割のわるい取り扱ひを受け、『女のくせに』とか『女だから』だとか『どうせ女だから』とかいふことが、平氣で言はれるようになりました。けれど、女も人です、性の差こそあれ、人としてみれば、尊卑のあるべき筈はありません。人格に於ても敎育に於ても、職業に於ても、一切平等の取扱ひを受くべきてす。つまり女が社會に對して、男女平等の權利を主張し職業に就て、敎育に就て、機會の均等を得んとする運動、是、婦人運動といふようであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

人智の進歩しない時代に於ては、「泣く子と地頭には勝たれぬ」或は「長いものにはまかれよ」といふ風に男は頭から女を、一段低いものと見下げ、女も其の屈辱に甘んじて居つたようですが、人間の智識文化が進んで來ますと、凡て不自然不公平といふことが許されなくなり、社會百般の事柄が、人道といふ大義に基き、正義といふ鏡に照らしたり行はれるようになりました。人間を賣買すること之を奴隷制度と申しまして、外國ではツイ先頃まで大ビラに之が行はれて居りましたが、是は人道上許しがたいことだといつて禁止されました。そのように、婦人の問題についても、今まで、人道上、人權上不合理、不公平の事柄の矯められんとする事は、是れ當然のことです。婦人運動の盛んになつたことは、人間が良心に立返り、婦人が魂から目ざめかけたか證據で、世界の大進歩の瑞祥なのです。

（二）男に對して鬪を挑むな

只私どもは、この婦人運動は、目的であると共に、一つの方法であるといふことを知られねばなりません。固より今の社會は、男子が重もに構成してゐて、婦人に、不利益が多いでせう、其を打破する運動を排するものではないが、其は結局ある目的に達する一の手段方法であると思ひます。ある目的といふのは、いつも申します通り「住みよい心地よい地上の天國」の創設であります。

男子も女子も、どちらも幸福に生活して、社會國家を謳歌するといふ、さういふ理想の社會をつくるといふのが、私共國民の、國家に對し、私共人間の人類に對する務めであると信じます。其には、男子だけではいけなく、女子のみでもいけない。どうしても、男女協力して、事に當らねば早くたのしいその世界は啓けません。所が、人間の半數を占めてゐる婦人が、不幸な待遇を受け、不公平な取扱ひを受けてゐるとすると、男女協力どころか、女が自身の幸福を得ないことになります。仍で、先づ第一に、幸福なる國家社會をつくる前に、婦人の地位を安定にし、婦人の幸福を進めねばなりません。其は婦人の爲であるのみでなく、結局は、男子の爲、更に進んでは、社會國家の幸福となるのです。詮じつめると、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

婦人運動は、男子の爲

といふことに歸着するのであります。この關係を知らずに、只婦人のみの爲に、婦人運動のみを目的として進みますと、自己の地位權利を向上するに焦急となつて、男子が見えなくなり、或は、初めから男子に對して、戰を挑むような風になりて、甚だ面白くありません。劍を拔くのは最後です。平和の裡に刃に血ぬらずして、圓滿に婦人問題を解決するようにすることが肝心です。

(三) 愛の武器をもつて

喧嘩を解決するに大體二つの方法があります、第一は、警察に訴へて告訴して法の公平なる判決に俟つて是非曲直を決定するといふのが一つ、次は仲裁人に耳を傾け、成程と心から悔ゐ悟り合つて和解するといふ、この二つについて考へると、どれが快いでせう。

よく夫婦の離別に就て、又入籍について、又貞操料の請求などについて裁判が行はれますが、こうなつては、もう味も匂ひもないと思ひます。「何故同棲しないか」、「其は法に反する」「同棲せよ」といふ判決は下されませうが、お互が理解をもたず、心から嫌ひ合つてゐたとすると、同棲せよといつたとて、どうして温い家庭が營まれませうぞ。

男女問題もどうか男女相互の理解と敬愛を以て解決したいと思ひます。婦人運動者の中には、初めから『私たちは、不都合な男子に對して宣戰を布告する』といふような態度の人もありますが、私は甚だ床しくないと思ひます。

『私達は、男子の幸福の爲に、愛と正義とを以て婦人動運をします』でなくてはほんとうでありません。若し戰爭をするならば、夫婦喧嘩が、夫婦相和せんか爲の喧嘩であるように男女相和するが爲の戰でなくてはなりません。其の武器は愛でなくて何んでせう。つまり婦人が天性の愛を以て男子の心を和らげ、その理解を求めるのです。腕まくりをして、襷掛けになつて、薙刀をもつて『さあ男子共來れ』といふような態度は結局婦人の損です。人間は感情が大勢力を以て働きます。理論や腕力を以て爭ふのは、不得策です。人情はすべてのものを超越して、微妙に働きます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

(四) 男子は女子を理解せよ

全體現今の男子は、婦人に對して理解と情とを持つて居らぬと思ひます。男子が女子を理解し、女子の幸福を圖るならば、婦人問題は起らぬとさへ考へて居ります。故に、婦人が婦人運動を興すのは、男子にとつては、耻かしいことであるとも考へられます。新婦人協會では、拒婚同盟を奬勵してゐますが是も花柳病にかゝつてゐるのを承知で處女と結婚するような青年があるので、其の危險から免れる爲の已むを得ざる同盟で、拒婚が目的でないのは固より、男子の側がみんな品行方正となり處女の人格を重ずるようになれば、そんな同盟の必要はないのです。處女同盟が方々に出來るといふことは、一面青年の不名譽を語るものであります。

私どもは處女會を奬めてゐますが、其は青年會と對立させて、無意義に競爭させようといふような考へは、毛頭ありません。處女會は青年團の幸福の爲に、設けられ、青年會は處女會の仕合せの爲に出來るべきものだと信じます。青年會員が不良性を帶びてゐる地方では、已むを得ず、拒婚問題も必要でせうが、其は決して目的ではありません。ほんとうの目的は、青年と處女と理解し合つて、家庭社會國家の改善を圖るといふ點にあります。婦人運動も同樣に、男子の幸福を增進するが爲に起す運動で女子のみが權利を高め、地位を高める運動ではありません。一日も早く男子全部が婦人の味方になり、婦人に理解をもつて、そして男女協力して社會の改良を圖るような時代の來るのを望んで居ります。

又一部の女子は、現今の法律も社會制度も男子の爲に都合のよい樣に出來てゐるといつて批難しますが、其はさういふ嫌ひがありませう。それを打破して婦人にも平等公平の待遇を與へるべきであるとい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふのが、婦人運動の出發點でせうか、若しほんとうに婦人を理解する男子ならば、その男子の作つた法律に何の不都合がありませうぞ。結局男子の問題に歸着すると思ひます。料理は女子が作ります。けれど「現代の料理は婦人がつくる、其は不都合だ」といつて批難する男子はないでせう。男の口にもよく合ふように作つてくれゝば、男は滿足します。女を理解する男子が、女子を代表して、法律を作り、制度を作つてくれゝば、女は不平所か、却つて感謝することゝ思ひます。

（五）太陽と風の神の爭ひ

女子職業問題も、女子勞働問題も、その傍系ともいふべき女中問題も要するに、男子の理解、資本家、主家の理解を得て始めて解決すべき問題であると思ひます。その解決の方法として、女子自身が、所謂婦人運動、婦人勞働運動をするのも一方法であるが、其と同時に女子が其の先天的特性たる愛、優美、情緒を發揮して、男子の心を和らげ、其の心からの理解を得るような運動も必要と思ひます。

イソップ物語に、太陽と風の神とが、往來を歩行する人の外套を取り合ふ競爭をしたといふ話しがあります。風の神はブーッと大風を下界に吹きよせて、外套を吹き取らうとしますと、その男は、をゝ寒い／＼とついて外套を引きしめてしまひ、少しも離しません。太陽の番になると、太陽はポカ／＼と溫い日光を與へた。すると旅人は、あゝ暑くなつたといひながら、外套のボタンを外づし、しまひには、外套を脱いでしまひ、もつと暑くしますと、外套を木の枝にかけて路傍に休んでしまつたと申します。

婦人が權力を以て、理屈を以て男子より失はれたものを奪はうとしますと、却つて男性は反撥します其はよくないことですが、人間のにみくい性質の現れですから致し方ありません。其よりか、女が優しい心を以て、男子の心を得、男子の理解を得、自然と男子が、心から女子を愛し、敬するように仕向けることが根本であると考へます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

二人の工女の運命

本會理事　山脇房子

◎水と人生

英國の大詩人ロングフエーローの詩の中に細い流れが大河に流れ入らうとする崖ふちに、處女を立たせて考へさせて居るのがありますが、處女時代は恰度人生の岐れ道でありまして、右か左かと將來の進路を決しまして、その心の定め方によつて生涯の幸不幸が定めらるゝ時であります。

さゝやかな流れがまさに大河に入らんとする時行方も知れぬ水の旅路が思はれませう、それと同じく處女時代は人生の行路に於て將に大河に入らんとしての準備中でありますから最も大切な時であります。

◎お光とお小夜

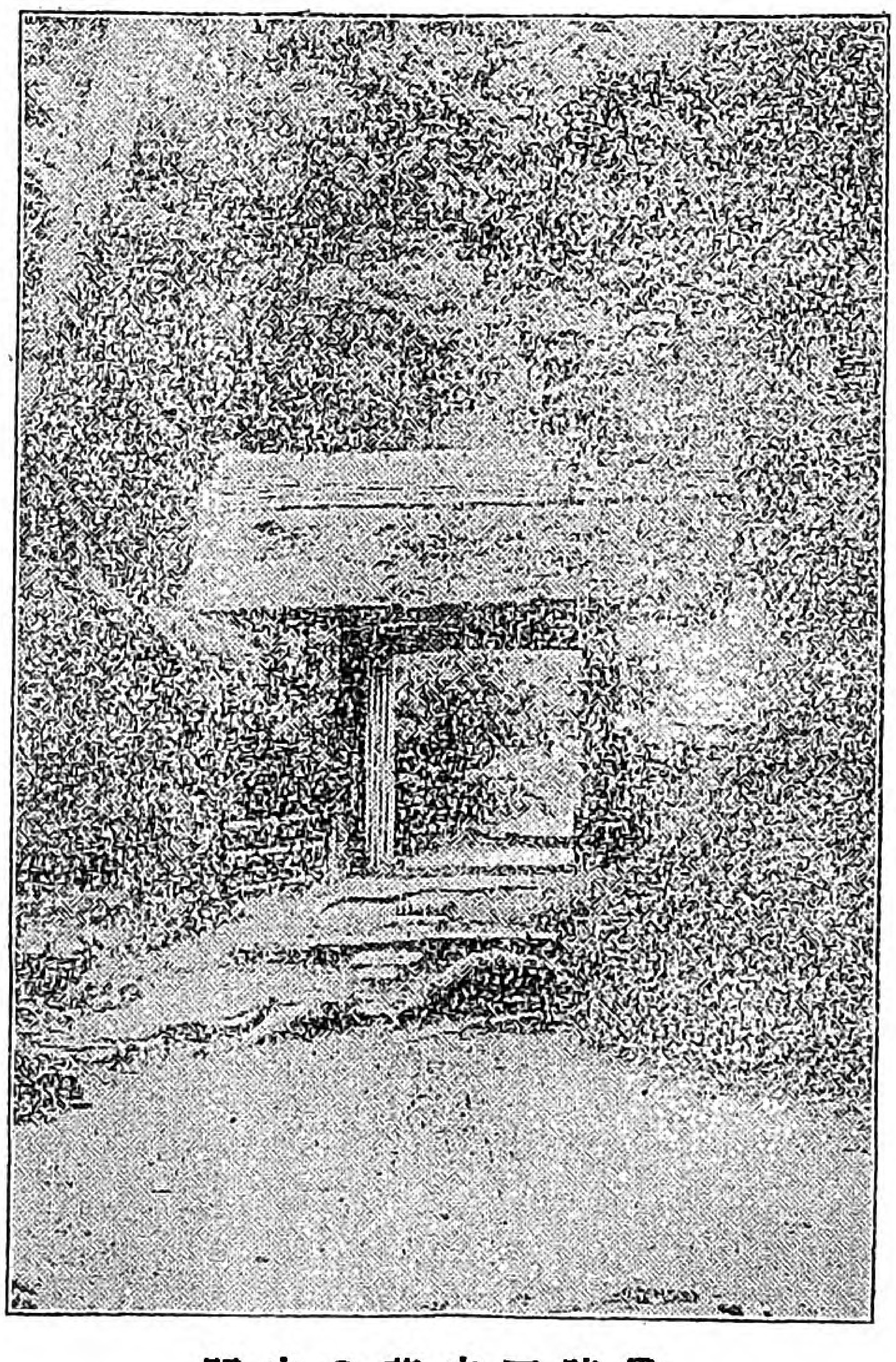
農村の娘さんの中には家計を助け、又自分の身の始末をするために工場に出て働く人も多うございませう我國各工場に働く八十萬人の工女たちの中には、立派になつて歸る人もあれば、又悲しい涙を呑んで故郷にすご〳〵と病弱の身を運ぶ人もありませう。その大なる原因は如何なる處にひそんで居るでありませうか私はこゝにお光とお小夜といふ二人の女工のなりゆきを考へて皆さんの反省を促し度いと思ひます。

◎幸福なお光

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お光は最初女工として稼ぎに出やうとする時に先づ日頃自分の最も信頼する先生におすがりして、何も彼も打明けて勞働に從事しやうとしました。先生もお光の志に感じて、熱心に世話をして、あちこちと調べ歩いて、一番確かな一番設備の完全な工場に世話をして下さいましたので

お光はやがて工場生活に身を置いて、多くの仲間と共に働く事になりました。調査を充分にして置た工場であるだけに、其工場は萬事に行屆いて夜業もなく、寄宿舍もよく整つて、食物から寢具に到るまで何事も整頓して、工場内に運動場もあつて、段々に元氣よく愉快に遊ぶ事も出來、尚喜ばしい事には工場内に學校まであつて裁縫、讀書、技藝、音樂等それ〴〵の先生から敎へて頂く事も出來まして、時には有益な修身講話もあつて智德の修養が充分に出來ました。そして工場内には暖い空氣が漲つて居まして仲間の人が皆精神修養の出來た人でありました。



常陸西山莊の山門

そんな工合でお光は常々元氣よく働くと同時に寸暇を得ては種々の事を敎へて貰ひましたので、數年の後故鄉に歸りました時には天晴婦人としての修養が出來て居ましたので「あゝほんとに立派な婦人だ」と近所の人にも感心をされて、幸福な結婚生活に入る事が出來ました。

◎あはれなお小夜

一方お小夜の方は始めに充分の調査をしないで、い

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ゝ加減な工場に稼ぎに出ました處、その工場内は非常に亂れて居て、男工女工が仕事に疲れ果た身に何の慰安もないので、下等な遊びを樂しむといふ工合で、少しの節制も少しの秩序もありませんでした。温順しいお小夜はこれではいけないと自ら修養に務ましたが、何としても荒み切つた工場内の空氣をか弱いお小夜の力では改める事も出來ませんでした。「あゝつまらない」と心に思ひながらも日夜働き通しの疲れをやすむる暇もなくて、過度の勞働と不愉快な周圍の淫らな樣子を見せらるゝ間に一日一日と身體は衰へて行き心の惱みは多くなるばかりでありました。さうかうする内に温順しいお小夜はあまりに我慢をして、嫌だ嫌だと思ひ乍も周圍の人に壓迫されて、夜となく晝となく働き通しましたので、遂に惡い病氣に罹つて仕舞ました。

毎日たゞぶら〳〵と工場に過して居ても仕方がないので、お醫者に見て貰ひました處、あはれやお小夜は肺病といふ宣告をうけて、遂に工場に働く事も出來ず郷里の家に歸されてしまひました。

郷里の家でも大變驚いて、大切な働き手の娘に床づかれてはどうする事も出來ないといふので、「どうかして癒してやりたい」と一方ならず心配をしましたが、貧しい家に醫藥の資料の充分あらう筈もなく、「あゝかかうか」と思ひ迷つて居る内に、大切な娘の病氣は重るばかり、どうする事も出來ないのであります。

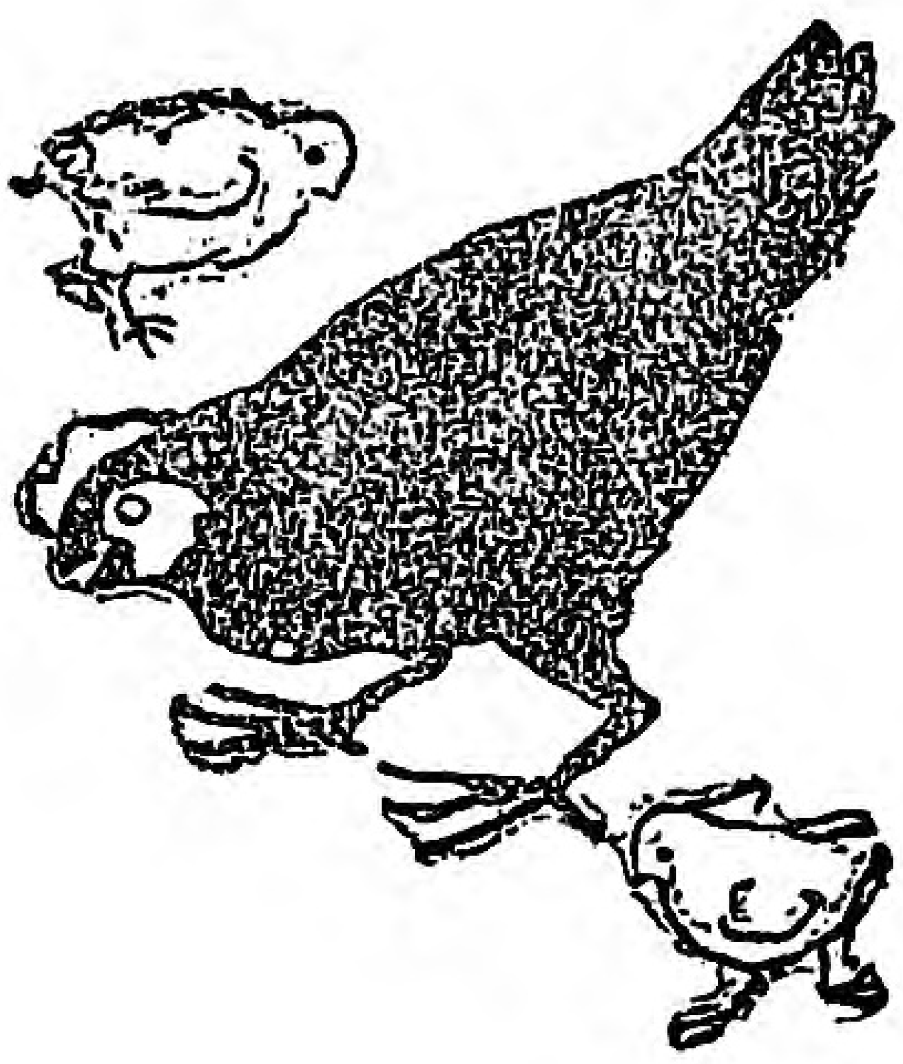
お小夜自身も並々ならず殘念に思つて、最う一度働きたい」と焦れば焦る程病氣が重つて、可愛さうに娘ざかりの望ある身に「あゝ丈夫になり度い」と泣きつゞけながら歸らぬ人となつたのであります。

それのみかお小夜の病氣は一家内の者にまで感染して、妹から弟にといまはしい病氣のために一家の者は續々とたふれて、一村の人は皆お小夜の家を恐るゝやうになつてしまひました。

◎出發點に心せよ

同じ農村から出て工場に働く娘でも、お光とお小夜は何といふ相違でありませう。お光は最初に充分工場を調査して貰つたので、立派な婦徳をそなへて、模範婦人よと村人に賞めらるゝだけのみやげを持つて歸りましたのに引かへ、お小夜は最初の調査が行屆かなかつたために、何の得る處もなくて、恐ろしい病氣をみやげに持つて歸り、村の人たちからまで、忌み嫌はるゝに到りました。ほんたうに人は出發點を充分に考へなければならぬといふ事がしみ〴〵と思はれます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



よく働きよく遊ぶフランスの婦人

本會理事　國府種德

◎西洋の女

歐洲ではイタリーを除く外大概夏は涼しく、イギリス等は冬服のまゝでよい位で、フランスは秋やうなの季候でマルセイユ附近は七月の中程から落葉しまして、八月に落葉してしまひます。

イギリスやドイツの八月頃は青々として居ます。フランスの夏景色はあはれ深く、パリーの中心と云へばあの有名な凱旋門の處でありまして、他國に一寸類のない景色でありますが、四方に道路がついて居て、並木できれいです。秋のやうで悲哀の氣味はありますが、強い景色でありません。

フランス、ベルギー近傍は夏でも暑くありませんので、歐洲人の歡樂時季で旅行者が大へん多うございます。

都會や農村の處女たちは一年の一番よい季節だからよろこんで遊びます。遊泳や旅行は夏にする習慣でありますが、先方の生活狀態から見るとそれは〱質素に愉快に過します。

◎戰後の忍耐

大戰後歐洲婦人は一般に我慢心強く、萬事缺乏に堪へる有樣は私共の想像以上であります。元來フランスの婦人は華美に見られて居ますが、それは着物の着こなしや、選擇が上手なので、一見みやびて居ますが、實際は研究が行屆いてゐるので、戰前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

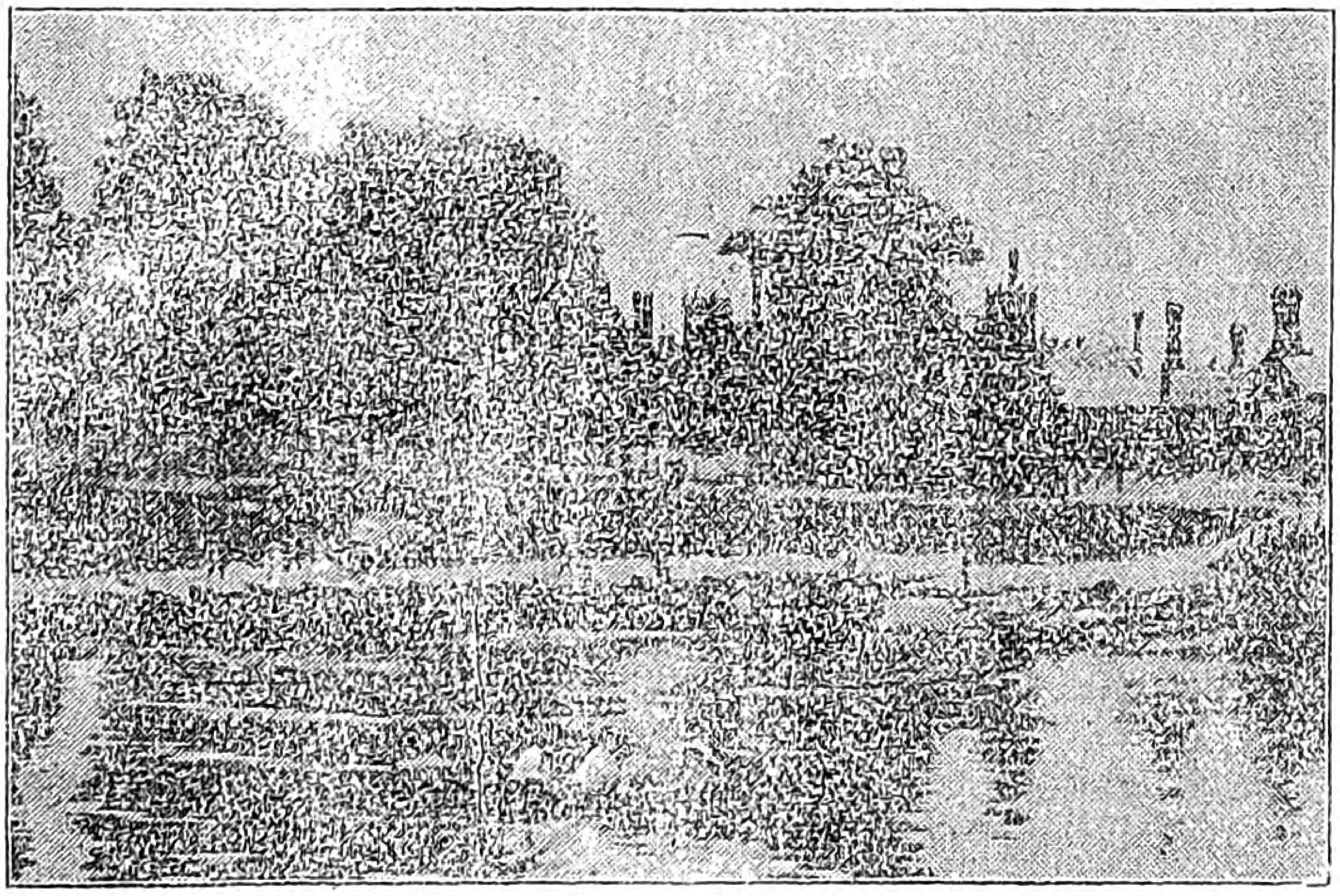
よりはるかに質素であります。

フランスは世界の流行の源として、何でも最先に工夫されて居ますが、今年なども竪縞が流行して、衣服から、オペラバツク、懷中鏡、紙入等まで、黑いかはに竪縞模樣が流行して居ました、多少新らしい意匠を凝らして居ますが、萬事に質素であります。

ロンドンでもその餘波をうけて費用をかけないで質素にして意匠を凝らして居ます。

◉日本人の現狀

かういふ歐洲の狀態を思ひ、日本の現狀を見ますに、一向引しまつた處がなく、不景氣になつた今日にあつても、戰時少し景氣のよかつた時の狀態を續けて、缺乏に堪へるだけの準備が出來て居ないやうであります。



舟遊び

最近内務省の一高等官が洋行するに就いて、六七年ぶりで鄉里に墓參して見て、しみ〴〵と民力涵養、民風改善を益々主張する必要を悟つたと申しましたが、こんな解り切つた事でも、農村の實情を視て見ると、今まで米の飯を食べて居なかつたものが米を食べて居たり、すべての生活狀態が贅澤になつて居るのでこれを萬事缺乏に堪へて居る西洋の生活にくらべてはよほど考へなければならないと思ひます。第一に西洋と日本では國家としても、個人としても收入の尺度がちがふのに、西洋人が我慢してこれだけ缺乏に堪へて居るのに對して、今の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日本の有樣ではつりあひがとれないと思ひます。

私は丁度日本が景氣の好い最中に出發して、ロンドンで日本が不景氣になりかけたといふ事を聞きましたので、定めし日本人は多くの破産者を出して、生活狀態もよほど緊縮して居ると思つて居たのに、案外にも華美な生活を續けて居るのに驚きました。

◎悲しみの後の努力

今度の戰爭がどんなに歐洲人の心を刺戟したか知れません。父を失つた娘、良人や兄を失つた婦人甚だしきは親戚數家にわたつて、不幸に出遇つた家庭では、若い娘にも非常に我慢をさせて、瓦斯に

海牙附近の海水浴

しろ水道にしろ、充分の儉約をして、ずいぶん思ひ切つた我慢をして、戰後時を經た今日までその氣を失はず、一年中の最樂しい夏期にも、旅行も郊外散歩も萬事つゝましやかに質素にして、而も喜んで愉快さうに暮して居ますから、餘分のものは求めないといふ節制力が出來て居て、衣服を飾るにしても、上品で氣の利いた風をして居て決してたくさんの費用を費さぬやうにして居るので、戰後の實力を案外早く恢復する事が出來るだらうと思ひます。

フランスは流行の本原として、新らしい婦人の服裝や、裝飾品を工夫しますので、それ等の流行品はロンドンの商店の窓に飾られ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

寶玉類はイギリスからフランスに送られて、フランスの店を飾つてあります。

さうして誰がそれを買ふかと云ひますと、アメリカやオランダの旅行客が買つて歸るのであります。

イギリスやフランスの婦人はあまりけばけばしくない質素で上品な風を貴び氣の利いた風をしてゐまして日本でいふしやれるといふ事を大變卑んで居ますから國力を恢復する事は存外早からうと思ひます。今度の戰爭であまり打擊をうけてゐないアメリカから來る客は華やかですが、日本はもう好景氣の反動が來て居るのに此のまゝで贅澤して居るのは心細い話で、かういふ外國の狀態に考へても、最う少し缺乏に堪へる訓練が必要であります。

◉上品な趣味と娯樂

あまり質素にせよとばかり申して、沒趣味になつてはなりませんから、もつと年中行事をお互ひに樂しむやうにしたいと思ひます。年中行事の記念日といふものはフランスにもあつて、紀念日は宗教上のお祭りばかりでなく、種々の記念日がありまして、皆分相應にしてよく働きよく遊んでゐます。歌を歌つたり、舞つたり、料理法をかへたりして、手製の菓子のやりとりなどして、樂しく暮し、又芝居の見料も安いので芝居にも參ります。

劇も家庭のものに迷惑をかけず、世間の邪魔にもならぬやうな滑稽諷刺をするやうに役者も劇作家も考へて居ます。

それで日本の家庭でも昔からの年中行事はなるべく活用するやうにして、七夕節句の如きはとりわけ婦人にとつて面白い節句ですから、出來るだけ面白くしたいと思ひます。第一七夕祭の起りを考へて見ましても、牽牛は農業を營むに象つて農業上の勤勞を表して、又織女は技術の神として、婦人はその技術にあやかるやうにいのるのでありますから、婦人にとつて最も意味の深いものであります。

其他種々の年中行事を活用して、質素な中に一家、一村の和樂親睦の機會を多くしたいと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

工場處女會と娯樂

文學士　小林愛雄

○純な心持になつて

近頃全國の工場でだん〳〵と處女會の出來た事は誠に結構な事であります。

目ざめた工女たちが本當に人間として生きるためには在來のやうに、たゞ盲目的に勞働するといふだけではしのび得ない事でありまして、教養に於ても、趣味の方面に於ても、廣くさぐつて自分を富まして行かなければならぬと思ひます。

教育の方面の事は暫く措いて、今娯樂の方面から申しますと、處女會員の一番愉快とする娯樂は、私の今までの經驗によりますと、歌ひ舞ふといふ事であります。

即ち歌をうたひながら一定の振りに從つて、自由に身體を伸ばし動いて行くのが、一番工女たちの喜ぶところであると思ひます。

何故ならば歌をうたひますと自分に今苦しい事も、辛い事も一切忘れて終つて、淸らかな純な心持になつて行くと同時に、更にその節につれて身體を動かしますと、ます〳〵この世界を離れて、淸い別の世界に進んで行くといふやうな氣分にひたる事が出來るからであります。

その歌も在來の小學校の唱歌式でなく、軍隊の進行曲式でなく、古くから日本の各地方に唄たれた、民謠の調子に新らし味を加へたやうなものが、工女たちに喜ばれるやうに思ひます。

それを敎へますには譜や曲などによらないで、直接作曲者なり音樂敎師などから、歌つて聞かせて、工女さんたちは、耳でうけて、それを聲に現はす方法をと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

つて居ますが、この方法によつて、二時間、三時間で充分一つの歌を覺えます。動作について云ひますと日本の昔からある踊そのまゝではいけませんし、西洋にあるダンスの型もいけませんので、その歌の中味にあふやうな振りを私が作り出しまして、二三の工場で敎へましたが、一時間で大體踊れるやうになりました事は大變愉快な現象と思つて居ます。

○歌ふた後の晴やかさ

初めは工女さんたちの中には學校敎育もうけて居ない人がありますので、果してよく短い時間に覺えてくれるか又興味を感じ永く自分のものにしてくれるかといふ事を、多少懸念して居ましたが、敎へて見ますと可成むつかしい曲や複雜な動作も存外たやすく傳へ得る事をよろこんでゐます。

そして歌をうたつて、かるい舞を舞つた後は、工女さんたちが皆元氣よく晴やかに作業に就いて、仕事の能率が増すと工場でも喜んで居ます。

今の工女さんたちは紡績會社など見ますと、物質的には相當に酬ひられて居ると思ひますが、精神的にはまだ／＼授けられねばならぬと思ひます。音樂の如きは其一つで、女工さんたちは音樂を敎へてもらつたならば、もつと遙かに幸福な人間になれると信じます。

一體我國では、働くといふ事に就いてはさま／＼の事が研究されて居ますけれども休みの時間を如何に有効に費すべきかといふ事に就いては深く考へられて居ないのであります。人の生活の大部分は休息に費されて居るのでありますので、生活改善といふ事に就いても、如何に休むべきか、如何に遊ぶべきかといふ事が、一番先に考へられなければならないと思ひます。

その休みの時間を氣高い淸い心持で居るためには歌をうたふといふ事が一番高尙で快いものであります、今日多くの工場で娯樂として芝居とか、活動とか、さまぐ／＼のものが入つて居ますけれど、皆工女さん自身から動くのでなく、受身であります。ところが人のするものを、たゞ見て居るとか、聞いて居るとかいふよりも、自分の方から進んで歌つてきかせて見せると、よけい面白くもあり、又自分の修養にもなるのであります。かういふ意味で、私は全國の處女會員が暇な折々には歌を歌つて、食事をした後でも、夜眠る前にも歌の力によつて自分を立派にし、精神的に向上をはかつて行かれ度いと思ふのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家庭婦人のいろ〳〵

女子高等師範學校教授 本會理事　大江すみ子

◎働く人には報あり

世の中には幸福な人もあり不幸な人もありさま〳〵な運命にあやつられて居ますが、何故同じ人と生れてこんなにも違ふものであるかといふ事を四十の坂を越えた今日、私はしみ〴〵と考へるのでございます。そして人の幸不幸の大部分は其人の心掛け一つて作られて居るといふ事を痛切に感じました。

世の中のすべての有樣を考へますに、あらゆるものが皆道理にかなつて居て、少しも不自然な事はない筈であります、それて私はあくまでも働く人には働いたゞけの報酬が與へられ、怠ける人には又それだけの應報のある事を主張して、家庭に於ける婦人のいろ〳〵について申しあげ皆さんの御參考にしたいと思ひます

◎圓滿な家庭

感心な主婦は先づ朝大變早く起きます、そして赤兒の目ざめぬやうに靜かに靜かに臺所をすませ、戸を明けると子供が眼をさましますので、戸を明けぬ前にお雜巾までかけてしまふ程に手まわしよくして、自分の身じまひまで殘らずしてしまひます。

さうして置きますと子供が起きてもすぐその相手をする事が出來、戸を明け離すともう食事の支度がすつかり出來て居ますから、すぐに御飯にしてお目ざをやる事もなくて、赤兒も機嫌よくする事が出來ます。

それて主人の出勤迄に家中の事が殘らず片づいて居ますからすぐに裁縫にとりかゝられ、どん〳〵縫物も出來ますから、その家の經濟にも大變都合がよく、お

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

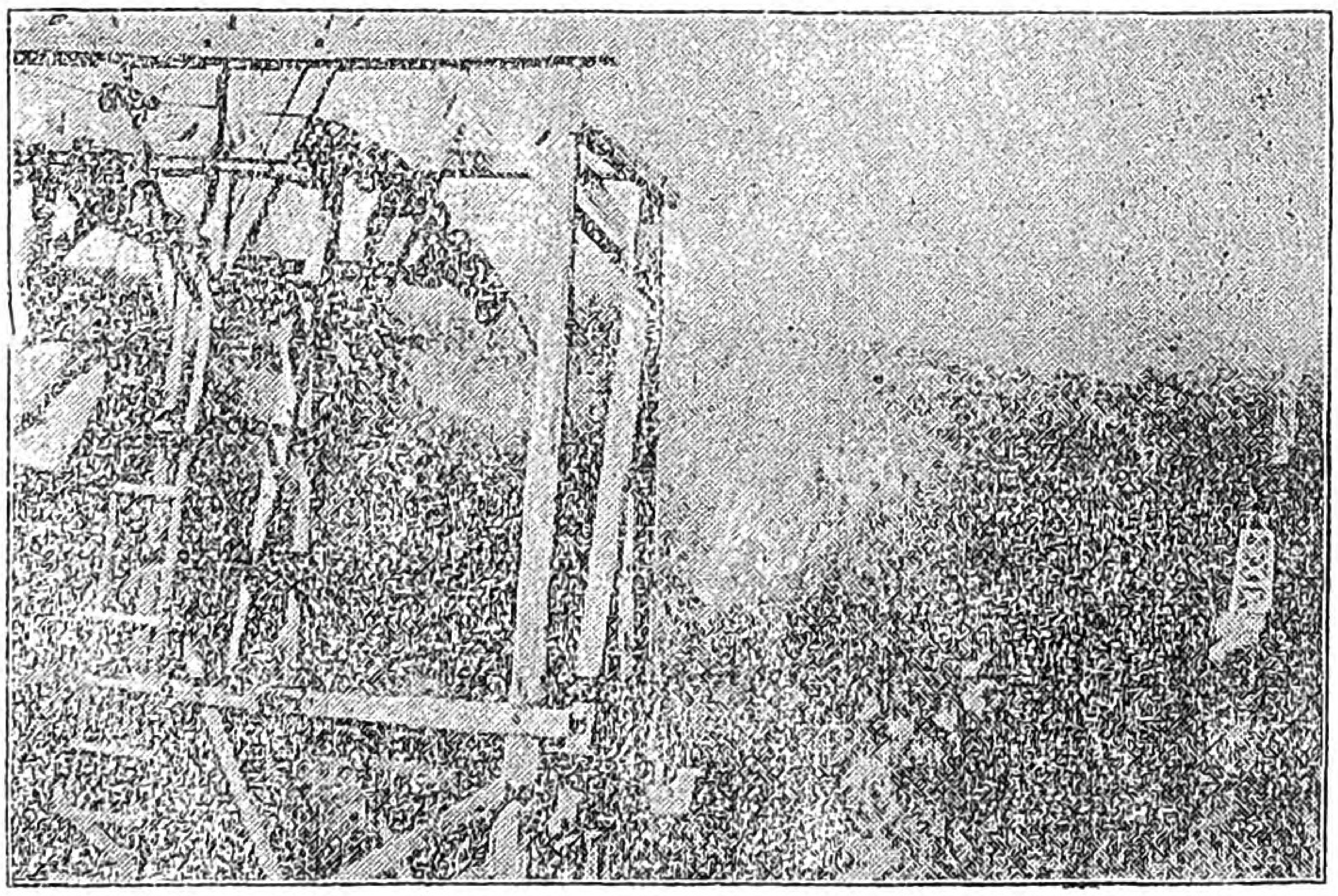
まけに暇を見ては親戚のものから他家のものまでぬつてやる事も出來るやうになります。

早起は家の榮ゆる基と申しますが普通より一時間ばかり早く毎朝起きるためにかういふ婦人は家の富を增し又他人をまで喜ばするやうになるのであります。

◎不規則な家庭

これと反對に朝寢をする奥さんは家中の事がすべて不整頓であります。

朝子供と共に眠つて居て、子供が起きるまでつい眠い眠いと寢て居ますと、自分が起きる時には、もう子供が起きて居ますので、何もかも一しよになつて、家の中は大混雜となります。



福島縣沼尻硫黃會社

御飯を焚く、戸を開ける、掃除をする子供の相手をするといふ工合では到底自分一人の手でまわり切れるわけがありませんから、あつちもこつちもとよけいな氣骨を折つて、御飯はこげる、子供は背中で泣くといふやうな始末で仕方がないからお菓子でもやつて子供をなだめるといふ工合になります。そのお菓子で腹が出來たために、大切な朝飯の時にはもう子供は御飯を頂かない、そして十時頃になると又間食を求めて晝飯の時に又食事をしないといふやうな不規則な習慣をつくつてしまひます。

そんな家では主人が出勤時間に急いで出かけますと其後は家中がお室も臺所もちらかつて居ますからその後片づけに午前中は費し、午後は子供が晝寢す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

るので、添寝する時につい疲れが出て共に眠つてしまふといふ有様で一日なす事もなく、たゞ混雜の中に過さなければなりません、たゞ少しの朝寢のためにかうした不規則な不經濟な生活をしなければならぬとはよほど考へなければならぬ事であります。

◎經濟を思はぬ主婦

もつと〳〵甚だしい婦人になりますと、自分は何一つ手を出さずに女中まかせにして、朝主人の出勤後は化粧にうき身をやつし、一日ぶら〳〵と遊んで、夕方になると小さい金だらひに種々の化粧道具を入れて、ふら〳〵とお湯に行つて、永い時間をそれに費し、家の仕事に何一つ手を出さぬといふやうな工合です。その家の經濟は到底ゆつたりする事が出來ず、主人の收入でやうやく月々をかつ〳〵過すやうになり、生涯の生活の安定も失ひ、子女の敎育もかういふ主婦では出來ません。男子が骨を折つて得た收入も、全部主婦の消費の方にとられては一家經濟もなり立たなくなります。

同じ一家の主婦でも、一家をきちんと整頓して、朝早くから働きますれば、自分の家の仕事が捗るばかりでなく、他家の手傳ひまでして、他人を喜ばせる事も出來ますのに、主婦の心がけの惡いために主人に始終骨を折らせて、その收入をつかひ果してしまふといふ事は何といふ情けない事でせう。

よもやま

富山縣處女會設置標準

富山縣に於ては東園知事が處女會の訓令及び設置標準を發布されました。

神奈川縣の處女大會

七月二日神奈川縣横濱の女子師範學校に於て全縣下の處女大會を開きました。

茨城縣處女會指導者

茨城縣水戸市の縣立女子師範學校に於て縣下の處女會指導者講習會を八月一日より三日間開催の筈にて中央部より天野理事出張の豫定

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

最愛の我兒を殺した父マテオ

天野藤男

一『きつといゝ人になります』

六月興行の有樂座の新文藝協會の新劇第三番目「謀反の血」は、なか〳〵評判がよかつた。ザツトの筋はこうである。

今より百年ほど前、場所はコルシカ島の出來事である舊家の主人マテオ、フアルコオネ夫婦は、娘夫婦を旅立たさしてしまふ。其は、娘夫婦は、「お父さんお母さんのお世話をしよう」といひ、父は「いや俺はお前たちの世話ならしてやる、お前たちの世話になるほど老ぼれてゐない」といふ。其れやこれやで、娘夫婦は名殘を我が家に惜みながら家出をする。其處へ奥から出て來たのは、息子のフオルトウナトである。

「をゝ來たか、お姉さんたちはけふからゐなくなつたけれどお父さんはお前がゐるから決して寂しくはないよ、お前も寂しくはないだらう、をゝいゝ子だ、お前は一番いゝ子だ、お父さんはお前のゐる爲に、力強く生きてゐるのだ、をゝいゝ子だ、大きくなつたら、正しい、人になるんだよ、良心に耻づるような人にはなるでないよ、その中でも一番わるいのは裏ぎるといふことだ、ウソをいふことだ、人を陷れることだ、いゝか、フオルトウナトよ……」

少年は嬉々として、父に抱かれながら

「お父さん、きつと〳〵僕はいゝ人間になります、正しい人間になります、お父さんの御心に背かぬいゝ人間になります。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

やがてお父さんは母と共に、山へ仕事にいつた。
「フォルトウナト家をたのむぞ、お父さんたちぢきに歸るからな」

二『いゝ兒だかくまつてくれ』

少年は藁小屋の前で、笛を吹きながら留守居をしてゐると、一二發銃聲がしたかと思ふと、足を怪我した一人の人が轉げるように遁げ込んで來て
「をゝいゝ子だ、お前俺をかくしてくれ、俺は苦しいのだ」見ると、足へ鐵砲の彈丸が當つて血が滴れてゐる。フォルトウナトはヂッと考へてゐたが、其は近ごろから喧しい「お尋ねもの」だから。
「いやです、僕はお父さんに叱られます、いやです」
といつてきかない。
「さう言はずに助けてくれ、俺はもう歩けないのだ、ね助けてくれ、その代り是をお前にあげる」
と五十錢銀貨を出すと、悧口のようでも子供である。光つた銀貨に眼も心も昏んで、
「ぢや伯父さんあすこへお隱れなさい」
藁小屋へその「お尋ねもの」をかくしてしまつた。そして庭先の血を靴で拭ふてわからぬようにして、知らん顏してゐた。
と、ドヤ〳〵と士官の一隊が入つて來て
「をい、お前はいゝ子だ、此所へ今誰か遁げて來やしなかつたかね」
「いゝえ、誰も來ません」
「嘘をつけ、誰か來たらう、ごらんちやんと此處に血のあとがあるな、正直を言へ、正直にいふと、伯父さん、御褒美をやるよ」
「知りません、誰も來ません」
「よし、ぢやこうしよう、お前がほんたうを言へば、御褒美をやらう、何がいゝかな、ウム、是がいゝ、それ、この時計、な、いゝだらう、カチ〳〵カチ〳〵それ鳴つてゐるぜ、お前欲しくないか、其を胸へさげてゐると、道を通る人が「坊つちやん今何時ですか」ときくお前は、その時計を見て「えゝ今五時半」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

と答へる。みんなはお前をみて、羨ましがるよ、あすこの坊つちやんは、金時計をもつてゐるといつて羨ましがるよ、ソレともお前は是が欲しくないか」

三『時計が欲しくないか』

目の前へ時計を出されて、こういはれると、其處が子供です、ツイ心がフラ〳〵と迷つてしまつて、士官に腹を見すかされてしまふのです。

「な、早くお言ひなさい、その方が得だよぢやこうしよう、私が目をねぶつて「この時計を下げてゐるから、お前が怪我した男をかくしてある所を言ふと決心すれば、この時計をそつと握つて持つておいきなさい、お前にあげるよ、さあ早い方が得だよ……」

士官は手を伸ばして、目をつぶつて少年の目の前に時計を吊してゐる。フオルトウナトは、しばらく迷つてゐたが、父の教訓も忘れて、そつとその時計に手をふれてしまつた。

士官はにつこり笑つて、

「さあどこにかくしたね」

フオルトウナトは、默つて藁小屋を指さした。

「ソレッ……」

と士官が合圖をすると、もう覺悟してゐたと見えて、中から怪我したお尋ねものが這ひ出た。やがて彼は士官の前に引きずり出された。フオルトウナトは恐る恐るお尋ねものゝ前へ出て「叔父さんさつきのお錢返すよ。

四『裏切りもの奴』

その怪我したお尋ね者は、歯ぎりしてくやしがつて、少年を顧み、

「をゝ子供と思つたら恐ろしい悪魔だつたんだ、俺は欺かれたのだ、金時計の爲に賣られてしまつたんだ覺えてゐろ、この怨みはいつか晴らしてやるぞ。ウム、こんな少年に欺かれたんだ、くやしい、をゝ恐ろしい裏切りもの奴……」

そこへ歸つて來たのが、父のマテオ。この様子をみ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て、みる／＼顔色は土の如くになつた。士官は
「をゝ父君か、貴公の息子どのは、今大變な手柄をしたのだ、この「お尋ねもの」をかくまつてゐたが、俺が時計を褒美に取らせたので、すつかり正直に打明けてしまつたのぢや。いづれ改めて勳功を表彰する筈ぢや」
父は顫えて默つてゐる。
お尋ねものは、兩手を縛られたまゝ
「をゝ貴公はあの恐ろしい裏切り少年の父親か、をゝ貴公の悴の爲に、俺は賣られてしまつたのぢや、殘念ぢや、少年と思つて信じたのが、俺の誤りだ。俺の身體はあの金時計の爲に賣られたのぢや、をゝくやしい、この怨みはいつか晴らしてみせるぞ」
フォルトウナトは、金時計を弄りながら無言で見てゐるやがて士官は「お尋ねもの」を引きずつて引き上げた。

五『さあ神に祈れ』

と父はいきなり息子のフォルトウナトの腕を抑へ握りながら疾風のように裏の野つ原に拉し去つた。
「をゝ悴よ、お前は良心が腐つたか、あれほど俺がいふて聞かせてあるのに、何んとしたことだ、恐ろしい裏切りものとなつてしまつたとは、あゝ何んとしたことか、恐ろしいことだ、お前は世にも恐ろしい裏切りものとなつてしまつた。お前の爲に、今一人の男が血を流して殺される、をゝ恐ろしい、お父さんは、お前を信じすぎた、をゝもうあとの祭りだ」
聲は顫え、涙はとゞめなく流れる。
さあ早く、神に悔ゐよ、そして恐ろしい罪を神に告げて、お許しを請ふのだ、さあ早く祈れ」
フォルトウナトは、大地に跪いて
「神樣どうぞおゆるし下さい、もう決して／＼裏切ることは致しませぬ、私は恐ろしいことを致しました神樣のお諭しを破つてしまひました、けれどもう心から悔ゐ改めました。どうぞお許し下さい。神樣お願ひでございます」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

泣いて神に縋つてゐます。

六『殺さないで下さい』

父は顫えながら傍の銃をとりました。そしてフォルトウナトの祈りがすむのを待つて、覗ひを定めて討たうと身構へ致します、フォルトウナトは狂氣の樣に遁げまわり。

「お父さん、お父さん、御助け下さい、もうわるいことはしません、お父さん、お助け下さい、殺さないで下さい、殺さないで……」

銃先をよけて右に左に、樹の蔭に、狂ふように遁げます、父もこの樣をみて心臆して顏を背けた、と思ふ中ドンと一發――アッと聲がして、もう少年は赤に染つて大地へバッタリ仆れてゐました。

そこへ來た母は、死屍を抱いて泣き崩れます。父は天を仰いで長大息を洩らし、

「俺は寂しい、娘を迎ひにいつてくれ」

と妻にいふ所で幕となります。

七　この芝居は何を敎ふる

皆さんこれをよんで、何をお感じになりますか。私はわざと何も申しませぬ。お互に胸に手をあてゝ省みませう。

山室軍平氏の御厚意

救世軍大佐山室軍平氏が十年一日の如く、愛の傳道につとめ、神の福音を傳へてゐることは、三尺の童子もよく識つてゐます。今回氏は、處女會中央部の事業に同情せられ、金六圓を本會事業費に寄贈せられましたたふとき身命を捧げて道の爲に貢献せらるゝ先生よりかゝる御厚情に浴しましたことは、感謝の至りでございます。玆に全國處女會員と共に、謹んで先生に御禮申上ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

二つの展覽會のぞ記

婦人記者

◉計量展覽會

去月東京お茶水教育博物館に開催中の計量展覽會を見に參りました。

人として度量衡の智識のないのがどれだけ大きな損害であるかといふ事を面白く指摘してありまして、家庭に秤をぜひ共備へて置かなければならぬといふ事が教へてありました。

なぜなれば經濟の智識のない主婦は何もかも商人まかせにしますので、不正な商人が反物の尺をごまかしてはかつたり、味噌や砂糖の目方をごまかしたり、米の桝をごまかしたりするのにも氣がつかないからであります。

甚だしきは金の指輪や縮緬の紋付などたくさん備へてあり乍ら、計量器の備へもなく商人に思ふまゝむさぼられて居る家庭がありますので、嫁入支度の中にも計量器を持つて行くべき事を教へてありました。

又體温器のない家で、病人の重態に氣づかなかつたり、檢温器の不正なために、識らず〳〵愛兒の病氣を重らせるなど衛生上にも度量衡の智識の必要が示してありました。

今まで日本では度量衡と申せば反物なれば何丈何尺何寸、道のりなれば何里、何町、何間、廣さをはかるには何町、何反、何畝、何坪といひ、桝目は何石、何斗何升何合といひ、又目方は何貫、何百何十匁目或は何斤、などと申して居ましたが、今後日本もメートル法になりました事もお知らせして置きます。

度、(長さ、廣さ)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ミクロン	メートルの百萬分の一
ミリメートル	メートルの千分の一
センチメートル	メートルの百分の一
デシメートル	メートルの十分の一
メートル	單位(三尺三寸)
キロメートル	千メートル

面積

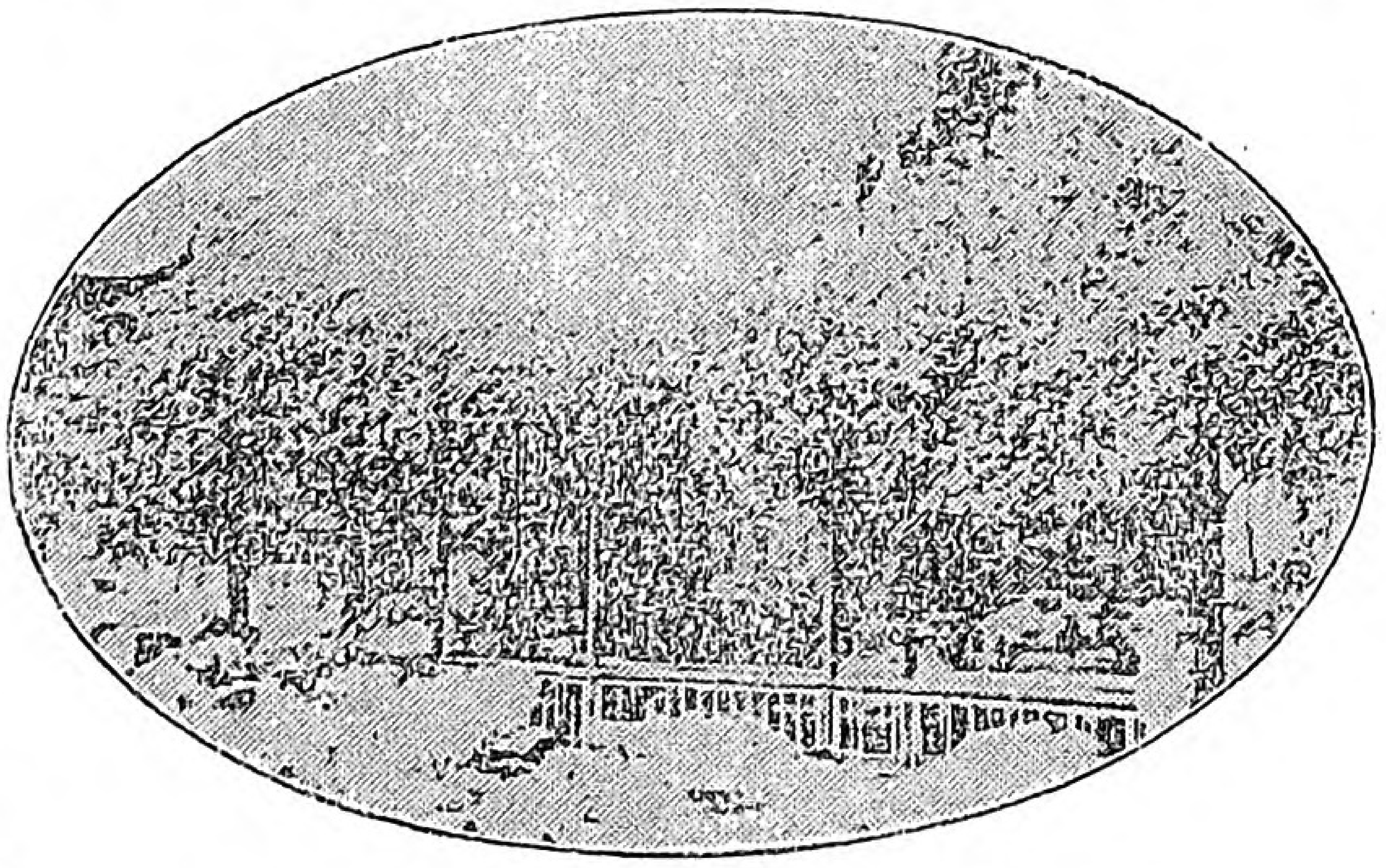
平方ミリメートル	平方メートル百萬分の一
平方センチメートル	平方メートル一萬分の一
平方デシメートル	平方メートル百分の一
平方メートル	單位（三尺三寸四方）

量（桝目）

立方センチメートル	立方メートル百萬分の一
立方デシメートル	立方メートル千分一
立方メートル	單位(三尺三寸立方)

衡（目方）

ミリグラム	キログラムの百萬分の一
グラム	キログラムの千分の一
キログラム	單位（一貫の十五分の四）
トン	千キログラム



蘇州留園の風致

右の表の通りメートル制になれば長さ、廣さ、桝目など、皆單位がメートルですから、今までより覺えるのに便利だか知れません。今や世界の文明國は殆んどメートル制になつて居ますので、我國でも仲間外れになつては、國家經濟上に大變不便、不利でありますから帝國議會で改正案が通過して、四月十二日に官報で公布されました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◉西伯利事情展覽會

六月に日本基督教青年會同盟、軍隊慰問部の主催で西伯利事情及びロシア兒童自由畫の展覽會がありました。

會場は神田表猿樂町の基督青年會館でしたが會場の廊下にはたくさんのロシア兒童の圖畫が飾つてありまして、ロシアの家の樣子や、田舍の景色などほんとによくかけて居ました。

室内に入りますと我國の兵がシベリアの軍營にあつて、どんな日を送つて居たかといふさま〴〵の思ひ出になる品々が陳列してありました。

野營と云へば砲彈の轟き、劍擊の響ばかりを想像して、殺風景な軍人さんばかりが思はれますのに、この陳列品を見れば、陣營にあつても遠く故里の野を思ひ父母兄弟を慕ふの情がうかゞはれて記者は云ひ知れぬ感に打たれました。

軍馬いななく中にも妙なる樂の調べに心を寄せて、不自由な野營にあつて、あり合せの木や針金を利用して琴や三味線を作り、空鑵をのばしてヴァイオリンを作つてあるなどその趣味ある兵隊さんの露營の夕べがなつかしく思はれました。

箒に穴を明けて笛を作つたり、木の片に針金をわたして作られた大正琴の面に「思へばなつかし古里の空」などゝ書いたりした兵隊さんの心情を思つて記者はさながらシベリアの野にある兵士に接する思ひがしました。

野營にあつて種々の餘興をした記念として、我國舊劇に用ふるやうなものが面白い考案で作られてあつたのもなつかしく思ひました。

燕の子

吉原はつ子

今朝表へ出ました、赤土の上に、しよんぼり小燕がうづくまつてゐました。可哀想に病氣なのでございます。仁丹をかんで飲ましましたらよほど元氣づきました。飛べるようになりました。親燕が餌を運んで居ります、くるりくるりと表庭をまわつて燕はちゝとなきつゝ去らうと致しませぬ、他の丈夫な子供を捨てゝ此の小燕にのみかゝりきつて居る親燕を見て、何かしら涙ぐまずには居られませぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

乙女の日記

福島縣　渡邊みつ子

六月五日　晴

けたゝましく母屋の上を鳴き過ぐる時鳥の聲に目をさました。傍の母上はまだ眠つて入らつしやる。毎年蠶時はやつれが見ゆるのに、今年はわけて眼のまわりの凹みや、額の皺の深さ、白髪のふえた事やを思ふと一層精出して働かうとまだうす暗いねやをそつと起き出た。

　室の蠶も空腹らしい、皆頸を延して、ざわめいて居るやがて桑をやると四眠より起きてまだ赤みの失せぬ身體をのばして、盛んに食べ初める後の片づけを松やにたのんで皆で桑つみに出る。

　夜は明朝の桑の用意して、それぞれ伏床に入る、一人後れて日記を書く、餘りむし暑いのでそつと窓を押すと、外は星一つ見えぬ五月暗、何處よりか螢が一ぴきスイと飛んで來て、庭の木立にかくれる、あゝ明日はキット雨だ、もつと桑を取つて置けば良かつたに……

六月八日　晴

　母上に起される、最早明けたか知らと驚いて飛び起きる、四眠に起きて六日目今日が食べ盛りである。一匹の病蠶も無く、皆打揃ふて桑を食べる音がサラ〳〵と丁度雨の降るやう、母上は蠶室を廻り歩いて溫度や桑量等に絶えず心を配らねばならぬ苦勞も察しられる。

　午後下を拔く、こんな蟲が我家の富になるかと思ふと、云ひ知らぬいぢらしさとなつかしみとが湧いて來る。忙がしい一日も暮れて夕食後一家打揃ひ、桑こぎをなす、一方から「そらお松どんの米つきが始つた」と留藏の聲に一同がどつと笑ふ。

　夜更けて机に向ふ、二の腕から全身にかけて輕い痛みをおぼえる、そこへ後の戸が明いて母上が「まだねないの蠶時ばかりは書物をおよし」情深き御言葉に涙ぐむ。

六月十一日　半晴

　存分に食べつくして、今日はいよ〳〵上簇する日である、「さあ今日限りだよう働く者に褒美が出るぞ」との父上の聲に妹も弟も勇み立つてわらだを運ぶやら蠶をうつすやら、大さう役に立つた。町から賴んで來たおよね婆さんが突然かういつた、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

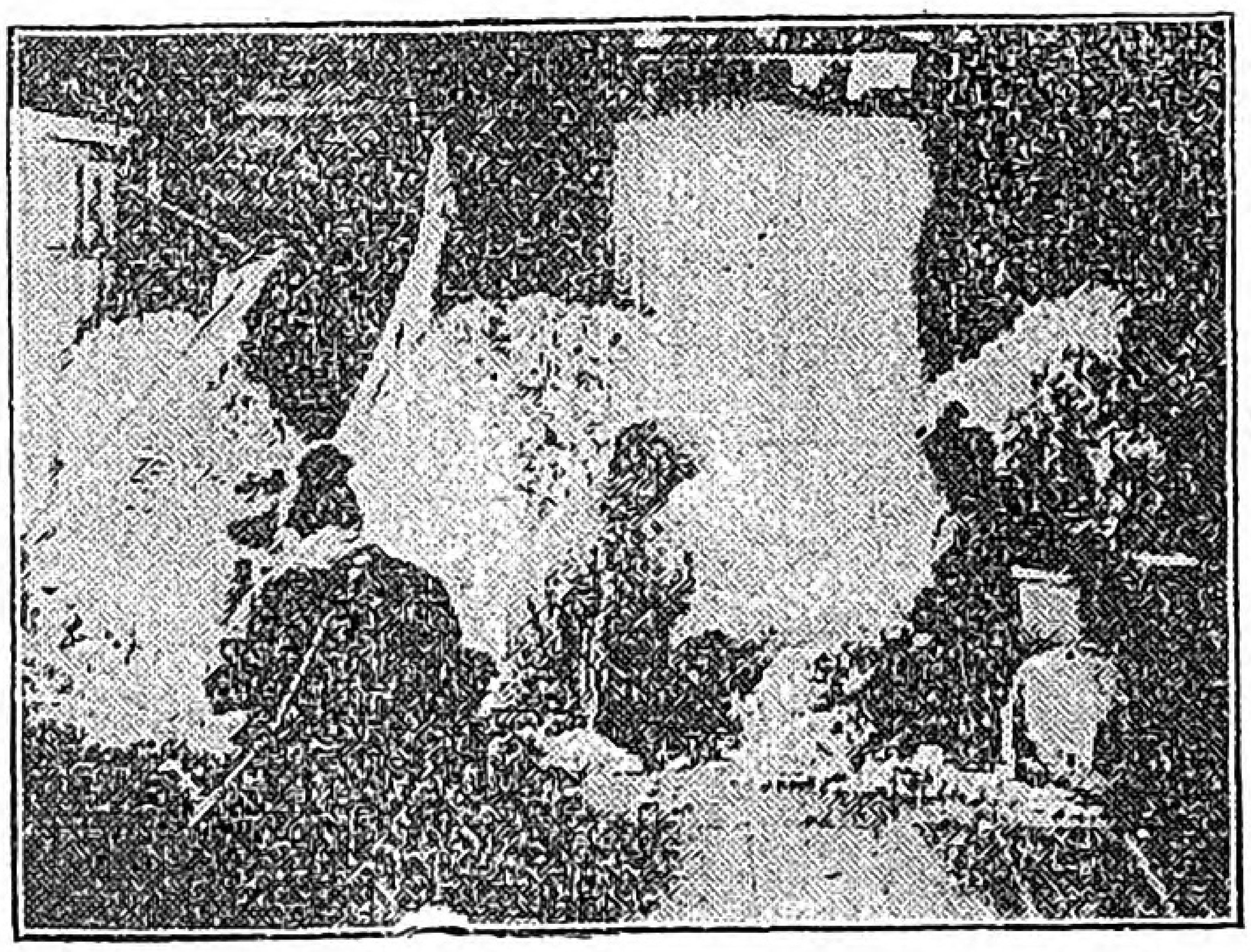
桑を食べる口から糸をはくと思ふが皆さんは如何私は糸を吐く口は異ふと云ふ果は皆の意見が出て議論二つに分れたがそこへ兄さんが來て、私等が勝利となつた。

夕方迄にすつかり上つて仕舞ふ、他へ移された蠶は、もう彼方此方へと絲をかけて居る。湯あみして、椽に端居すると、今迄の疲れが、一度に出た様、そこへ弟が螢捕りにと誘ふ。蠶が上つたらとの約束故前の小川へ行く、橋まで來た時、昨年の暮お嫁になつたお靜さんに逢ふ、昨日蠶が上つて今日はお里へのお許しが出たのだと云ふ、私の簪を持つた姿を見て羨やましいと云つた。

流れの上を四ツ五ツの影をうつして飛び交ふ様の美しさ、彼方此方と追ひ廻す中に着物の裾がすつかり夜露にぬれた。こ踊りしてよろこぶ弟に籠を持たせて歸る。

六月十五日　晴

今日は繭を賣り渡す目出度い日である、四十日間の汗と脂の結晶は白銀の玉となつて、うづ高く山をなしたるを見し嬉しさ、其中から私の晴着の料にと分けてとられた父上の情けも身にしみてうれしい。やがて馬や車に積んで行く後から妹や弟の私に袴を、僕は帽子をなどの注文の聲にほゝ笑みながら父上も出かけられる。殘りし母上と松やと三人して今宵の祝宴の準備に忙がしく立働く、處女の友に出て居たお料理をこしらへて母上をおどろかす。



信州岡谷製絲場

夕方皆様にこやかに歸らる。父上が財布の中から十圓さつを出して「それ光小使ひだ」と云つて下さる。母上がそれを見て「本ばかり買はないで帶の片側でも」すると父上か「まあ打捨つて置け」なんて云はれて皆笑つて仕舞ふ。

臨時に雇ふた人や奉公人や招いた人が、皆膳に向ふ、盃の廻ろにつれて、ずいぶんにぎやかになつた、兄さんの歌の聲

今日の繭高千圓箱三つ
重れた上に　また重れ
よろこび重れて　よろこんで
崩すまいぞへ　此重れ、

父上の呼ぶ聲にぬれ手をふいて座敷へ行く、醉眼をすえて「これ〳〵皆さんにおしやくをせい」横合からお末婆さんが「こんなに大當りであつたのもお光さんの働きですれ、來年は他所の人になつて仕舞ふのは惜しいやうです」といふ、母上が「惜しい惜しいと思ふ中にお婆さんになづて仕舞ひますから」と笑ふ、何だか居堪らぬ心地して臺所へにげろ。

洋服裁縫講習會

西川文子女史を中心とする眞新婦人問題研究會主催で洋服裁縫の講習會があります。その規則は次の通りです。

講習科目　男女洋服、エプロン、仕事着其他
講習料　拾圓、速修貳圓　ミシン代一人參圓
講師　佐藤茂二氏
場所　京橋區南傳馬町一丁目星製薬株式會社
時間　自午前九時至午後四時日曜休
申込所　本郷區動坂眞新婦人社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

國際聯盟の話

戰爭が野蠻極まることであることは前號にくわしく述べました、今度の戰爭で世界各國の國民は、心から目をさまして、「どうかしてこの馬鹿々々しい戰爭といふものを止めたい」と考へ出しました。之が國際聯盟の起つた由來であります。つまり國際聯盟は、國と國との永久の平和を理想として、戰爭を未然に防止すると共に、人類共同の利益を增進することを理想と致します。世界が代表者を出して、平和の申し合せをするといふまでになつたことは、世界の一大進步と言はねばなりません。

御存知の通り、今回の戰爭は大正七年十一月に終りを告げ、大正八年一月に始めて各國講和會議にかけ、同九年一月に講和條約と共に成立したもので、主もに骨を折つたのは、英、米、佛、伊に日本を加へた五大强國であります、日本からも講和大使として、西園寺公、牧野、珍田兩子爵が政府を代表して參られましたことは皆さんの御存知のことであります。

國際聯盟の規約によると、世界各國は、代表者を出して、世界の政府のようなものを作るのであります、まづ今申しました五大强國の外に、白耳義、ブラジル西班牙、希臘を加へ、先づ九ヶ國から出す委員が政府を作ります、之を國際理事會と申します、このほか各國からの代表者を集めて會議を開くのを國際總會と申します、若し世界の心に反して、戰爭を始めようとする國があるなら、世界は團結して、その國を攻めます各國を相手にして爭ふてもとても勝つことは出來ないのであります。

今までの同盟は、一國が一國を攻めて來るので其に備へる爲に利害關係を等しうする國と國とが申し合せる攻守同盟が多かつたのでありますが、國際聯盟は、もと平和を目的とし戰爭を未然に防ぐのであるから、大變攻守問題とは趣を異つてゐます、戰爭を始めたものを、各國が懲らすのが目的であります。是からは、弱いもの虐めも出來ません、理事會が判決を下して、正しい方に味方するのです。

所が米國はある事情の爲に、この聯盟から逃げ出してしまひ、ドイツも、ロシヤも入つて居りませぬ。けれども、必らず今に米國も加盟し、露、獨も、國内の秩序が立ち次第に加はることゝ思はれます。

國際聯盟は、國際裁判所であるのです。裁判官は九人にしようか、十五人にしようかと今相談最中だときゝますが、何れにしても、世界の喧嘩を仲裁して、戰爭を未然に防がうといふのですから、責任が重いのであります。

國際聯盟規約の中には、軍備の縮少といふことも加へられてあります。是も非常に重要なことであります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

日本でも尾崎愕堂氏が、軍備制限論を高潮し全國各地方を巡廻して居られますが、軈て全國的大輿論となること丶信じます。大正十年度我邦豫算約廿億圓の中その五割は、陸海軍の費用であります。國防も必要てすが、戰爭がなくなれば、そんなに軍備を嚴重にしなくて十分なのであります。軍人は敵軍の襲來に備へる爲に必要なのですが、世界に戰爭がなくなれば、そんな無用のものに、尊い人の精力を使ふのは、全くつまらぬことです。其よりか、社會國家のもつと〱必要な方面に金と人とを向けた方が得策てす。

全體日本もどちらかと言へば、戰爭や內亂の多かつた國で、歷史をみると、戰爭のみで、其を暗記することが、歷史科の役目でございました。尤も昔の內亂は戰爭ではないのですし、今ではもう足利尊氏の如き人物が謀反を企つる惧れもなし、秀吉が朝鮮征伐に出陣するといふようなことなど、今となつては、夢物語にも等しくなりました。けれど、さういふ戰爭めいた事實の多かつた爲に、敎育の方針も、英雄崇拜主義軍國主義に傾いて、エライ人といふと、大將になるんだ、軍人になると敵の首を取るんだといふ樣に、小國民の頭に注ぎ込まれて來ました。理想の人物といふと、必らず英雄です、豪傑です、思想家、文學者といふものは、閑人か道樂者位にしか思はれませんでしたけれど是からは平和主義を宣傳して、極端に英雄崇拜主義を皷吹しないことです。一人の大將を養成するより、百人の公民を作つた方がよいことであるといふ樣に敎育せねばなりません。地方にしますと、健全なる農民、紳士として恥づかしくない農民を養成すること是が何寄の社會國家への奉仕なのです、而して其は、母たる人の重い責任なのです。

日本でも近頃婦人平和協會が出來て、處女會中央部の理事の井上秀子氏、塚本はま子氏、羽仁もと子氏などが、重立つて働いて居られます、是は世界の平和は婦人の力に待つものが多い、戰爭で苦しめられるのは、男子よりも婦人である、婦人は愛の權化、平和の使神である、その使命を尊んで、世界の婦人が同盟して、世界の平和を促進し、國際聯盟をしてその實現を側面より促進しようといふのが目的で、先月東京市で發會式を擧行致しました。

婦人は平和の使徒てす。男子の殺伐な心を、婦人の強い愛を以て和らげ、人類の血や涙の慘劇を未然に防ぐといふことは、偉大なる人道社會の奉仕なのです。婦人の仕事にはいろ〱ありますが、根本は、男子を平和にし、社會を平和にし、國家を平和にし、進んで世界を平和にするといふことが根本であらうと思ひます。全國處女會も平和運動團體であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

臺所から

八月の臺所衛生

暑さの盛りで私共の身體は少なからず疲勞して、食事もすゝまず、其上に種々の恐ろ可き黴菌は蕃殖して、私共の隙を覗ふて居ます。それで臺所には最も注意して、終日の勞苦を慰むる晩餐の料理、胃腸の弱い方、食事のすゝまぬ方のために、茄子、胡瓜、冬瓜、南瓜等季節のものを巧みに用ひ、涼しい御馳走を作られねばなりません。そして桃、梨、西瓜、眞桑瓜等あんまり食べたり、暑いと言つて不規律な生活をしないやうに、家族の人に注意するのが肝要であります。

食事のすゝまぬ方に

誰でも御存じのあたりまへの事ですが、唯では御飯があがれない方でも、美味しい御握りをあげて御らんなさい、普通より澤山召食ります事は請合ひです。炊きたての御飯を鹽水をつけて、小さい御握りを拵へ、其上にゆかり（鹽漬の紫蘇の葉を干して細かに刻んだもの）をばらくとふりかけたものと、胡麻を香ばしく炒つてつけたものとを體裁よく皿に盛つて出しますと梅びしほを薄つすり塗つても面白いかと思はれ

新しいお餅の作り方

峰岸虎三

▲金錢騰貴の世の中

米價騰貴とか簡易生活だとか云ふ聲も、段々低くなつて來た昨今では、金錢が變つて騰貴して來た。農家では御節句の御柏、養蠶上簇の御祝ひ。六月になつて米田の植付け草取り、秋に入つて稻の刈入れ、麥の蒔終り農休の御馳走には、何れも金價騰貴を叫びつゝも、多くの費用を使ふ。

一寸餅を造るにしても、小豆を炊く時間米を蒸す間は至つて多い。時間ばかりではなく、一舛の餅を造るには、米一舛卅五錢として、小豆三合六錢、砂糖百目十五錢合計五十六錢は少なくともかかる。上男一日の勞働賃も、やつと一圓位だから、金價騰貴の此頃では米の餅などはとても、安々として食べる事は出來ない。

▲私の幼時

私は少さい時に兩親に別れて、後は長姉の手一つに依て成長した。兄は早くから京都の學校に行つてゐたから、姉が蠶で忙がしい時は、何時もよ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ます。

精進料理

□膾

錦冬瓜一本を、十人前の分量とし、天地を切り、縦に皮を剝き、一寸位に輪切りにして、更に四つに切り、種子を去り、其れを白髮に打ち、水に一寸取り、鍋に湯を一升二三合程沸し其中へ一合五勺の生酢を加へ、其中（白髮錦冬瓜を入れて攪きまわし、冬瓜の煮えぬ樣に水を柄杓に一杯注し、直ぐに味噌漉に湯と共にあけ水を上から注いで冷やし、布巾に包みて輕く絞り、別に冬瓜の量の昆布煮出汁と、二割の砂糖と一割の酢とを器に合せ、其の中にこの錦冬瓜を入れ、攪き混ぜて浸して置きます。

次ぎに小さな松茸を十本程、石付の先を切り眞中から縦に二つに割り、伏せて置いて端から薄く打ち、別に昆布煮出汁一合を鍋に取り、煮出汁の量の一割の酢と、二割の砂糖と、鹽頁き程とを加へ、火にかけて煮立て、其中へ松茸を一寸入れ、二三回かきまわして器に揚げ汁を切つて置きます。さうして前の錦冬瓜と松茸の量の二割程の白胡麻を加へ、これ等の全部の材料の五割の生酢を加へて、ドロ〳〵にして、其中へ前の錦冬瓜と、松茸とを入れて和へ、この和へたものを皿の中央へ盛るのです。

□汁

十人前に對して甘味噌一合に上赤味噌五勺を混ぜ、頁く擂り、更に一升三合の昆布煮出汁を

り早起をして、飯炊台所一切の用事を濟まして學校に行くのを常として居た。

男氣の無い私の家では、何時しか私の氣も、女性氣になつてしまつた。

十四の時學校で、羊かんの製法を習つたので、歸宅後、すぐ樣造つて見た。思ひの外良く出來たので其の後は以前より、料理の方に志を置いた。

私は長姉に「お前は台所の事ばかりして居て、女の腐つたやうだ」と云はれる事も度々あつた。

此れと云うのも、次姉が病身で家事の方には、少しも心を置かず、惡く云へば物ぐさい、と云うのであらう、其の爲どうしても小さいながらも、食物の事をやる樣になつたのである。

常に食物造りをして居たから、次姉よりか仕事も早く同じ原料でも、美味に出來るやうであつた。姉が少しでも、私の氣に入らない事を云う時は自分でも惡いとは知りながら、何時も料理の事を持ち出して「女のくせに」と云う事が例であつた。

▲麥代用物としての品々

私の地方では豆よりか東唐が良く出來る。

此の實を麥代用として使う事は、早くからやつて居た。此の方法は實の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

徐々に加へて擂り伸し、鍋に取りて煮立て、泡が浮いて來た時、杓子にて拂ひ、鍋を下して置きます。

そして茶呑茶椀に二杯程の白玉粉を一合の水で硬めにこれて、別に茶呑茶椀に一杯の葛粉と茶呑茶椀に三杯半の水と、葛粉の量の五分の一の糖砂とを一所に攪き混ぜ、鍋に取り、硬めに煮上げ、葛が白く反つた所で鍋を下し、擂鉢に取つて、前の白玉を入れてこれ、蒸籠に濡布巾をしき、其の上へこのこれた材料を薄く伸して蒸し、蒸し終つたならば、下して煽いで冷まし、一口に食べられる位の厚み二三分の色紙形に切つて置きます。

次ぎに三つ葉六把分を一束に束ね、根を揃へて切り、鍋に湯を煮立て其中に入れて、ザツと茹で、其れを冷水に取つて冷やし、取り出して倒に吊して水を絞り、四寸位に切つて置きます。

斯くして後、鑵詰なれば一鑵分の玉茸を、形の儘湯に取つて、ザツと茹で、別に鍋に一合五勺の昆布煮出汁を取り、鹽を良き程に加へ、其中へこの玉茸を入れて煮立て、鍋を下すと同時に醤油一滴を落し、其の儘汁を含ませて置きます。次に一人分に對して、羽二重餅二つと、三つ葉と玉茸二個とを取り、前の汁を煮立て、椀に六分目に注ぎ、吸口にはみぢんに切つた柚子を用ひるのです。

□ 平

生湯葉を丸く卷いて、玉子の形に作ります。かうして玉子湯葉が出來ましたら、木茸の大いのを、一人前三枚宛に數をそろへて、二十分間

良く熟したのを、とり入れ良く乾燥して、石臼にて細かくし、碾割位の大きさにして、米と混合して割飯の様に炊く。

此の飯は暖かい時は、柔かで食べられるが、冷へると、ぼろ〳〵で食べにくい。

私は此のぼろ〳〵飯を改良して、夕食には、甘藷菜等を細かくして、混ぜ蒸籠ですと前のぼろ〳〵が一變して、柔らく美味に食べられ、其の上量も増して、夕景急に來客があつても、澤山に食べられる。他の方法としては、此のぼろ〳〵飯の中に小芋を入れて炊き芋をつぶすと、前者より柔かく味、良く、ぼろ〳〵飯の原料とは思はれ無い程、美味く食べられる。

▲赤津政愛氏の雪花菜餅

大正七年暮秋に、赤津政愛氏の著になる、一日十錢生活と云う本を讀んだ、此の料理は雪花菜に小麥粉を入れて作るのである。此の料理も二三回試みたが食べられない事もなかつた。

銀行員、會社員等の、肉體勞働に少ない者には、いざ知らず、農村に工業界に勞働する者には、とても雪花菜餅の三個や四個位食べたのでは、十分に仕事は出來ない。

此れ等の食物は常食と云つても、長く續くものではない、二日に二三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

湯煮をし、それに色紙敷を一寸角のもの一人前二枚宛を、昆布煮出汁に少しの醤油を加へたものに入れて十分間程煮立て、庖刀を入れずに盛り汁を少しかけます。

□　椀

燒豆腐一丁を横に三つに切り、敷き昆布にして、昆布煮出汁に醤油、味醂を一寸加へて、十分間程煮てそのまゝ降しておきます。山芋五十匁の皮をむき、おろし金にておろして擂鉢でよく擂り、白味噌を煮出汁一合に味噌五十匁をといて濃い汁を作りまして、さきに擂りました山芋を加へて好く混ぜ合せて煮立て、それに生姜の絞り汁を少し加へます。さきに作りました豆腐を茶碗に入れ、上からとろゝ汁をかけます。

□口　取（梨まんじゆう　おらんだ飛龍）

梨の果四つを皮をむいて、おろし金でおろします。その汁を絞つて、その中へ葛十匁を入れて解いて、一寸火にかけ、飯杓子でかき廻しながら煮立て、それを五つの茶碗へ分けて冷まします。それから豆腐一丁を絞り水氣を去り、擂鉢でよく擂りまして、味醂一匙に、麻の實を中匙に、一杯入れて、杓子の先きで丸く形を作つて、胡麻油で揚げます。それを味醂、醤油、砂糖を加減して、甘煮にして、さきに作りました梨まんじゆうと一しよに擂ります。

□猪　口（茄子苗浸物）

茄子の新芽の葉を一人前七枚宛の見積りで摘み、鍋に湯を煮沸して、其中に入れて茹でゝ水に

食が頂々であらう。

▲御馳走の發見

然るに前に述べた簡易生活だとか、米麥代用品だとか云つても、農家では米麥一年中、買はないで暮す家も多い。

此の頃の樣に、金錢騰貴の世の中になつても、御馳走には相當に、金錢の掛る事が多いのである。

私は大正七年の十月から、農家の副食である、甘藷の料理法に付いて、研究してゐたが、大正十年五月に空前の大發見をした。他人は發見では無いと思つても、自分では眞の發見と信じてゐる。

此れは前に述べた味の惡い常食でなく、體裁と云ひ味の良いと云ひ、申し分の無く眞の理想の御馳走である。

▲おいらん餅の料理法

此れは甘藷餅で、あんも皮も共に甘藷で造るのである、先づ始めに芋の皮をむく。

種類はなるべく纖の無いのを用ふる。纖のないのは裏漉に掛ける必要なく、纖を取る時間は非常に多い、皮にする部分は白色を用ひ、あんにするのはなんでもよい。皮は全體の三分の二位で後はあんにする。皮の部とあんの部共に皮をはぎ鍋で蒸す全體を六百目とすると、四百目は白色で、二百目はどんなでもよい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

晒して置きます。次ぎに其の葉をよく絞り上げ小鍋に入れ、昆布煮出汁二合ほどを入れて火に架け、ザッと下煮をして置き、別に芥子の實を擂りつぶし、醤油少々砂糖少々とを入れ、よく擂り混ぜ、これで下煮して置いた茄子の葉を和へるのです。

眞夏の暑熱にも三四日は平氣

御飯をすえさせぬ方法は古來いろいろ世間に傳へられて居るがまだ完全無缺と云ふ程のものがない所が今度女子藥學校の講師柴田房雄氏は絶對に眞夏の暑熱でも三日や四日位は飯のすえぬといふ良法を發見して知人に宣傳してゐる氏の研究に依ると御飯がすえるのは腐敗するのでなくて麴が出來ると同じやうに醱酵するのだ昔から古いお櫃が新しいお櫃よりいゝと云ふ理由と古いお櫃は空氣を通す故に醱酵作用を妨げるからいゝのだ笊に盛つて風通しを良くしたりお櫃に移してほぐしたりするのは空氣の流通をよくして空氣を嫌ふ黴菌の發生を妨ぐのに梅干をおくのも梅干中の酸が米粒を流通する故に比較的すえぬと云ふ道理であるこの原理に基いて柴田氏は氷醋酸を交ぜて御飯を炊き之を試驗して見た所三日や四日は什麼に蒸し暑くてもすえぬことを確めた其の氷醋酸の分量は三十倍の水に溶かして御飯を炊く場合一升の御飯に盃一杯位交ぜるのが分量で若し普通藥屋で賣つてゐる醋酸なら十倍の水に溶かして丁度よい醋酸の値段は一ポント三十五錢で之を十五倍の水に溶かすから盃一杯なら一回二錢で間に合ふ經濟的立場から見ても極く廉價である。

蒸す時は廿分位の時一度鍋の湯を、取り替へる、良く洗つて今度は芋の上に付く位、水を入れて二十分位すると柔かくなる、其の柔かくなつた芋は白いのが皮となつて、色付があんになるのである。白色の芋が多い所では、別に色付を用ゐる必要はない。白芋(皮ノ部)四百目を混鉢の中でよくつく、少しの塊もなくなつたら小麥粉百卅目を入れて、良く混せて捏合す芋は水分が多いから捏ねる時、少しの水も入れないで造る。四百目の芋に百卅目の小麥粉を入れて、ゆるい時は芋に水分が多かつたのだから、少し小麥粉を入れて捏と、丁度良い加減になる、一方二百目の芋は鍋の中で砂粉四十五目をよくとかし其の中に入れて、塊のないやうにつぶすと、上等の漉あんが出來る。

此のあんと前に捏ねた皮の部で、適當のものを造る。それを蒸籠に入れて蒸すのである。出す時は非常に柔かいから、注意して出す。

此れ迄造れば後は何でも出來る。あんころ餅でも、柏餅あべ川餅何でも意の如く出來る。味付け團子などは、取り分けて美味しい。

竹ぐしにさして少し燒き、砂糖醤油でも付けると亦別段風味が多い。

此の種の餅は一晝夜位すぎても柔かいから、後で燒くの蒸すのと云う世話が無いから、非常に手輕に食べられる。

種々の食物は一に味一に名で食べられるものであるから、此の甘薯も芋の名をとつておいらん餅とする。おいらん芋とは地方の俗名で白色で纖がなく、此餅を造るには極く適當してゐるから、其名をつけて世人にお進めする次第である。味と云ひ名と云ひ何人も喜ぶ所であらうと著者は信じる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

身の上話

母の重態

谷口かよ子

私は府中町の工場に働く淋しい一處女です。

一昨年尋常科六年を卒業致しましてから二年の月日をかうして工場に働いて居るのでございます。

卒業間際の悲しかつた事、今も尚忘れません。私はもと〳〵學問が好きでしたので、自分はどんな苦しい目をしても、高等科に進み度いと思つて居ましたのに、三月も半ば過ぎて女學校に進む者はそれ〴〵其支度に掛り、社會に出る人は出る、高等科に進む人は進む人と定つてしまつて目的に向つて勵んで居ました時に、私は父より尋常科だけで止めよと言はれて、胸が張り裂けるやうに情なく思ひました。その晩は泣き明し、それから夜となく晝となく父にお願ひしましたが、唯お前が犧牲になつて、二人の弟に勉強をさせてやれと申しましたので、それもさうだと諦めはつけたもの丶、矢張り學校へ行きたくてなりません。それで或る先生に何もかもお話致しましたら、先生も非常に御同情下さいまして、再々父を説かれましたが、少しも聞き入れては呉れませんでした。

そしてとう〳〵、或會社に通ふ事になりましたけれども、どうかして勉強しやうと思つてゐました處、ある親切なお方がありまして、夜に裁縫を習つてはとおすゝめ下さいましたので、私は飛び立つばかりに喜んで其御親切を心から感謝し、それからといふものは毎晩雨風をいとはず一生懸命に御教訓を受けて、少しづゝわかるやうになりました。その喜びは束の間で其お方は遠く離れて御勉學なさるやうになりました。喜んでお見送りしたもの丶私は悲しくてなりませんでした。其後は野中の一本松、家に居て習ひ覺えたものを少しでも縫つて居ました、こうして尠しでも縫はれるのも先生のお蔭と只管悲しみの中にも、喜んでゐます。

忘れもせぬ一昨年の舊一月三十日

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の晩でした、母は少し氣分が惡いと云つて二三日前から床に就いてゐました。恰度當時激しい流行感冒が襲つて居ました時でした。母は大變熱が出て充分に體が動かなくなりました。

けれども子供があるのに人手がないので、一人で便所に行きました處歸りに立ぐらみがして、入口の所へばつたり倒れてしまひました。父は驚いて直ぐ馳せました時には、もうすでに事絶えて居ました。

其時私は弟に水をのませてゐましたので、直ぐそれを持つて行きました。置くや置かんで素足のまゝ雪の上を醫師の家まで馳けてゆきました。不幸にも先生が不在でした。私の胸の中はどんなでしたでせう、あゝ母の生命もこれまでかと、前途を思ひ、涙ながらに歸つて居ますと、天の助けか、はるか向ふからお醫者樣の提灯を見つけました。何誰でもよいお願ひしやうと車に近づいて、事の由を申しますと、早速お立寄り下さいました。幸ひに大丈夫といふ診察をうけて、安心しましたが、その後の經過はどうしたものか惡く、子供も母乳を飲んだためか母と同じく急性肺炎に罹りました。

宮城縣　鹿野富美野

弟に學校を休ませてはいけないと夜に日をついで、臺所をしたり、子供のきげんを取つたり、殆んど五日間位は少しも寢みませんでした。少し眠つて又五日位は濕布をかへたり氷を割つたり卅分餘毎にかへなければならぬ。子供は氣分が惡いのと、ひもじいのとで、目ばかり大きくなつて、やせた體を蒲團の上へ投げてシク／＼泣き出す、それをすかして少しづゝ粥の湯をすゝらせ、お見舞客にもそれ／＼挨拶をしたり、眞實忙がしくて目がまふやうでした。私も父も目を張らして、看病しました。

其甲斐あつてか、二人共五十餘日の後には立派に以前の體になりました。私達父子の喜びは如何でせう、とても筆や言葉では盡されません。

今では貧しいながらも平和の波は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

隅から隅までたゞよつてゐます。永遠に此の平和が續きますやうに念じてゐます。私が會社で貰つたお金は五十錢の日講に掛けてゐます。弟達の勉強費の助になるかと思へば少しも辛い事はありません。弟の成長を唯一の樂しみに働いてゐます。

母樣大切に

小石かつ子

私はほんとうにつまらない日を送つて居ます。今の所私はこの明い處に居る效は少しも有りません、けれどもこの有益な處女の友があるために氣強く暮して居るのであります。

今では神樣は私の有るのを知らないで居らつしやるのでせうか、お前のやうな者をとお見捨てなすつて居

北海道土人の熊祭り

らつしやるのか、又は私のお願ひをお聞き下さらないのか又は唯一人の母樣のおいひつけを聞かないとお思ひなさるのか、私には少しも分りません。

唯一日〳〵祈りは強くなつて、母樣を頼りに暮してゐます。

あゝ私はもう仕方が有りません、どうしても母樣の仰せを守つて、兄樣が無事に成功して歸郷するまで、母樣のお側に居て、神樣から與へらるゝ幸福を待つより外に道がありません。

さうするには第一に母樣を大事にせねば、神樣はお聞入れなさつては下さいません。

私は今苦勞するのは少しもかまひません私の苦勞は母樣に連れての事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

す。私よりももつと〳〵母樣は御苦勞をして居られます。唯一人の男の子が成功して歸るまで、どんなにでも辛棒すると言つて居られます。
全く母樣の仰せは道理ある事と感心せずには居られません。
私はあくまでも母樣のお言葉を守つて、神のお助けを待ちませう。

なれぬ異鄕に

巾下ゆき子

私は戀しい故鄕を後に見て、なれない福島に身を寄せて、苦しき工場にて塵と埃とにまみれて、玉のやうに流るゝ汗をぬぐふ暇もなく、さながら極熱地獄の有樣に暮して居ます
今までの悲しい私の身上話どうぞお聞き下さいませ。私は不幸にも貧しき家に生れましたので敎育を受ける事も出來ませんでした。七歲の年から尋常小學校へ入學致し、一生懸命に勉强致して居りましたが、家の都合により、九歲の春より學校をやめ、或お家に子守にやとはれたのです、其家に四年の間辛棒致し、十三歲の二月から遠い遠い郡山町の工場に入りましたのですが、それから九年の間糸取りをしまして、來る日も來る日も悲しく過して居ましたが、今では處女の友を親友にして、慰めのある日を送つて居ます。

水けぶり谷に亂れて天地に
とゞろきわたる瀧の音かな

舟人の通ひなれたる波の上
こぎまよふまてかゝる朝霧

新讀者紹介者芳名簿

一、滋賀縣　本持庄太郎
一、東京府　大橋　亘
一、同　乙戸はん子
一、岐阜縣　藤井　收助
一、靜岡縣　宇津木雄雄
一、岩手縣　千田キヨ子
一、群馬縣　常見さく子
一、同　湯澤しん子
一、同　松島　芳子
一、同　橫澤よね子
一、同　關口ぶし子
一、栃木縣　田仲かね子
一、福井縣　渡邊伊二郎
一、茨城縣　折本せつ子
一、埼玉縣　會田かね子
一、靜岡縣　柴田くわ子
一、同　堀內　柳作

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

結婚する前に

天野清子

□

皆様も御存じの樣に、近頃隨分結婚問題がやかましくなりました。問題の中心は、男女の理解に依る結婚でなければならぬといふことであります。そのために社交倶樂部とか男女問題講演會とか、兄弟の會とかいふ會合が、所々で開かれる樣になりました。又そのための機關雜誌の發行に着手してゐる靑年團もあります。新聞や雜誌は、これ迄の誤つた結婚法に依る悲劇や哀話を發表して、靑年男女の自覺を促し、父兄の理解を深めやうとして居ります。皆様も御存じの樣に、去る六月十六日の濱田榮子さん（十八歳）の慘しい最後は親の理解や周圍の同情のなかつたゝめに起つた、最も代表的な實例であります。兎に角、相當の考へを持つてゐる男女であるならば、なるべくその自由意志を尊ばなければなりません。結婚ばかりは、親、親類が主格でなく、當事者を主人公として考へなければなりません。しかし『それ位な理屈はよく〳〵分つてゐる。もう耳にタコが出來るほどきいてゐます。けれどもいざとなると、どうしても、その樣に出來ぬのが殘念です』といふ未婚の娘さんの聲をきくことがあります。

□

父兄は若い男女の氣持がよほどよく分つてゐる樣でも、やつぱり娘の方から云へば、無理や不滿が多いことがあります。最も進んでゐる東京にさへ、しかも中でも大勢の人から尊敬されるべき地位、羨望されるべき大家の中に誠にお氣の毒な事實があります。然しこれは父兄の罪とのみ思ふことは出來ません。同時に娘、靑年自身も考へなければならぬと思ひます。

□

十六七歳位迄は、何氣なく大きくなりますが、年頃になると、人懷かしむ春の目醒の美くしく、何氣なくゆれる庭の木の葉にも、空行き交ふ雲の歩みにも物のあはれ、心のゆるぎを感ずる樣になります、殊に異性に對して深い憧憬を持ち、一種の恥かしさ慕はしさを感じて來るものであります。たまたま心の琴線に忘れ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

がたない響きをのこす人に出くはすと、小さい胸の血が高調してまゐります。それが、いつまでも其儘で自分の胸の中に壓へ納めてゐられる間は何事も起りますまいが、隙を見ると、せきとめた大洪水の流れる樣に出づる密めたおもひはやがて顔の色に

忍ぶれど色に出けり我が戀は
物やおもふと人の問ふ迄

そして容子に、言葉に、さてはその人に通ずる樣になります。そこで若い血潮はあたりを顧みる餘裕なく一途に溢れ出やうといたします。皆樣よ！　こゝが肝心、この時に誤つてはなりません。流るゝまゝに棹してはなりません、分別が必要です、意志も働かねばなりません、そしてジツト胸に手をおいて、考へて見なければなりません。

一、こんなに心の跳るのは何のせいだらう？
一、あの方と文通することはいゝことかしら？
一、このまゝ進むとどうなるだらう？
一、とうさん、かあさんは何とおつしやるかしら？
一、もしあの方と一緒になるとしたら？
一、本當に一生を誓ふ程頼み甲斐のある人かしら？
一、年は？　財産は？　身體は？　品行は？
一、二、三人の家族を養ふ腕前があるかしら？
一、どんな來歴をもつた人だらう？
一、近頃花柳病とかいふ恐ろしい病氣が多いそうだが、あの人にはそんなことはあるまいか？
一、性格は？　趣味は？　職業は？
一、他に申分がないとしても一夫一婦を守る人かしら？
一、社會的地位は？
一、最後に大事な血統は？

とよく〳〵自分で考へて見なければなりません、然し凡ての方面に何不足ないといふ人は千人で一人くらいが普通ですから、自分といふものをよく考へ無鐵砲な望を抱かずに、肝心な點が及第すると思つたならば一應父母に打ちあけることです。然しどうしても理解される見込みがないとなれば、自分の先輩、先生、親族者、誰れでも信頼するに足る人に口でいふのが恥かしければ、手紙でもいゝし、間に親しいお友達を立てゝもいゝでせう。兎に角相談してみることであります。然しそんな人がちつともないとすれば、社會的にこれ等の問題に對して親切な方に直接委しい手紙を出してきいた方がいゝでせう。思ふことが十分書けなければ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

親友に賴んでもよい。

中には、そんなこと迄打ちあける友達はないといふ人があるかも知れませんが、それは不幸な方だと思ひます、是非日頃からたくさんでなくても、一人か二人は信賴する人を持つてゐなければなりません。然し眞劍になつて眞心から話せば相當な方であれば、誰れでもキツト聞いて下さると思ひます。斯樣に用心に用心してから、文通もはじめ交際の口も出すといふ樣にしなければなりません、自分の本能のまゝに行くまゝに進んでゐると、終には取かへしのつかないことになることがあります。互に深い間柄となつて、分れるの、思ひきるのといふことが出來なくなつたとき、反對や叱言の矢が飛んでども來ると命沙汰に迄及びます、といつてあまり用心過てなまずの樣に、ずるり〳〵して年頃になつてもあれやこれと我儘云つて、時を逸し、あとかへしのつかぬ樣なことをしてもいけません。

□

今つ一申したいのは日頃から 御兩親がもし 舊弊な方とすると、お氣の向いたときお暇のときに、結婚に對しての新らしい、正當な考を持つて貰ふ樣につとめる のであります。そうするのにはこういふ方面の本を讀むもいゝし、納得する樣に話すか講演會にも 出席して貰ふ樣に するがいゝでせう。

或娘さんは

『わたし達はどうしても、親の前や人の 前ではそんなこと いへないんですもの』

とおつしやいます。けれども「恥かしい〳〵」といつていつ迄も自分の思ふことが云へない樣では大正の 娘とは云へません。少しは 我慢して一生一大事の事ですから、思ひきつて話さければなりません。見猿、聞か猿、話さ猿これはつまり昔の猿、大いに見猿、聞き猿、話し猿といふ大正の新三猿にならればいけません。然し急にそれは出來ませんから、平常からなるべく心を打ちあける樣に 習慣つげた 方がよいと思ひますこの間結婚前の 娘さんがこんなことを云つて 居られましたのをフト耳にしました。

「わたしなんか結婚についてては別にどうしていゝか考もないから、親の云ふまゝに從ふより外はないんです。けれど、まだ心から嫁ぎたい どゝ思つたことはありません。いつ迄かうしてゐると世間の手前が恥かしいとか、それに女は早く嫁ぐほど手柄とがいふことになつてますので、是非〳〵のうち嫁げと申しますのよ。私はどんな心の方やら、顔は丸いか長いか知らないのです。年は二十五とかいふことで二百俵はとれるそうですけれど」

又或娘さんは

「やつぱり親のいふ樣にしておくは、そうでなきや先方に居られなくなつた時にまた家へ歸れないもの」

と。何といふ殺風景な無自覺な結婚でありませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

青森の夏（日記より）

松崎ひろの

八月一日　晴

四時半に起床臺所の硝子窓から畑を見ると、胡瓜、南瓜の黄色い花、茄子の紫の花などがチラホラと青葉の中に見ゆる。北海道から吹いてくる涼しい潮風がサッと一陣頬をなでゝ眠氣を覺ます。

「イヨー大きくなつた」

突然義兄樣の頓狂な聲が畑の中から聞える。片手に楊子をつかひ、片手はしごきの中に挾んで、遲蒔の南瓜の前に立つて、眞黑い顏に笑を見せてゐらつしやる。

體量廿貫の肥滿の身體でノツリノソリと朝露を踏んで、田園趣味に憧るゝ義兄樣のヌーボー式が可笑しくつて暫く味噌する手を止めて見入つた。臺所口から畑に出て、お汁の實に色のいゝ茄子をとつて來る。

尋常三年の姪の文子と義兄樣の留守の間は、姉樣と二人でせつせと縫物をする。座敷の椽側に立つと青森灣が眞近く見えて碧瑠璃の疊の上を渡つて、北海道からの冷い風が汗を拭ふ。夕方には姉樣と姪と三人で畑の野菜に水をやる。手拭ひを姉樣かぶりにして、足袋はだしの姉樣が臭いものまでひしやくで運ばるゝにはさすがの田園趣味の謳歌者も鼻をつまんで「臭いなんて勿體ない事この瑞々した野菜をごらんなさい」と姉樣に叱られた。

夕飯の膳には畑からとつた胡瓜の酢の物が最も義兄樣の氣に入つた。夜は文子と義兄樣と三人で堤川橋（八甲田山より流る）に散歩に行く。

八月二日　晴

雨が少しも降らない、けれども潮風通ふ八甲田山麓の家は涼しい。「さあ皆でこれだけ食べるんだ」と義兄樣は玉蜀黍をもぎつて、皮をとり、淡赤色の毛をむしりながら臺所から入つてゐらつしやる。味噌汁の出來上つた後で燒いて朝飯後の樂しみにして置く。

學校から歸つて來た文子が、お友

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

だちと庭で鬼ごつこをして居ると、林檎と桃の實の出來た事を發見して注進して來る。姉樣も私も庭に走つて出た、桃の木の下には松葉牡丹が美しく咲いて居た、林檎の木の下には晝がほの花が美しく咲いてゐた。

今日はまた義兄樣を喜ばせる事が一つ出來たと一同喜んで義兄樣のお歸りを待つ。畑からとつて來た二三の野菜と買置の干物でお壽司をつけて待つて居ると例日より早く義兄樣がお歸り。上機嫌で留守中の報告を聞いて「今日は海岸に行つて飯を食ふ事にしやう出來合ひの御馳走を持ち出せ」といふ命令。畏つて姉樣と二人で急いで折づめを四つ造り、湯のみと水筒を持つて四人で海岸に行く。二丁ばかり歩いて波打際近くの叢に風呂敷をしいて四人が座を占め折づめをひらく。

右には八甲田山が巍々として聳え左には岩木富士の秀麗夕暮の色につゝまれてぼんやりと見ゆる。前は津輕、下北の兩半島に包まれた青森灣が波路はるかに北海道につゞいて居る。

「あゝよい山なら岩木山……」

と感極つて義兄樣は周圍の景色に見とれながら手製の辨當に舌づゝみを打たるゝ。

私等も共に暮色に包まれた海岸の眺めを稱しながら、美味しく夕食をすます。さながら四人が畵中の人である。長い夏の日も早や暮れてしまつた。

「さても珍らし岩木の大山……」

義兄樣の津輕節が始まると文子もまけぬ氣で

「見わたすかぎりはる〴〵と……」

と歌ひ出す私も劣らじと大聲あげて

「寄りくる波かへるなみさらりさらとひゞく……」

と歌ふ。寄せかへす波は又一層の妙なる音で、私等の聲に調べあはする。

暗くなつて長い青森市中の燈火に向つて踵を返す四人の後からドタリ〳〵打寄する波が追ひすがつて來る

八月三日　曇後雨

朝早くから臺所口からドタンバタンと音がするので飛び起きて見ると義兄樣が手斧を振り上げて薪を割つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

てゐらつしやる。

二三本割つて直ぐ止してしまふくせに、氣が向くと薪割りするのが義兄様の性質だから過日も

「お宅の旦那様はまあ薪をお割りになりますね」

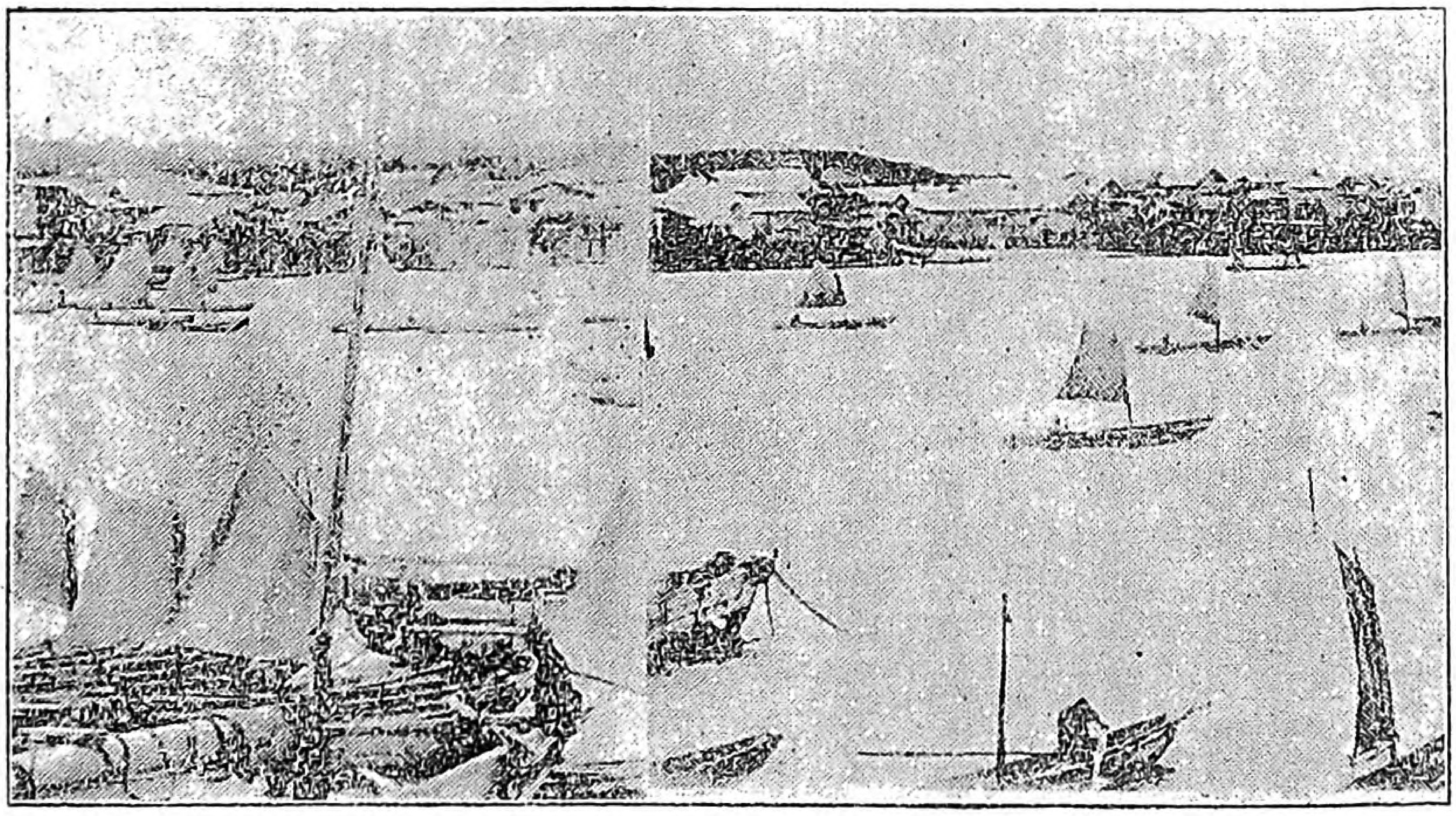
とお隣りの奥様に笑はれたつけ。

「さあ皆こい皆て畑の草とりだ」

手斧を捨てた義兄様は畑に入つて皆を寄び集めて草を取始めなさる。文子も姉様も仰せ畏つて、跣足で畑に入つて草むしりをする。私が朝飯の支度が整つて膳立をするまでに皆揃つて食事。

義兄様と文子の留子中姉様は洗濯——私は縫物。

午後から少し怪しかつた空がいよ〳〵降り出して來た。學校から歸つて來た文子を誘つて海岸に散歩を思ひ立つた。昨夕の景色がなつかしくこんな雨の日は又一しほの眺めであらうと思ふと堪らなくなつて海岸に心を引つけられた。



青森縣北下郡大間港全景

（青森　島澄子寄）

「まあ降りだしたのに散歩するなんて變り者ね」

と眼を丸くする姉様の聲を後にこれも變り者の自ら進んでついて來る姪の文子をつれて傘さして出かけた。

「まあ叔母ちやん向ふの海と山をごらんなさい」

「文子の方が私より先に自然の景に眺め入つて立止つた。雨のそぼふる海岸の眺めは味の深いものである。山里に育つた私はほんとうに嬉しく思つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「叔母ちやん和歌が出來てよ」
文子がとん狂な聲を出したので鉛筆と紙を出して書かせた。
「夕ぐれの景色をながめしみ〲と淋しく思ふしみ〲と」
「ホヽヽヽ」
私は可笑しさをこらへかねて笑つたしみ〲と眺めてしみ〲と感嘆した文子の樣子が可笑しかつたのである。
其夜は文子の和歌の話で一家が賑つた。

八月四日　晴

蚊帳を出て硝子戸越しに畑を見れば、瑞々しい野菜のさま〲が眠氣をさましてくれる。
御飯の出來る間に畑から漬物にする胡瓜と茄子をもつて來る。
今日は縫物も區切りになつたので休んで机に向つた。日頃の感想を書きなぐつて見たり、友だちに出す手紙を書いたりして午前中は過ぎた。午後は椽に腰かけて雜誌を讀む。北海道の方から海をわたつてくる涼風が暑さを忘れさせる。
夕方少し早く臺所に出て夕飯の支度にとりかゝる。精進揚げをしやうとして材料をすつかり切つて、油を少し入れた鍋を強い火にかけて、茶の間に縫物をして居らるゝ姉樣と世間話に心を奪はれて居る中に後の方でボッと油に火がついて紅の炎が臺所を輝した。鍋の油に火がついたのである。
「まあ姉さん」
「オヤッ大變だ」
私と姉樣は立すくんで眞青になつた。鍋の油は盛んに燃えてすはや柱を焦さうとして居る。
生きた心地もない、私は突嗟の間に側にあつた大根の葉を鍋の中に投げ入れたら忘れたやうに鎭火して、少し柱が黒ずんだのみで災難をのがれた。やれ嬉しやと思ふと同時に張りつめた私の胸の鼓動が烈しくなつて一時間ばかりは足の踏みしめも出來なかつた。
「官舍を燒いたら僕は打首だぞ」
と其夜義兄樣に叱られたが、一莖の大根の葉が義兄樣を打首から救ひ生きた心地もなかつた私を蘇生させてくれたのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

講習科目並講師（決定）

第一回全國處女會指導者講習會

□十月三日より八日に至る六日間□

科目	講師
□處女會と補習教育	文部省社會教育課長 乘杉嘉壽
□家族制度	東京帝國大學敎授 文學博士 井上哲次郎
□性と結婚	東京帝國大學敎授 醫學博士 永井潜
□處女會と生活改善	東京女子商業學校長 嘉悅孝子
□婦人衞生	東京女子醫學專門學校長 本會理事 吉岡彌生
□處女會と社會事業	內務省社會局長心得 本會理事 田子一民
□處女と修養	三輪田高等女學校長 本會理事 三輪田元道
□婦人問題	東京成女高等女學校長 本會理事 宮田修
□家事	東京女子高等師範學校敎授 本會理事 大江すみ子
□同	東京女子高等師範學校敎授 本會理事 甫守ふみ子
□歐洲婦女節制狀況	宮內省囑託內閣囑託內務省囑託 本會理事 國府種德
□處女會幹部養成	文部省囑託 本會評議員 山本瀧之助
□處女會の組織及事業	內務省囑託 本會理事 天野藤男
外に科外講演	湯原女高師校長 貴族院議員北條時敬氏 其他諸大家
實驗談及協議會	視察及拜觀

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文壇

題『私の家』

一等賞

福島縣　遠藤まつ子

ゴーンゴーンと入相の鐘の音が、靜けき空を破つてひゞき渡つた「さあおしまひだ」父の聲に一心に田の草を取つて居た私達は、玉清水流るゝ小川で足を洗ひ、畦道傳ひに、白壁の家を指して急ぐのであつた。一家擧つて賑やかな夕飯を終へて後は、處女の友を片手に眞珠の様な白露をふみしだきつゝ、兎の餌を取りに行つたみ空はコバルト色に晴れて、銀の魚がはれ上つた様な夕月が松の葉をすかして、凉しうかゝつてゐる、コロ〱となく蛙の音に尺八の音がゆるう流れて來る、人工の塀や門のかはりに月明りに瀬戸の竹やぶ、家の兩わきの桑畑は丁度靑いペンキで塗つた塀のやう。前の水田は廣い門のやうであつた。かうした自然の家に其日其日を樂しく暮される事の出來るのを天に感謝する

評　平和な家の有様が見えるやう。

二等賞

岐阜縣　篠田利子

どちらを見ても山ばかりの里にたゆみなくめぐる水車と共に日日勵んで居る私の家＝兩親もあり老母様も壯健で何一つ不自由はありませんこうした家庭に晝は裁縫補習學校に、歸つては母様の手傳をして居る私は、いつも自分の幸福を喜こんで居ります。けれども今度兄様が近衛騎兵に合格され入營されますし、次ぎの兄さんが來年徴兵適齢なんです。二人とも入營されたら私の家はどうなるでせう。私はその中に少さい胸を痛めて居ります、しかしどう思つてもこればかりは仕方ありません。すつかりあきらめて、日々自分の修養につとめて居ります。

評　兄さんが二人とも入營なさるのは結構な事と思ひます。

賞外

群馬縣　池田榮子

私「あそこに見えるでせう、靑葉の間に……あれが私の家なの」

友「さう、綠に包まれてゝいゝのねえ、御兄弟はお幾人？」

私「三人!!」

友「淋しいでせう三人きりでは」

私「えゝ……父が亡くなつたものですから尙と淋しいの、けれど私は幸福!! ほんとに平和な家庭なんですもの……庭にはいろ〱なお花が咲いてますの、ダリヤは今盛りですわ」

などゝ始めて會つた處女の友誌友の方とお話をしながら私の家の方へ歩いて行きます。

私「あア、ダリアが見える」

友「赤いのね」

私「えゝ……お母さんがあなたと私が行くので障子明けて待つてるわ、早く行つて休みませう」

埼玉縣　清水磨津壽

ふと夢より覺めて目を見開き、あたりを見まわせば、電燈は異様に明るく光つて居る。物靜かな夜、柱時計は何時となくコツリ〱と淋しい臥家に響き渡つて居る。遠く水田に一夜を鳴き明す蛙の聲は、雨戶の隙を漏れて、枕元近く聞える。

秩父の片田舍に農にいそしんで居る心の小さい乙女は睦じいたのしい家庭に仲の良い兄弟と一緒に兩親の膝元で限りない慈愛を受けながら愉快に月日を送る今の身の幸福を喜ばずには居られない。廣い世の中には兩親に別れ、あまつさへ誰一人として賴るべき人もない、漂浪の身となり、心許ない寂しい涙の月日を送つて居る人達に比べて、私は身の幸福を喜び、それと同時にもつと〱修養して立派な婦人となり、兩親を喜ばせ度いと思つた。

愛知縣　今井しげ子

私の家は年寄つた御兩親と兄弟四人暮しでございます、農業の傍ら副業として養鷄製塩養蠶を致してゐます。夏の日盛などは流汗瀧の如く田草取養蠶と、寸時も休養の暇はない有様であります。殊に父は村會議員其他色々の役を兼れてゐますので、何かと公共社會の爲に不在勝でありまして、一切の仕事は皆母と私と兄上が懸命に引受てやつてゐます。又兄上は本年適令で合格しまして年末には入營します故に何かと準備に忙殺されてゐますので、他の家より一層多忙でありますから、私は率先して一家の任務を引受け傍ら弟妹を敎へ兄上の不在にも後顧の憂の無い様に、獻身的努力して止ない覺悟であります。こうして平常から家事になれて置きますと他日主婦として立つ時にも余程爲になるかと思ふと又そこに微笑を禁じ得ないのであります

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女俳壇

（賞）

草の戸や種浸しある古手桶　埼玉縣　竹内貞子

炭燒の小屋の前なる百合の花　三重縣　高本繁子

（賞外）

まぐさかり籠に交れる花一つ　福島　本名君子
蝿追へる乳母の眠れる木蔭哉　熊本　緒方歸雨鳥
手も揃ひ歌も揃うて田植哉　岐阜　安藤さゝの
螢火やまたあはれあり小村雨　青森　小野寺みよし
足洗ふ水に夕日の光りかな　福島　石附すみ子
朝顔の花かぞへつゝ水をやり　群馬　優香
冥想は啨きに浸り遠蛙　福島　日下芙美子
青疊二寸伸びけり苗代田　埼玉　佐藤ひろ子
髮結ひてすげ笠そつとかぶりけり　群馬　池田榮子
筏組むがけの上なる藤の花　愛知　今井しげ子
河下に舟泣びけり糸柳　靜岡　遠藤作得茂
つゝましき乙女に似たり百合の花　神奈川　山口孝子
鍬置きて一汗ぬぐふ葉影哉　群馬　岡崎その子
妹は繪うちは抱きて眠り哉　福島　津村ヒサ子
梅の實のうれて落けり藍しづか　群馬　大澤夜誌野
螢かごさげて訪ひけり友の家　群馬　橋本夢見草

處女歌壇

（賞）

天

雨に明け雨に暮れ行くこの頃のさびしき窓にほたる飛ぶなり　福島縣　大原千代子

評　ふる雨にぬれたる庭の木々の葉に光りうつして螢とぶ夜

地

綠そふ新桑畑のあひ間より淸き乙女の唄流れゆく　岩手縣　白鳥

評　雫ちる新桑をつむ乙女子の唄ごゑひゞく里のなつかし

人

若竹の青葉に宿る露の玉涼しく散らす夏の朝風　三重縣　鈴木靜子

評　むら雨の露の名殘りの朝しめりはらふ野風のしのばるゝ哉

（賞外）

○美の部○

湯に入りて靜に聞けば螢呼ぶ童の聲のをちこちにして　福岡縣　薬　蘭女

鍬肩に月を踏みつゝ歸る頃我目かすめて螢飛びゆく　福島縣　馬場花子

ひろの間はひれもす野良に働きて夜は老母の肩をもむかな　香川縣　野田加津枝

一本の花を殘して朝くさを刈りてかへれる乙女床しも　群馬縣　橋本美代子

悲しさをまぎらさんとて歌へども何時しか瞬のふるへゆく哉　東京府　大久保よし子

云ひがたき淋しき心のやり場なくうるめる瞳に灯など見つむる　東京府　青木初子

梅雨晴の小川の面に釣る人の笠のあたりに夕虹の立つ　靜岡縣　八千代草

もの思ふ人にはつらき五月雨の今日も續きぬ衣ぬふ窓に　福島縣　橋本津木子

やるせなき胸を抱きてあてもなく月淡き夜を一人あるきぬ　山口縣　宮本義子

思ふさま語りませうと橋に來て腰をおろせし時のよろこび

うち見れば赤きたすきの鄙娘田植のすがたやさしかりけり　岐阜縣　竹腰よさ枝

螢火のかゞやく夕べ嫁ぎゆく君見送れば淋しさの湧く　埼玉縣　村松滿壽

風もなきに桐の花散る夕べなり友を送りてかへる路のべ　福島縣　夢の花

夏の日も雪をしのぶる卯山の敎へ守りて日々に務めん　群馬縣　島田幸子

聲低き物乞姿あはれなり父母なき我身も涙ぐむなり　埼玉縣　仲津彌

山陰は君のみ里と沈む日を眺めてあれば嬉しかりけり　群馬縣　岡崎その子

父と吾鍬をば肩に歸る道夕日は淡く刄を照すなり　福島縣　末星三

秋晴れの富士の山には雲もなし大空高く雁なき渡る　埼玉縣　岡田保市

　　　　　　　　　　　　　　　　　　埼玉縣　竹之内貞子

○良の部○

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

姉と二人草とる午後の背の暑さ　福島　河邊芳子
夕暮や稻穗に光る夜露かな　東京　大久保壽
初瓜無事とて母の笑顏かな　神奈川　百合子
知らぬ字が姉の縫ふ手をやめてさせる　鳥取　杉本輝子
月影に風鈴うつる障子哉　東京　大久保よし子
とく起きて青田巡りや朝の風　長野　窪田願綴響
とり〳〵に竝ぶ日傘の麗はしさ　北海道　早苗波里子
雨の音夢にきゝつゝ晝寢哉　福島　春光
ひぐらしのなく日は長し夏の暮　同　遠藤まつ子
桿さして下る小船や歌のこゑ　長崎　河内いつ子
夕立や晴れて小供の水遊び　福島　田村の花
五月雨に傘すれ〳〵のつばめ哉　東京　田村百合子
五月雨や水田に動くみのと笠　神奈川　小菅伊太郎
ふと雨にあひし乙女の日傘哉　福岡　葉蘭
初夏の夕ねぐらへ歸る烏二羽　長野　月見草
狩りとりし草にまぐれし花あはれ　宮城　富美野
夏の朝かすかに震ふ星一ツ　滋賀　中川白鶴
つくらうて今年も使ふしぶ團扇　埼玉　中村はつ子
雨の夜や苗田に多き蛙かな　香川　白蝶
姉妹の聲そろひけり田植歌　岐阜　とし子
風呂歸り川邊に螢二ツ三ツ　群馬　吉田菊野
夕歸り見あぐる空の星の數　岐阜　傘代
掛茶屋に女新らし衣更へ　東京　吉濱菊江
麥刈や兄に負けじと競ひ息　群馬　宇田川たりの
蛙なく細谷川の水清し　福島　目黑きい子
夏やせの姉髪洗ふ月夜かな　群馬　池草しげり
眞裸で小川に遊ぶ子供かな　神奈川　山口愛子
すき間なき物干竿や梅雨の晴れ　紀伊　青柳
病む床の吾に節句もなかりけり　群馬　島田幸子
夏の川月よき里を流れけり　熊本　大森かず江
七夕や川風涼し夏の宵　山形　木村白花

亡き父母の好みし花を手に持ちて我は急げり墓の小道を　長野縣　月見草
師の君の富士の御歌身にしめてすゝみ行かむと處女の友讀む　福島縣　吉津園代
五月雨のかすみにこもり田を植うる姿は見えずよびかはすなり　長崎縣　田崎すゑ子
愛らしき幼子眠る枕べに音なくめぐる風車かな　福島縣　津村ヒサ子
しよんぼりと白壁により黄昏の夕べの雲に涙する吾　福島縣　二瓶木枝子
マンドリン聞かせ給へと師の君に願ふ夕にふくろ鳴くなり　鳥取縣　門脇みつ子
とこしへに此處にぞ弟は眠るなり野菊手むけむ松かげの墓に　群馬縣　設樂さだ子
我一人夕べの道をさまよひぬ水の瀬音に心淋しも　同　柳岡郁子
朝露のいまだ干ぬ間に母人のみ許めざして野道いそぎぬ　東京府　森川光平
外庭の父の手入れの藤の花咲くを眺めて父の喜ぶ　北海道　萩原千代子
音にきく奈良の都の三笠山今もかはらで月は輝く　鳥取縣　須見とし子
涼しげに木蔭の下に餘念なくまゝ事をする小さき乙女等　埼玉縣　增田ふみ子
ひれもすを土と鍬とに汗絞る秋の實りを樂しみにして　北海道　白百合
工場の笛に殘れる煙うすく家路をたどる工女急げり　神奈川縣　小菅伊三郎
ふるさとの母は今宵も燈火の下にて針を運びてやあらん　福島縣　植野貴美子
若きとき男まさりといはれたる母は老いたり面やつれして　千葉縣　松本津計子
弟の姿は木の間にかくれ居て口笛のみは遠く聞ゆる　宮城縣　鹿野宮美野
野に出ればせみのもろ聲しげくして森に林に夏は來にけり　長野縣　神通川さき子
ちらほらと赤き椿の見ゆるかな桑つむ乙女のいと愛らしき　長野縣　あざみ草
淋しさに窓をあくれば黄昏の空に悲しく鳴く子鳥かな　石川縣　倉田キク子
訪ひぬれば我が歎へ子は床ぬちにむりにもがきて起んとすあはれ　佐賀縣　北村夢歌
音もなく春雨のする夕ぐれに涙ぐましき友のおとづれ　滋賀縣　本持庄太郎
ひとときの梅雨の晴れ間を畑に出で老いたる父と麥を刈るなり　群馬縣　吉川科子
我庭べにま盛り咲ける白百合の花粉散らして夏の風吹く　神奈川縣　山口孝子
限りなき悲しみ秘めて淋しげに思ひ浮ぶる古の春　長崎縣　森幾世
安らかに眠りし母のおもかげを窓よりのぞく夏の夜の月　福島縣　田山美智子
風そよぐ我裏庭の梨の木に暑さをうたふ蟬の聲かな　神奈川縣　山口愛子
夕もやに消えゆく人を見送ればたゞ何となく人の戀しき　群馬縣　橋本夢見草
初なりの茄子をとり來て母上のほゝ笑む顏に夕日の赤き　群馬縣　池田米子
麥の穂の揃ひて出し初夏の日は輝きぬ山歌す時　東京府　大久保喬子
姉妹野路に歸りを急ぐ時前をかすめて螢とびゆく　埼玉縣　清木磨津森

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

蟬なきて木の葉動かぬ暑さ哉　東京　松　代　子
蟬鳴くは日午たゝみし椎の下　埼玉　關根佐和子
泣きや　て赤子よろこぶ金魚鉢　福島　末　星　三
桐一葉靜かに落ちし眞晝哉　同　永山　春子
五月雨や粒の目立てり庭の梅　靜岡　ふ　み　じ
鎌もちて乙女夕陽を見つめけり　同　風岡富士子
田のくろに鍬の土落す乙女かな　群馬　高木とよ子
晴雨降る青葉の影に蛙鳴く　同　清水勝津濤
河鹿鳴く聲に一夜を明しけり　三重　鈴木　靜子
椽先に新茶をしぼる匂ひ哉　岐阜　篠田　利子
うれしくも一家そろうて田植哉　長崎　田崎アサ子
父は船母は鍬とる海邊の地　宮城　月　見　草
田草とり後見るときの心地よき　岡山　島田ちかよ
水の音かすかにひらく五月雨　秋田　齋藤ナチ子
七夕や色紙にそまる天の川　群馬　藤倉きん子
今日も又青葉のかげや蟬時雨　香川　月　見　草
三頭山青葉の中に蟬の聲　東京　森川　光平
友人を扇でまねく涼みかな　石川　中井まさえ
青空にまだゝく星の二つ三つ　德島　河内キクエ
山鳩の聲しきりなり朝まだき　埼玉　荒井ろく子
さはがしく桐の葉たゝく雨の音　岐阜　足立　信子
あちこちにすげ笠白き夏の畑　埼玉　新井やす江
初夏や青葉若葉の峰つゞき　和歌山　高田　綠枝
憧れの都に友は旅をする　福島　喜　美　子
雨やみて一きは目だつ松の月　岐阜　加藤　喜市
夕暮に父の供してかへる犬　神奈川　山口いと子
梅雨晴れや青田を渡る風涼し　島根　山根ふさの
初夏は庭に來にけりせみの聲　長野　神通川さき
葉末にて日ぐれを待ちし螢哉　靜岡　八千代草
丸い傘横にあちこち田植哉　埼玉　岡田　春村
俄か雨一本杉に宿をこふ　群馬　設樂さだ子

蟬つりに友呼ぶ聲に子供等の姿見えけり夏日の山に　秋田縣　齋藤ナチ子

赤々と沈む夕日を見てをれば一人地に立つ淋しみのする　岐阜縣　足立　信子

海底の眞珠あさりて海女たちのかへる浪路を濱千鳥なく　群馬縣　藤倉きん子

亡き友と舟を浮べてかたらひしそのありし日のそゞろ悲しき　失　名　女

鍬の手を止めて仰げば限りなきみ空は高しこゝろよきかな　埼玉縣　荒川ろく子

月もるゝ藁屋に病めるアイヌ子のやつれし頰に淚流れぬ　北海道　早苗波里子

よべの夢歌にせばやと筆とりて窓を開けば柿の花散る　福島縣　遠藤まつ子

○佳の部○

螢來いホータル來いと呼ぶ子等の樂しき聲に昔しのびぬ　岐阜縣　安藤さゝの

眞菰刈る乙女の歌のふしさえて霧は晴れ渡る沼の朝かな　岐阜縣　風　月　子

夕暮に歸る畑道幼子の歌なつかしや浮ぶ師の愛　長崎縣　堂尾きん子

我が園にあかく咲きたるコスモスを折りて手向ん母のみ墓に　岐阜縣　渡邊　鈴江

休み日の晴ぎにせんと我しばしいそぎて縫はん夏衣かな　滋賀縣　田原しづ子

我友と語ればかたる眞心のへだてなきこそうれしかりけれ　靜岡縣　ふ　み　じ

貧しくも人の寢し間に書を出して讀みゆく時ぞうれしかりけり　神奈川縣　若林　悦子

村休み異郷の友を偲びつゝ一人書讀む心淋しき　香川縣　月　見　草

北の空しみじみと見て今も尚父母の面影目にうつるなり　神奈川縣　赤泊ヨシエ

一日の垢と汗とを湯に流し小川の端に夕涼みする　埼玉縣　新井やす江

かご負ひて朝霧の中に消えて行く子供等の影見送りてあり　群馬縣　柳岡いく子

庭に咲きしダーリアの花の一枝を折りて捧げん母のみ墓に　埼玉縣　今泉あさ子

夏の夜やおぼろ月夜に唯一人庭にをり立ち月をながめん　福島縣　吉津こいく

月はたゞ靜かに高くみ空より五月の雨の晴間てらしぬ　福島縣　尾形　政子

吹く笛の消えゆく空や初夏の亡き師の影のいとゞしのばる　福島縣　陰　の　花

青みゆく稻田の面を眺めては心からなるほゝえみのわく　長野縣　すゞらん

朝星に夕月浴びて歸る我心に宿る富士の白雪　福島縣　石附すみ子

病み臥せる友のみの上思ひやり雨ふる夕をペンとれるかも　群馬縣　フリザヤ

雨霧にうたれし父のみ墓べに氣高く咲きし水仙の花　德島縣　河内キクエ

家のため今日も一日土かひぬつかれし夜の心安さよ　神奈川縣　清水　紅淚

幼子の病めるを見てはむれせまりほゝをつたはる一しづくかな　神奈川縣　う　め　の

婦女訓を守りてはげみしろしとて外國までも光る絹糸　山梨縣　木村　白花

ほの暗き日影に立ちて思ふなり世に亡き父のありしその頃　福島縣　横田みえ子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

乙女子の髪にさしたらバのラ花　岐阜　佐古なずゑ
日は落ちて草刈る音や鳴く蛙　岐阜　茂　置
綠葉の間に栗の花の咲く　長野　鎌　菊
をちこちに螢とびかふ二つ三つ　茨城　片岡ふさ子
夜は更けて軒ばに雨の音さびし　神奈川　赤泊ヨシエ
五月雨やすげ笠動く田植哉　長崎　南　カ　ナ
幼子の指に染みにし苺哉　愛媛　宇和川須磨子
逢ひも得ず歸りし友の下駄の跡　福島　佐藤　曉星
足洗ふ水にうつりぬ夏の月　福島　紅　葉
湯上りの涼しき窓に螢かな　長野　柳　子
畠仕事終へてかへるや星一つ　岐阜　幸　野
梅雨晴やダーリャ一つ色つけり　滋賀　野矢　花子
病みし子の夢に入らむ螢狩　富山　宇田　薫子
湯上りや螢飛びゆく夏の窓　福島　兒島ゑい子
張板の繪絹に散るや柿の花　長野　安江すえ代
蟬鳴やかはきの早き洗ひ髪　島根　高橋クニコ
涼しさよ湖上に暗き雲の陰　福島　深山のしづく
湯上りや袂をはらふ風涼し　狹　織　子
働いて木かげをもるゝ風涼し　福島　八　重　櫻
山水の清けき村も晝暑し　島根　高橋　竹香
休一夜靜けき海に凉み舟　鳥取　築谷すみ子
福引や小石もらふていかり顏　福島　栗田　文子
小流れに足ふみはづす螢狩　福島　佐々木二把子
朝顏に常より早く起きにけり　岐阜　大矢まさみ
さゞなみに夕日かゞやく夏の空　香川　秋山八千代
ほの／＼と夏の朝は明けにけり　北海道　伊藤波津子
五月雨につはめ飛びゆく花菖蒲　福島　渡邊みどり
蟇の居る石の上吹く山嵐　岐阜　酒向さくら
水の里蛙の聲に明けにけり　佐賀　飯成たの子
野の歸り水田にうつる月の影　長野　本木喜里子
水車今宵は止みて音もなし　福島　淺川みさ子

我が心迷ふ二人のこの頭を清く導く處女の友かな　香川縣　安西てる子

亡き姉におくられしこのかゝみこそ今はかたみとなりにけるかな　福島縣　渡邊ゆきえ

あゝ五月泣くによろしき梅雨の日は桐の花さく窓に文かく　熊本縣　大森かず江

遠國の友の便りにしばらくは我袖ぬらす五月雨の日に　愛媛縣　夏　草

すこやかに伸びし蠶に桑やりてしみ／＼聞けりその食む音を　福島縣　松本ちとせ

川面にうつる夕日の淸らさをうつむきて見るやなぎやさしく　北海道　山本かめの

雨過ぎし野原の草の露の上しばしは宿る夏の月哉　神奈川縣　堀井　しや

針とめてガラス戸越しにながめやる櫻並木の葉ゆれやまずも　群馬縣　大澤夜詩野

惡しき夢見たとはろ／＼尋れくる親のなさけにむせび泣く我　京都府　藤本はるゑ

喘ぎつゝ杖に頼りて行く人の傾けし笹に夕陽さし込む　靜岡縣　風岡富士子

桑きざむ姉の横顏見てあれば世に亡き母の面影しのぶ　神奈川縣　熊坂みどり

鍬肩に家路たどれば母ゐますあばらや遠く駒のいなゝぎ　群馬縣　高木とよ子

赤々と沈みゆく日をながめては逝きにし君をおもふたそがれ　福島縣　河邊　芳枝

草刈りて山路を歸る夕ぐれに耳にも近く日ぐらしのなく　神奈川縣　百　合　子

夕つぐる水田の上を飛ぶ鳥の羽根光りつゝ夏たけにけり　岐阜縣　篠田　利子

青葉かげなり／＼はとの聲もれて雨靜かなる山寺の庭　鳥取縣　杉本　輝子

ダーリヤのつぼみかぞへて五月雨に赤きはなをの足にそみけり　長崎縣　田崎　朝子

賤が家のやれし垣根にまつはりて匂ひゆかしく朝顏のさく　宮城縣　月　見　草

梅の實のまだ早きにも集ひ來て子らは竹もて叩きける哉　石川縣　正田　梅枝

とく起きて靑田見廻る我が髮を輕く吹きけり夏の朝風　長野縣　窪田願織馨

友を待つ心淋しく今日亦も一日二日と指折りて見ぬ　鳥取縣　小原しげ子

今日も一日無事に終へにし嬉しさを胸に抱きて家路たどれり　東京府　田村ゆり子

夕まぐれ障子開きてはるかなる靑空眺め我は泣くなり　鳥取縣　築地あや子

ひれもすを鍬に親しみ歸りては田打團子を頰張りにけり　福島縣　五十嵐フミノ

植え終へし我田見返り乙女我れ喜びの色表はしにけり　埼玉縣　杉田つれ子

磯山のさら／＼砂に紅の撫子咲けり君の好める　東京府　松　代　子

亡き友の文を眺めて人知れず思ひ出しつゝ涙こぼしぬ　滋賀縣　村田とめ子

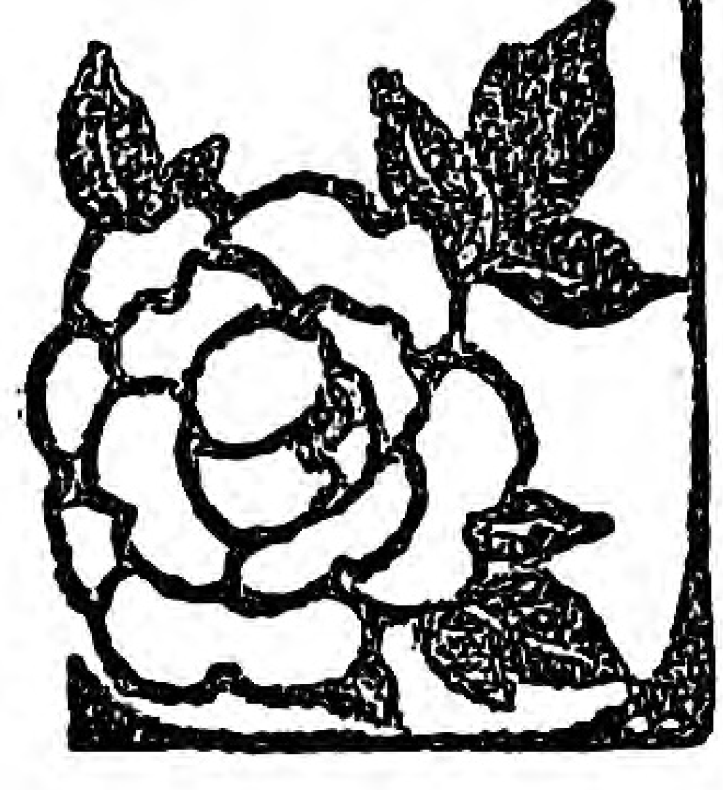
里こむる霧にかくれて見えれども聲のもれくる野の幸の主　埼玉縣　山崎千代子

父母におしへられつゝ乙女子は今年はじめてさなへもつなり　山梨縣　志村　榮

溪あひに雲をさまりて雨晴れぬ西日をうけて岩山あかき　岐阜縣　酒向サクラ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ



▽强い女、まじめな女、やさしい女、働く女は夏が來やうが少しも恐ろゝ事はありません、もつと〳〵暑くなれ、農村處女の元氣を競つて見やうと盛んな意氣を示さうではありませんか（記者）

△御挨拶

〇惱ある生活の中にも御誌により幸ある日を送つて居ます、愛讀の日まだ淺き者なれど、清き誌上にてお導き下さい（福島縣安達郡油井村 植野しん子）

〇私は淋しい山村に暮す乙女で御座います、誌上の皆様不束者ですがお仲間に入れて下さい（山梨縣中巨摩郡明穂村 野中ソウ）

〇私も本誌の愛讀者です以後宜敷く御指導を願ひます（靜岡縣伊豆 八千代草）

〇記者様思ひながら御無沙汰致しました、昨年の四月より御誌を友として樂しく働いて居ます（福島縣大沼郡沼澤村 佐藤はぎの）

〇愛知縣の小石かつ様、長崎の今里さき様、御事情お知らせ下さい、北海道の早苗撫花様、神奈川の溝口さわ様、御變りありませぬか、記者様淋しい私をお導き下さい（滋賀 田原トキ）

〇私は鍬を手にして淋しく暮す一處女でございます、御差支なくば御交際を願ひます（福島縣西川村 渡部光枝）

〇日増に榮え行く御誌を拜見する度に嬉しくてなりません、何卒お姉様方宜しくお願ひ致します、私の里は漁業の傍ら農業にもしたしんで居ります、繪葉書お送り致します（青森縣下北郡大間村 島澄子）

〈繪葉書有難うございました（記者）

〇記者様私と姉妹三人は六月號より處女の友愛讀者となりました、誌友の皆様よろしく（福島縣大沼郡中の川村 飯城きちよ）

〇記者様お變りはありませんか、私は田舎に住む一處女です、この二月から愛讀者になりました、どうぞ宜敷お交り下さい（福井縣三方郡十村岩屋 松宮きよ子）

〇私は本年も本誌を無二の友として居ります、皆様宜敷くお導き下さい（長野縣諏訪湖附近 安江すゑ代）

〇私は昨年の九月よりの愛讀者です、記者様ならびに誌友の皆様よろしく御導き下さい（山梨縣中巨摩郡常永村 河田てる子）

〇私は本年四月より御誌の愛讀者となりました、お姉様方……愚かな妹を何卒清き誌上にて御導き下さい（群馬縣 山百合）

〇私は昨年の末からお仲間入致しました、誌上の皆様盛んな御投書、私も拙いながら清き誌上にてお交り下さい（長野縣東筑摩郡 神通川さき）

〇同縣の詩の花様生江哀涙様蔭乍らお慕ひして居ます永久にお交り下さい、埼玉の今泉あさ子様其後如何遊ばしましたお伺ひ致します（舞鶴城下 蔭の花）

〇茨城の覺子様同郡でおなつかしうございます、今後よろしく誌上にて御交際を願ひます（茨城縣新治郡田奈村 一處女）

〇父もなく妹もない子は處女の友を唯一の友として居ます、先生母と二人で淋しく暮す子をどうぞ幾久しくお導きを下さいませ（鳥取縣西伯郡渡村 築谷あや子）

〇私は本年三月より愛讀者となりました、皆様これからお仲間に入れて下さい（埼玉縣北埼玉郡騎西町 中村はつ子）

〇私は[illegible]の片田舎に自然の土に親しみつゝ處女の友を無二の親友として愛讀して居る乙女でございます皆様よろしく（福島縣大沼郡 馬場花子）

〇私も今年の二月より、愛讀者となりました、記者様を始め誌友の皆様よろしく御導き下さい（福島縣南會津郡朝日村 吉津園代）

〇齋藤俔子様お變り有りませんか御地は養蠶の本場故忙がしかつたでせう、今年の春蠶はどうでございました（會津上の尻 土田歌津子）

〇鳥取縣小原胡蝶様しばらく御無沙汰いたしました何とぞあしからず思召し下さいませ本縣の皆様お奮ひ遊ばせ（埼玉縣北埼玉郡 水仙子）

〇私は本年四月より愛讀者となりました、何卒お見捨なくお導き下さい（神奈川縣津久井村 吉川昌子）

〇皆様に御指導願つて居た私の妹は此度大連の方へ行く事になりました、昨に變り皆様と共に若き日を歌ひませう（愛媛縣 水沼一露）

〇私は所澤の北に住む一處女でご

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ざいます、諸先生初め誌友の御姉様不束者乍ら御交り下さいませ（埼玉縣入間郡宮岡村　粕谷貞子）

○滋賀縣のとき子様先日はレター下さいまして、誠に有難く御禮申上げます、何卒御見捨なく永久にお交り下さいれ、神奈川縣の山口あい子様、江藤梅の様、山下恵美子様、山口孝子様、同縣でおなつかしう存じます（神奈川縣津久井郡千木良村　溝口さわ子）

○私は田舍に住む處女で、二月號より本誌の愛讀者となりました、記者様初め誌友の皆様どうぞ御仲間入り下さいませ（岐阜縣吉城郡　下林とみ子）

○同郡の田岡様御交り下さいれ、筑紫の里の渡邊まさ江様、私の兄も幸袋に居ります、御差つかへなくば誌上でお交り下さい（香川縣三豐郡白菊）

○一ヶ年いつも〳〵誌上滿面あふれ出る記者様や先生様方及び誌友の姉君様方の御熱心只々感じ入る外ありません（會津阿賀川河畔にて　八重櫻）

○記者様、誌友の皆様の御意見伺ふ事は嬉しく存じます、私共農村處女の爲に御指導下さるやう願ひます（神奈川縣都筑郡都岡村上川井　倘友會）

○五月號より御誌の愛讀者となりました、本誌を友として、樂しき月日を送らるゝのも皆本誌の御蔭と感謝致します、不束者乍ら末永く御教導を願ひます（福島縣耶麻郡吾妻村大字若宮　渉トキ子）

○記者様初め誌友の皆様よ今度私も御仲間入りいたします、何卒よろしく御導き下さい（福島縣河沼郡勝常村　花見トミ子）

○神奈川縣の金子きく子様、山口孝子様、角田いち子様、清水喜代子様おなつかしうございます、北相の里に淋しい生活を送つて居ります（神奈川縣高座郡橋本町　熊坂みどり）

○同郡に住居する江花浪子様、生江哀涙子様、今後よろしく御交際を願ひます、おひまありましたら御遊びにお出下さい（福島縣河沼郡新郷齋藤キヨノ）

○私も昨年三月より御誌の愛讀者となりましてより、身も心も生々として樂しき月日を送つて居ます、皆様御仲間入りさして下さい（福島縣大沼郡沼澤　松本ちとせ）

○先に救はれた姉妹様、御見捨なく導びいて下さいませ、記者様始め皆様初め皆様が丈夫であるやうに影ながら御祈り致しませう（東京市本所區押上町二八三　伊奈勝代）

○記者様私は淋しい田舍に處友の友を無二の親友として働いて居る一處女であります、一昨年よりの愛讀者ですが、どうぞよろしく御教導下さい（靜岡縣　友子）

○記者様私と同じ年の方（十八歳）が御座いましたら御仲間入りをさして下さいませ、さらば記者様時節柄御身御大切に（群馬縣佐波郡剛志村小柴　大澤親子）

○記者様始め誌友の諸姉様お變りありませんか、私は神奈川の片田舍に住む一處女です、御誌を唯一の友として、毎日樂しく働いて居ます、皆様どうぞお仲間に入れて下さい、（神奈川縣津久井郡内郷村　長谷川菊野）

○駿河の菊地久子様、中川なほ子様、其の後お變りありませんか、誌上にて御交り下さい（靜岡縣　ふみじ）

○記者様初め誌友の皆様お變りありませんか、私は山間にすむ一處女です、日々樂しく御誌を拜見して居ります、何卒此上よろしく御導き下さい（兵庫縣多紀郡大芋村　黑田こう）

○誌友の皆様御變りありませんか神奈川の柳美様菊子様、御差支なくば御交り下さい、（神奈川縣　山口愛子）

○同村の梅乃様、菊野様おなつかしう御座います、誌友の皆様御身御大切に（神奈川縣　大神田晴女）

○今度同村の松木的子様が愛讀者になられましたからよろしく願ひます（鳥取縣西伯郡渡村　築谷綾子）

○私も六月號より本誌の愛讀者となりました、皆様よろしくお導き下さい、新井菊壽様、中野政子様同郡でおなつかしうございます）埼玉縣秩父郡國神村　清水麿津壽）

○西伯の小原様を初め縣下の誌友の皆様御文通を願ひます（鳥取縣日野郡　杉本輝子）

○青葉につゝまれた田舍家の乙女はとうから本誌の愛讀者です、どうぞよろしく（宮城　月見草）

○一月より御誌の愛讀者となりました、以後何卒お導きの程（福島みえ）

○七月號より愛讀者になりました誌友の皆様宜しく御指導下さい（石川縣　正田光枝）

○私は茨城の山里にすむ一處女です誌友の皆様お便り下さい（茨城縣新治郡九重村　中岡ふさ子）

○鳥取縣の角壽子様、築谷あや子様、清き誌上でみやさしい御言葉有難うございます（愛知　今井しげ子）

○皆様田舍は秋蠶で忙がしうございます、共に働きませう誌上によろしくお交り下さい（飛行機飛ぶ里にて　山百合）

○正月號から御誌の愛讀者となりました、誌友の皆様どうかお導き下さい（香川縣木田郡水上村　多田美

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

津江）

○六月より本誌の愛讀者となりました、諸先生初め誌友の諸姉樣何卒不束な私を御指導下さいませ（三重縣阿山郡山田村　増山駒子）

○私は初めて投書しましたからよろしく御交際下さいませ（岐阜縣武儀郡上麻生村眞光寺　平山勞）

○記者樣私は處女の友を唯一の慰安者として向上發展に心掛けて居るもので御座いますどうぞお導き下さいませ（埼玉縣兒玉郡東兒玉村　原田里子）

○私は淋しい農家に本誌を無二の友として樂しく暮して居ります、淸き誌上の皆樣よろしくお導き下さいすみれ樣同縣でおなつかしうございます（愛媛縣溫泉郡　梅芳）

○同縣の小林忍代樣其の後如何遊ばしましたのお便り致しましても御返信がありませんが（鳥取縣　淚送花）

○私は福島縣の淋しき片田舍に住む處女であります、この六月號より愛讀者となりました、全國の皆樣私もお仲間に入れて下さい（福島縣石城郡泉村　下遠野政子）

○前島梢樣とうからゆたかな御詩才に憧れて居りますの、終りに五常の皆樣お勵み遊ばせ（會田河畔白百合）

○御なつかしき群馬の赤い鳥樣、誌上でみ言葉ありがとう。お差支へなくば御住所お知らせ下さいな（きゃく改名夕美歌子）

○私は本年五月より處女の友の愛讀者となりました、記者樣始め皆樣何卒お導き下さい（德島縣　河内キクエ）

○私も田舍の愛讀者です、宜しくお願ひ致します、同縣のふたば樣、詩の花樣、日頃おしたひ申して居ました末永く（福島縣　河原撫子）

○私は會津の片田舍に淋しく暮して居る處女てす、處女の友の愛讀者となりました、皆樣どうぞお見捨なくお導き下さい（福島縣河沼郡上野尻村　貝沼千代子）

○記者樣初め誌友の皆樣拙い私ながら誌上にてお交り下さい（福島縣三春町　田村の花）

○お便りは初めてですがどうぞお交り下さい、三重縣の高木紫子樣私は三重縣の者です、おなつかしうございます（東京府下中野町二〇五〇鈴木方　若林志津）

○私は香川縣の片田舍に住む一處女です、不幸にして三才の時産みの母に死別れました、皆樣に御交際を願ひ度うございます（香川縣　香西イセ）

△ほんとにお氣の毒なお方ですこと、皆樣お友達になつて下さい（記者）

○群馬縣の赤い鳥樣先日は御言葉誠に有難うございました、お差つかへなくば住所お知らせ下さい（神奈川縣　江藤梅乃）

○私は昨年十一月より處女の友愛讀者の御仲間入りしました、毎日樂しく働き日の暮れるのを待ちかれて愛讀致して居ります。（香川縣一豐郡柞田村　秋山さと子）

○北海道雨龍郡の山本かめの樣、私の叔母も御當地に行きました宜しく願ひます（香川縣　牧野千代能）

○私は夜處女の友を見るたびに皆樣のお働きが日に見えるやうであります、橋本さわ子樣には御無事にてお暮しなさいますか（岐阜縣　田口わか子）

○槇田村の美枝子樣先達は御手紙下され嬉しうございました、どうぞ妹と思つて下さい、私は姉さんと思つてゐます、（岐阜市日本毛織會社内酒井加津枝）

○私は三重縣の片田舍に住む一處女であります、あまりの淋しさで又處女の友愛讀者となりました、どうぞお見捨なくお交り下さい（長崎縣西彼杵郡三重村　森幾世）

○半岐愛子樣お情深きお便り下さいまして有難うございました、（福島縣　小柴房野）

○私は甲州の片田舍に住む一處女ですどうぞ皆樣御愛願を願ひます（山梨縣　野中ゑとじ）

○私も松本みどり樣と共に本誌の愛讀者となりました、隣村の門脇みつ子樣、築谷あや子樣御指導下さい（鳥取縣西伯郡中濱村　松本久子）

○私は山の町に住む處女です、さうして私は皆樣と御交際をお願ひいたします（愛知縣北設樂郡三輪村　奥野春子）

○み言葉給はりし皆樣どうぞ私こそ宜しく、萍州樣誠に失禮ですがもしや新井樣では……では皆樣いつまでも仲よくお交りの程を（半岐愛子）

○天野先生初め誌友の皆樣お變りありませんか私も本年三月から愛讀者となりました皆樣お交り下さい（神奈川縣　大神田初子）

○私は七宗山の麓に住む一處女で本年二月より御誌の愛讀者となりました、皆樣よろしくお導き下さいまし（岐阜縣武儀郡坂ノ東　長尾ふくゑ）

○記者樣初め皆樣昨年九月號よりの愛讀者です今後よろしく御指導下さい（北海道　一處女）

○私は會津の中央に住む一靑年です、記者樣初め誌友の皆樣の御熱心に感激しました（福島縣　津村慶水）

○記者樣誌友の皆樣お變りありませんか熊本縣の福下ひろ子樣お便りありがたう（岐阜縣　佐古かずゑ）

○福下ひろ子樣同縣にておなつか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しうございます(鐵嶺　伊藤とみ子)

○私は流れ清き富士川のほとりの一工場に働いてゐる不束者です、何卒誌友の姉樣お導き下さい、(富水のほとりにて　すみれ)

○私は戸數四百戸に足らぬ小村の者でございます、どうぞよろしく(福島縣南會津郡朝日村　矢澤粂廼)

○長野の窪田樣お懐しうございます、貴女胡蝶樣ぢやございませんかお差支へなくばお知らせ下さい、皆樣よろしく(東京府　内海千代子)

○とう〳〵暑い時節となりました岩手の千葉良子樣同縣でおなつかしうございます、青木糸子樣みやさしいお寫眞拜見いたしお慕ひして居ます、(菊地繁子)

▽研究室

○五月號で反對の子樣の意見を尊重します、よほど深い理解がない以上ともすれば誤り易き青年處女との間柄、けれども青年處女は未來の父母です。生かじりの青年が純潔なる處女のくらぶを惡用し、己の卑むべき野心をみたさんとするが如き青年のあつたことを深く御わびします、(石川縣能美郡國府村字埴田　牛田愛國)

○私は帝國青年の愛讀者、妹が愛讀する本誌に目を通して見ると成る程いゝ、こんな良誌のあるのは處女の爲め眞に喜ぶべき事であります、(愛媛縣西宇和郡矢野崎村　宮本勇)

○五月號より誌友くらぶによれば男子愛讀者反對者が多いやうですれ私も田舎者の男子愛讀者ですが、私は決して純潔な處女の友に卑劣な事をする考へでは無いものですが、私は處女の友を愛讀して居ます、(山口縣　田中若葉)

○先生私は耳か遠くて、專門家に見てもらひましたが、少しも効果がありませんので、毎日悲觀して居ます、先生どうかしてなほし度いと思ひますが、よい方法はないでせうが御有になりましたら、どうか御敎へて下さい、妾手を合せて御願致します。(山梨縣　一處女)

○あなたの氣の毒なお訴へを聞いてほんとに御同情致しました、耳が遠いといふ事はどんなに辛いか知れませんが、あなたは自分の修養によつて、人格を高くして德をもつて人をなびけるやうにして下さい(記者)

○誌友の諸姉樣、新愛讀者の御挨拶も結構ですが、限りある紙數故、挨拶はよして、地方の活動振り、氣焔、修養上の金言等にかへては如何ですか(神奈川縣高座郡大和村　小菅伊太郎)

△よくこそ御氣づけ下さいました記者も同じ意見をもつて居ます(記者)

○山口の松原りき樣、私はすみ子樣の友達でございます、不束ですがよろしくお導き下さいませ、誠實な青年の方が愛讀者になつて下さるのは、うれしい事と存じます、どこまでも理解し合つて、清い〳〵御交際をしませう(東京府　葉山由良子)

○記者樣この處女の友は毎月一日發行とありますか、何日頃發行ですか私共の方は十日頃ですの(埼玉縣兒玉郡東兒玉村　村松滿壽)

○先生の御活動、熱列なる胸襟を開いて我々處女を善導して下さいます、六月號處女の友誌友倶樂部に男子の仲間入りの云々がありました、之れには神聖な交際、誌友倶樂部の仲間入りは賛成です、(岐阜縣　藤井牧助)

○友千鳥樣なぜ男子の誌友くらぶに仲間入はきらいてすの、私等日本女子が男子と交際は反對とはいけませんよ(熊本縣　福下ひろ子)

○青年男女は將來の日本の運命を背負つて起つべき第二の公民となる者です、青年が處女を理解し、處女が青年を理解して、兩者相携へて現在の惡風潮を一掃し、改造世界の柱とならうではありませんか、(京都府　桂寛司)

○青年の誌友云々に就いて、本持樣の御説あまり極端でありませんか一寸した意見の相違に「總攻擊で追返す」そんな甚だしいお言葉は處女を理解して下さる眞の青年の叫びと申されませうか(北海道　白百合)

○工夫女は手紙ではいけませんか(小石川區　大坂きの子)

△文體は何でもかまひません(記者)

○純潔な心を以て男女互に思想の交換をなし、精神的に向上して行つたなら誌友としての處女青年の交り……私は意義ある事と思ひます(佐藤浩)

○男子の方のお仲間入りについて申上げます、誌上で清く交際するのなれば私は喜んで賛成致します(小手指　芙蓉)

○記者樣、嘉悦先生の御話實に身にしみました、正しく誌友のお仲間入りをする男子の方は前々より强くてやさしくて、まじめで働く人と思ひます(山梨縣　野中リウ)

○私はこの淸い處女の友誌上に男子の名の見へるのが嬉しく思はれます、貧しい女子をよく理解して御指導下さる模範の青年の一人も多くなるのを熱望致します。記者樣誌友くらぶにも沒書がありますか(窪田願緻響)

△誌友くらぶはなるべく採用して居ますがあまり字が見にくかつたり名前が書いてなかつたりするのは沒書にします(記者)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○七月號の髮の結び方、欒バンドの販賣所代價をお知らせ下さい（茨城縣　孝子）

△販賣所は東京市赤坂見附山本美粧倶樂部代價は直接お尋ね下さい（記者）

○私は昨年の春處女會の發起者となりあらゆる非難の下に戸別訪問までもして發會式をあげました僅かに二年足らずして青年會より發展の早いのに驚きました、これといふのも處女の友の讀者の多い爲と深く感謝して居ます（福島縣　以登子）

○滋賀縣の本持庄太郎樣、福島縣の服部義馬樣のやうな理解ある頭を以て處女の友を愛讀して下さる方の多くなるのを嬉しく思ひます、（北海道　萩原千代子）

○滋賀縣の本持庄太郎樣の御說に同感です、理解ある愛讀者なら男子でも女子でも少しも差支へないと思ひます反對の子さん如何、田村の里にて憤慨生）

○反對の子さん攻擊するの退治するのと言はれては反つて貴女の御損ですからお强い事を仰有らずにお互ひに仲よく致さうぢやありませんか（福島縣三春町忠告する子）

○記者樣本欄を無意味な挨拶を止めて、活氣ある意義ある神聖な交際欄としては如何です（栗原思茅）

△本欄は皆さんの領分です、有意義にするも無意義にするも皆さんの活動次第です、どんなにでも解放します（記者）

○六月號に私共の會合の記事をお載せ下さいまして、恐れ入りましたが口繪が異つて居ました、間違つたのでせうか（和歌山縣伊都郡戀野村婦人會處女部）

△口繪の係の方に聯絡をとつて居なかつたために記事と異つて申譯ありません、今度載せました（記者）

○皆樣問題の男女交際の事は要するに程度問題です、堂々と誌上で論究する程の價値はありません、幸に記者樣共鳴して下さい（吉岡孝子）

△全くです、皆さんの心々によつて解決さるゝ問題です、もつと意義ある問題を出して研究室を賑やかにして下さい（記者）

○作文、和歌、俳句、習字、圖畫に男子の投稿は不可能ですか（服部義馬）

△さしつかへありません（記者）

○親友誌で見ると何れも皆青年處女が提携して居るやうですが、本誌の誌友はなぜ男を反對して居るのでせう、青年は未來の父、處女は母となるのではありませんか（岡田保市）

○私は本誌の男子の愛讀者の居らるゝ事を嬉しく思ひます、嘉悅先生の記事のやうに清く美しく交り度いと思ひます（一處女）

○私共を理解し、この處女會にお骨折下さる方なら青年とても誌友となられん事を望みます（鹽澤みつほ）

お噂さ

○和歌、誌友くらぶに不束な私が投書致しましたのをお直し下さいまして有難うございます、記者諸先生の御健康を遙かこの地よりお祈りしてゐます（福岡縣浮羽郡水分村　小田行德な子）

○風岡富士子樣ステキにハイカラですね、あなたも野の幸を歌ふ方なんですか「汽車の窓より」て都にあこがれてゐるお房さんのやうですね（佐賀　ふみ子）

○土屋たま子さんは私の無二の親友でありました、私は何も知らない乙女で御座います何卒よい道へ御導き下さい（福島縣耶麻郡沼尻　瀨田艷子）

○交れば交る程親しさを感ずるのは土と處女の友でございます、全國の皆樣お互に愛し合ひ、信じ合ひ、むつましく此世を渡りませう（福島縣　沼野波多子）

○月々に御誌の發展を、かげながらお喜び申上ます。六月號の「汗と脂で作らるゝ運命」を讀みまして、身にしみ〴〵と感じました、（猪苗代町　八子壽子）

○六月號ですゑ子さんのお身上、又孝女もと子さん、世にはいろ〳〵苦勞してゐらつしやるお方も有るものですね、もと子さんの御孝心深いのに實に感激致しました。（福島縣喜美子）

○六月號に和歌の澤山出てゐたのがほんとにうれしうございました。橋本登久子樣みやさしい御手紙どんなに嬉しく拜見した事でせう（群馬縣太田町　島田幸子）

○猪苗代町のすゑ子樣御同情いたします。私も二十二、同じ年で同じやうな境遇に生て居るのです、淸い誌上でお交りいたしませう（福島縣さくら草）

○「親のない娘へ」ほんとに嬉しく拜讀いたしました、私も父のない子でございます、淋しい身は處女の友によつて慰められ、かつはげまされて居ます「强く優しく眞面目に働き」度いと思ひます。（群馬縣　高木とよ子）

○七月號には我等女工にとつて有益な記事御のせ下さいまして有難く厚く御禮いたします、工場に働いて居る皆樣修養致しませう。（京都府郡是工場　藤本はるゑ）

○私はこの雜誌を讀まして頂くのが唯一の樂しみでございます、おかげで大變頭が變りました事を諸先生お悅び下さい（近江八幡町　吉川ちゑ子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○四ッ谷の土沼たまよ様どう遊ばしたの、さつぱり誌上にお見えになりませんのネ、自然の美多き猪苗代に住んで居るんぢやありませんか、お互ひに奮ひませうネ（磐梯山のふもとにて拾小舟）

○北海道の松本様、香川の佐伯様其の後は如何、島根の石川様、滋賀の空よりお慕ひして居ます、近頃は島根の方ですか御生地の方ですか。（田原しづ子）

○六月號で和歌俳句おめぐみの方に兄等發行の文藝誌をお送りする事を發表しましたら本日まで三十八通まゐりました、この方々に全部さしあげることも出來ませんので、今度は切手十錢同封申込の方に全部さし上げる事にしました。（千葉縣八街町三吉町吉井方　松本津計子）

○前號の滋賀縣の一處女様のお說に大贊成です、滋賀縣の田井中きみ子様は本誌愛讀なされて居ますのれどし／＼投書なさいませ（滋賀市居）

○明けくれお慕ひ申した白鳥様のお寫眞が七月號に……まあ嬉しいおなつかしい白鶴はどんなによろこんだ事でせう（滋賀　中川白鶴）

○記者様お送り致しました繪葉書は工場に働いて居らるゝ誌友の方々に頂いたのでございます、遠き信濃の工場生活の一部をごらん下さい。（伴在多津子）

△繪葉書有り難うございました。（記者）

○日に月に發展して行く御誌を毎月拜見して一方ならぬ記者様のお骨折を深く感謝致して居ります、全縣の皆様ます／＼お振ひ遊ばせ（福島縣　鈴木きよい）

○記者先生御編輯にも一入御辛勞の御事と存じます、私は「處女の友」の愛讀を勸誘してゐます、私は毎月二十日から廿五六日までの間が一ヶ月もあるやうな氣がします、それは處女の友の來るのを待つからであります（滋賀　本持庄太郎）

△編輯部でも懸命の努力で御援助下さる皆様に報ひませう（記者）

○記者様誌友の皆様私も親友のすゝめで御誌の愛讀者となりました、天野先生河沼郡處女會には遠路おいとひなく御出下され、有益なお話誠に有難うございました（福島縣　塚野リキ）

○私ば名高い千歲山の麓の長谷川製絲所に居る處女です、同縣の澁谷様西村山郡の設樂千芳様なつかしくてなりません（山形縣　菅かつよ）

○お慕はしいおなつかしい宮城の牟岐様誌上でみ美しいお姿拜見する事が出來て眞にうれしうございました、もう御病氣は御全快なさいましたか（紀伊　青柳）

○記者様今度は美しい繪葉書有難うございました（岐阜縣　安藤さゝの）

○松崎先生御厚情こもれるみ便り有難う存じました、山口いと子様、螢草様、み言葉嬉しく存じます、御住所御本名委しく御知らせ下さいませ、壽子様、明子様お奮い遊ばせ白鶴様可愛らしいお名前れ（小原しげ子）

○私はこんな有益な雜誌を今まで知らなかつた事を殘念に思ひます、今後は本誌によつて一層修養し又御友だちにも勸める覺悟です（岐阜縣篠田利子）

○山下様お言葉有難うございます草深い田舍に天然を友として働く身には誌上の皆様がおなつかしくてなりません、相原村のみどり様、大澤村の大貫様、近村でおなつかしうございます（神奈川縣　小林まさ子）

○福島の詩の花様宮城の白鳥様遠き南國よりお慕ひ申して居ます、どうぞみ言葉給はりませ高木繁子様私鈴蘭です（鈴木靜子）

○皆様身も心も疲れはてた時でも處女の友によつてすつかり癒されますの、滋賀の中川様み言葉下さいまして感謝して居ます、詩の花様、土田かつ子様、美はしきお作にいつもお慕ひして居ます（福島　河邊芳枝）

○香川縣の安部信江様、誌上で暑中見舞申上げます、記者様私もこれから盛んにふるひます（横田美枝子）

△どし／＼おふろひなさいませ。（記者）

○記者様毎號有益な記事眞に嬉しく拜讀致して居ります、（熊本　前田るみ子）

○東都の齋藤八千代様、和歌山のえい子様、香川の月見草様お慕はしう存じますお便り下さいませ（鳥取門脇みつ子）

○石川秀溫様事情があつて、尼僧に成られましたのですか、身の上お聞かせ下さい、心からお便りが致し度うございます（滋賀縣河上かれ子）

○おなつかしい記者様や誌友の皆様お變りありませんか一月ごとににぎやかになる處女の友、ほんとにうれしく思つてゐます（北海道　由本かめの）

○天野先生　松崎先生にはおさはりもありませんか胡蝶様、白鳥様、美尾子様、儷子様、千枝子様、月見草様、山本様、その後はいかゞ（白蝶）

○關口好子様御一人ですれ、共に比企内で誌友の多くなるやうに一生懸命につとめませう、お差支へなくば御文通を願ひます（埼玉縣　峰岸虎次）

○長野縣の山田きゝく様慕はしうございます、伴在たつ子様とお出しになるのはあなたでせう、お友達は私と間違へますの（長野縣　松澤あつ子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○岐阜縣の渡邊富子樣、愛媛の水沼壽磨子樣、前號でおやさしい御言葉有難う存じます、私は香川縣三豊郡大野原下杉林です群馬の螢草樣ぜひ御本名おもらし下さい、上本チカズ樣御言葉に恐れ入ります（石川もと子）

○私は七月號の親のない娘へには泣かされました、私は小さい時に都會を去り父母と別れて今では田舎の乙女となりました（鳥取縣　築谷すみ子）

○月々に賑ふ誌友くらぶにて皆樣の御訓話嬉しく拜讀致して居ります共に修養につとめませう（福島縣大内さめ子）

○鳥取縣の門脇みつ子樣同名でおなつかしうございます、お差支へなくばお交り下さい（菅家美津子）

○七月號を拜見して誌友くらぶの賑やかなこと實に驚きました、尙一層發展するやういのります（北海道篠崎しげ子）

○私の如き淋しき村の處女でも他縣の人の聲を拜見致す事が出來ると は何といふ幸でございませう（岡本孝子）

○安藤さゝの樣、古田としゑ樣同縣にておなつかしく存じますおさしつかへなくばお交り下さい（梶田とし子）

△趣味のお室

○終日汗になつて働いて、晝間の汗を行水に流し、白衣に着代へ、家内樂しく夕餉のつどひ、又なつかしい友ちやんを抱いて、星またゝく大空を心ゆくまで眺める時は、眞實に都會の人の味ふ事の出來ない喜びです。愛媛縣の橋本樣おなつかしうございます（香川縣　野田加津枝）

○對比地こう子樣白萩樣しばらくの沈默お許し遊ばせ、鳥取の胡蝶樣香川の白蝶樣、おやさしい方としてはろかにお慕ひ申して居ます、猪苗代湖の淺川みさよ樣前號ではお言葉有難う、群馬の姫百合樣共に野に咲く花としてお交り下さいませ（宮川のほとり　鈴蘭）

○愛知の小石かつ子樣御察し致します、私も幼い時に母に別れ、今は父と妹と私の三人暮しで御座います この誌友の中にも私共のやうに不幸な者もありますわれ、（長野縣東筑摩郡錦部反町　本木斎里子）

○碧い空――靑い湖――白い鳥、其間を夢のやうに辷る紅いボート、さては湖面に寫る磐梯の秀姿!!あゝこの美しい夏の夕景色を文才に富んだ皆樣にお目にかけたうございます（猪苗代湖畔水に咲く花）

△湖畔の美景に憧れて記者の胸も躍ります（記者）

○私は久慈川端の大宮町の片田舎に住む者で、今は病める從姉妹の全快を淋しく神に祈つてゐます（茨城縣那珂郡大宮町　北村うめ子）

○じーと眸みはつて、二階の窓からながめてゐますと、忙がしそうに若い乙女逹が水田にちらつきます、赤いたすき、菅の小笠、たまらなく好き!!（佐賀　北村夢歌）

○宮城縣の呼子鳥樣貴女はきつと愛子樣でせう、赤鳥は私でしたの、今後も變らずよろしくれ渡村の築谷あや子樣度々お優しいみことば深く感謝致します、縣下の皆樣奮ひませう（島根縣　ふさの）

○農村より偉大なる田園詩人、文學者出でよと天野先生は叫ばれました。田園の皆樣奮ひませう鍬取る暇に、鍬とろひまに、太い指もて文學の筆を握りしめて（靜岡遠藤作得茂）

○北海道の內海千代子樣おなつかしう御座います、あなたは大妻女學校へ御入學遊ばしたとの事此上もない御幸福と思ひます、一層お奮ひ下さい（群馬縣　茂子）

○あい子樣、とく子樣はじめ皆樣のみ筆にて歌壇、俳壇の彩られて行くのがほんとうにうれしうございます、富山の大道松枝樣お兄樣の「べに草」しばらく前にお書頂いたんですけど、心ならずも今まで失禮しましたどうぞよろしく（對比地こう）

○皆樣のお作を拜見する度に幼い私の胸は高鳴ります、そして堪え切れなくなつて投書しましたどうか今後よろしくお交り下さいませ、夕陽が赤々と薬園を照して居ります（群馬縣佐波郡 剛思村 大字小柴大 澤親子）

○豐かに黄ばみし大麥が私らの勞働をうながして居ます、眞の勞作の後にはじめて眞の休息は得られるのですもの、暑さと鬪ひませう、最善をつくしませう（群馬橋本美代子）

○伴在多津子樣、萩原千代子樣、築地あや子樣、み言葉あり難うございます、四月號でしたかしら、私わすれましたが私にみ言葉下さいました方はお名前をおきかせ下さいませ。（東京市　內海千代子）

○胡蝶樣、度々お便り嬉しく拜見して居ります、橋本樣、御養蠶お忙がしうございませう、（宮城の野菊）

○群馬の橋本美代子樣御やさしき御言葉有難うございます、是非共お交りを願ひます、お互ひにつよくやさしくまじめに働きませう、（福島若樣たまの）

○同縣の詩の花樣奖邨な詩才に憧れて居りましたのにみ言樣頂き有難うございます、土田かつ子樣、土屋しの子樣、日下奖美子樣、香川の白蝶樣益々おふるひ遊ばせな（福島齋藤僊子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○信仰の生涯ー何といふ超越的な言葉でせう、石川秀温様、今里知子様、年若うして信仰の生涯に入られ見も知らぬ諸國を旅さろゝあなた方にはお變りもございませんか、どうぞ强い力を以て眞の信仰の叫びの中に入らろゝ樣いのります（福島縣 渡邊美津子）

○不平や不滿を抱ひて送つたこの二ヶ年……私は只今眞に目覺めました、みな樣あきらめるといふ事もやつぱり或ろ程度迄は大切な事ぢやないでせうか、登久子樣お變りありませんか、おなつかしきみたよりを（福島 夢の花）

○終日野に働いて居た人影は消えてしまひました……處女の友によつて疲れは恢復されます、中川樣、藤倉樣、みよし樣、み言葉頂き却て赤面の至りです、前號で菊地樣、門脇樣、御言葉頂き、幸福に思ひます柳岡樣前から交際下さろあの登久子よ……夢歌樣、夢の花樣お振ひなさいませ（利根河畔夢見草）

○香り床しき綠のもとに夕風あびつゝ歌ふ時疲勞も苦熱も忘れ果て……宛然愛の女神に抱擁された如に幸福を感ずるのでございます（靜岡縣 風岡富士子）

○白鶴樣來月から私も白鳥樣の妹となりますどうぞ白鶴樣も私を妹と

號でみ言葉あり難うどうぞお交り下さい（東京府下中野町鈴木方二〇五 ○ 柴田フヨ子）

○輝かしい日光がくろずんだ綠の葉に長く長く進つて、若やかしい光をはなつてゐます、群馬の對比地樣福島の目黑きい子樣お慕ひして居ます（福島縣 二瓶木枝子）

○蚊の羽音が漂ふ夕雨は止みました、……梅雨時の空ひくゝたれ込んで、陰欝な室から逃れ出ました、先生こんな時の御氣分はいかゞです、御熱心に指導下さろのを遠い田舍に感涙に咽んで居ます（上毛 フリザヤ）

○瀧谷の日下芙美子樣お美しいお作に感じて居ます、私誰だかおわかりになりまして……群馬の登久子姉樣お損ひ遊ばせ（福島縣 夢の花）

○今度私の處女會でも文藝誌を發行する事になり、六月號から發刊しました皆さん交換してお互に向上發展に務めませう（埼玉縣 岡田かれ子）

○六月號の賞として美麗な繪葉書お送り下さいまして、有難うございます、私は石岡處女會員でしたが見習として左記の處に參りました（小石川區指ヶ谷町宮内方 若山覺子）

○私は淋しい日を送つて居ましたが、小さいけれど美しい、そうして

から感謝して居ます（東京府 松代子）

○水田になく蛙の聲は又しきり、鍬持つ此の身を物憂く感じさせます折しも手にする處女の友をひもときますとき、我か名を見出した時の嬉しき……（埼玉 荒井らく子）

○誌友の皆樣人と生れて一生何の爲になる働をもなし得ずして、空しく此の世を去ろのは殘念ではありませんか、世の中は益々進歩して參ります（岐阜 風月子）

○炎熱燒くが如き田園に拭き切れぬ汗を流してお働きになる皆樣北國の夕べは凉しく疲れた手足を投げ出して處女の友を讀む時暖國の人々を想像して居ます（北海道 早苗波里子）

○この山の中にも夏は訪れて來ました、記者樣お變りはございませんか、私も丈夫で日々農業にいそしんで居ます、同縣の皆樣おなつかしうございます（福島縣 遠藤まつ子）

○諸先生には如何御すごしでせうか……私も平和なる田舍に樂しく暮して居ます（香川 月見草）

○府下の寒村に淋しく暮す私を慰めて下さろのは本誌です、誌友の皆樣共に本誌の文壇を育んでゆきませう（東京府 大久保よし子）

○悲しい時も淋しい時もこの處女

龜山あや樣、加納つせ樣、加納とら樣、戸釜ゆき樣學生時代を思ひ出しておなつかしうございます、加藤ほかゑ樣同村でおなつかしうございます（岐阜縣 林たゞ枝）

○私も今度俳拘や和歌を投書しました、どうぞお笑ひなくよろしくお願ひします神田錦町の山本すみ子樣おさしつかへなくばお便り下さいませ（北海道日高國沙流郡門別村 伊藤波津子）

○天野先生には遠路おいとひなく御熱心なるお話を承り、今迄暗い思ひに沈んで居た私も光明なる世界に進み得ろ事が出來ました、感謝します（孤蓮）

○記者樣初め誌友の皆樣おさなき私をお導き下さいませ、登久子樣御言葉有りがたう御座いました、終りに誌友の諸兄姉樣、和歌を敎へて下さいませ（群馬縣 大澤親子）

◉腋臭患者の新福音 腋臭は古來より不治の醜症として醫療も施すに術なく唯だ姑息的に一時の防臭藥を應用するに止まりしが東京北品川町日新館創製劑部にて創製せし腋臭必治劑は腋臭を根底より完全に治癒し再發或は他病に變ずる患ひなし

（注）原本において小口側文字切れ（不二出版）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

(注) 原本において小口側文字切れ (不二出版)

〇編輯だより

△奮闘の夏、努力の夏、皆さん精一ぱいに働いて眞に健康の幸福をほこつて下さい。

△「あなたは今年はどちらへ御避暑なさいますの」と虚榮心の强い都の娘さんたちが弱音を吐いて居る時に、終日田の草とりに沸かへる水田に働く娘さんは、茂つた山かげの背戸に一日の汗を流し「行水の捨てどころなし蟲のこゑ」など、田園詩人になつて居らるゝ、何といふ床しい事でせう。

△月々に投書が多くなつて編輯部もます〳〵忙がしくなつて參りました、皆さんの向上のため喜んで働いて居ます。

△新讀者を紹介して下さる方に中央部一同感謝して居ます、これから毎月芳名錄を發表いたします。

△皆さんの身上話も歡迎しますお互ひに自分の身上を打明けて親睦をはかつて下さい。

△各地方で珍らしいお料理があつたらお知らせ下さい紙上で發表して皆さんに知らせ度いと思ひます。

△講習會も出來る限り有益にしたいと思ひまして、中央部では今から骨を折つてゐます。

七月號考へ物は秋の七草で「萩、尾花、葛、瞿麥、女郎花、藤袴、桔梗」が正解であります。
正解者の中で抽籤の結果左の方々に當りました。

懸賞當籤者

沖縄縣與儀まさ、和歌山縣福岡よしの、福岡縣岡部サカヱ、岡山縣島田ちかよ、鳥取縣增田政子、兵庫縣黑田こう、群馬縣高橋國代、岐阜縣渡邊操、福井縣古池芳枝、長野縣鹽澤みつほ、福島縣花見トミ、埼玉縣山崎千代子、栃木縣增淵咲子、福島縣伊藤さとし、神奈川縣若林悦子靜岡縣安部ふみじ、群馬縣柳岡いく、新潟縣小島ヒサ子、福島縣星いくの、島根縣高橋國代、三重縣佐藤ノブ、茨城縣池田房枝、千葉縣井上ふみ、山梨縣伊藤こずゑ、秋田縣兒玉ため、東京池田かめ、富山縣宮崎さく、德島縣蔦篭政子香川縣高島ヨシ、東京須田こん、愛媛縣阿部いれ子、大分縣阿部たま、山口縣野村常、福岡縣櫛藤しん、香川縣石井文子、愛媛縣村山ヤス子靑森縣小笠原すみ、岩手縣菊池よう子、北海道小野寺かつじ、靜岡縣杉山さだ、愛知縣近藤澄子、石川縣土師久子、滋賀縣田中よれ、京都府井田のぶ代、

考へ物新題

「秋の田の露重げなる稻穗哉」
これは秋の田の實れる樣を形容した俳句ですが、秋の田の有樣を虫の名で言ひ表はす事も出來ます。虫の名は何でせう。
締切八月十日迄に、本鄕區元町二ノ六六處女の友發行所のこと、答はハガキ若くは同じ大きさの紙。

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵税
一冊	拾八錢	五厘
六冊	壹圓八錢	不要
十二冊	貳圓	不要

註文規定

〇〇註文はすべて前金のこと
〇〇送金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
〇〇郵券代用は必らず一割增のこと
〇〇前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
〇送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十年七月廿七日印刷
大正十年八月一日發行

編輯人 東京市本鄕區元町二ノ六六 天野藤男
發行人印刷人 東京市神田區小川町三十六 田所梢猪
印刷所 成巧社印刷所
東京市本鄕區元町二ノ六六
假事務所 處女會中央部
東京市本鄕區元町二ノ六六
發行所 處女の友發行所
振替東京六一九〇番
電話小石川四三八四番

大賣捌 東京堂、北隆館、至誠堂其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

電燈の進歩に伴はざる
笠の惱み！
電燈創始時代の單純偏平な笠は
時代後れを示します
形と色とは審美的に
配光は學理的に作り上げられたる
乳色硝子製
ベルリア反射笠！
之は夜間家庭平和の象徴です
三尾
神奈川縣川崎町
東京電氣株式會社
出張販賣所
東京市京橋區銀座尾張町一ノ一　電話新橋 長一三七一・一三七〇 一三七二
大阪市西區阿波座通一ノ五　電話新町 長六三〇・八九八 長八九九
門司市西本町三ノ二九　電話長四六・六八二
此雜誌名及び商品名御報の方へは說明書呈
D-21

親友

（毎月一日發行）定價一部 金拾五錢 送料五厘 一年壹圓七拾錢

主幹 内務省囑託 天野藤男

時勢の要求急なるにも拘らず其の實現の遲きを憂れ且は嘆ずる事熱烈なる覺醒しつゝある吾人青年等は從來相互ひに修養、向上、改善等を熱叫し合ひ各自の爲に資しつゝありし本誌をして玆に若き異性同士の精神的交友の無二の親友たるを本分とせしむ。來たれ！ 意氣に富む女性よ！ 處女と青年との提携の完成に資せ

〔投稿に懸賞〕見本請求五厘切手二十枚封入の事（其月號切の際は次號送る）

床次内務大臣題字 中橋文部大臣題字 田子内務書記官序 乘杉文部事務官序 天野藤男 同 清子 著 定價貳圓五拾錢 郵税金拾五錢

忽再版

改造と向上 青年と處女の叫

傳襲に囚へられたるものは改造の空氣を吸ふ能はず向上の道を進み得ざるべし、本書は青年及處女の大膽なる赤裸々の告白を錄し、以て相互に傳襲を捨てしめ、青年と處女とに改造と向上とのヒントを與へんとしたるもの地方青年會並處女會の讀物として必要缺く可らざる好著であり、青年男女の修養書として推奬す。

新刊

内務省囑託 處女會理事 天野藤男先生著 山本鼎畫伯裝幀

都に憧れて

定價金壹圓參拾錢送料共 寫眞數葉洋裝凾入頗美本

花の帝都に憧憬れて住み馴れしふるさとをあとに向不見に家を飛出して上京せるお房お君の活ける事實を中心に天野先生が心血を注がれた小説で文部省の生活改善展覽會に是を活動寫眞にて發表し、又内務省に於ても推賞し全國到る處に宣傳しつゝあり青年處女の修養書として推奬する良書である。愈々製本出來

發行所 東京市神田區美土代町三 振替東京四二四一四番 親愛社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

美容新劑 やせる薬

（藥名ヨードチリン錠）（改正藥價）貳劑七圓七十錢 壹劑四圓二十錢 特別製拾壹圓廿錢

この藥は大森醫學士が、「今日、西洋で行はれてゐる、信用のあるやせる藥といへばヨードチリンである。」といはれた、その藥を主劑として創製した錠劑で、實に學理的の靈藥であります。見苦しい血ぶごりやあぶらぶごりの方が用ひられると、姿形が美くしく整つて參りますし、またふごり過ぎて病氣の虞のある方が用ひられると、多過ぎる血液や脂肪分を適度に減じて、誠に身輕で丈夫な身體と變る特效藥でありますゝふとり過ぎてお困りの方は早く此靈藥を用ひて、すらりとした美容となつて下さい

血塊流下 月やくの藥

（藥名通經劑）（改正藥價）試劑壹圓六拾錢 中劑六圓拾五錢 小劑貳圓九拾五錢 頑固症用拾圓拾五錢

この月やくおろしの藥は、當館が最も苦心して完成した、流經專門の靈藥で、これを創製して以來、もう參拾年になります。この藥の特點で最も優れてゐるところは、これをいか程服まれても、決して胃腸を害したり、子宮などに故障を起したりすることのないことであります。月經の不順な方や月やくの止つた方などが、服用なされば不通や重い頑固な血塊でも快よく速かに通じさせますから、月經から起る子宮病の方や血の道で、惡血や古血や毒血などに苦しむお方は、速かにこの藥效をお試み下さい。

腋臭靈藥 わきがの藥

（藥名腋臭必治劑）（改正藥價）試劑貳圓拾錢 輕症用六圓拾錢 小劑參圓拾錢 頑固症用拾壹圓拾錢

このわきがの藥は、當館の最近發見した特效藥物を主劑として、非常な苦心の末に創製した完全靈妙な、わきが症の適藥でありますこの藥ならばわきがの病原となつてゐる肝腺や皮脂腺を、すつかり變質させることが出來ますから、どんな頑固な慢性のわきがでも、必ず完全に治すことが出來ます。これまで、どこの藥でも治らなかつた氣の毒なお方は、速くこの藥をお試みになり、永久にわきがの苦惱から脱れて下さい。

毛髮速生 毛はえ藥

（藥名ヘアーグロース）（改正藥價）試劑壹圓三十錢 中劑五圓三十錢 小劑貳圓三十錢 特別製拾圓卅錢

この毛はへ藥は、本館が多年の苦心研究と種々な實驗を積んで發見した、毛髮速生の靈藥であります。はえぎわやまゆげの薄い方や、腫物やその他の病氣のために、頭の髮の無い方や薄い方又はやけどの痕にて毛のない方などには不思議な位によく效きます。そこで總べて毛のあるべきところに毛の生えない方には、この上のない特効藥でありま す。口ひげや腋の下の毛などのない方などはどうか速かにお試み下さい

以上四藥 專賣 日新館製劑部
東京北品川町百五拾四番地及貳百參拾六番地
（振替東京參貳壹貳貳番）（電話高輪七九六番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

青年圖書

大久保四州著（第十四版）

青年訓話　軍神乃木

乃木將軍の感化の力の偉大なる事は本書が日に新に熱狂的大歡迎を受くるによりても知らる。

定價五拾錢＝送料四錢

月刊雜誌　帝國青年

青年の好伴侶▲指導者の研究舞臺▲修養研究向上娛樂▲青年團の連絡▲▲定價一部二十錢送料一錢▲半年分一圓廿錢▲一年分二圓三十錢税共

青年團中央部編纂
第四回青年團講習會講習錄

新時代の青年團

新時代に處して青年團體を如何に指導すべきかの問題は二十有餘大家の權威ある講演に依り解決さる

定價一圓五十錢＝送料六錢

青年團員手牒

定價十二錢＝送料三部迄二錢

今や日本全國の青年團は益々結束を堅うして團員相互の連絡を圖り互ひに激勵修養する爲に團員各自に『青年團員手牒』を所持せしむ而して本手牒は當に天下を風靡しつゝあり。

帝國青年の歌

定價五錢＝送料九部迄二錢

緬羊の飼ひ方

定價六十五錢＝送料四錢

東京市赤坂區溜池町三十一　**帝國青年發行所**　振替口座東京二一一六八番

○御註文の節は　處女の友　の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

全國町村長會通報機關

斯民

八月號

一部卅錢　一年三圓六十錢

琉球夜話……南國翁

牧民心書を紹介す……水野法學博士

戸數割に就て……田中內務事務官

富山縣營水電の近況……森本泉

農村の衛生狀態……潮衛生局長

米化主義の實際……難波法學士

農村女子の副業としての刺繡……山本鼎

村の新聞……野村宇十郎

農村娛樂問題……相田良雄

人類生活の方法……村田宇一郎

共同炊事組合……

□新講談　海底の錢……天野雉彦

△北海道、東北(六縣)新潟、岐阜、山口各府縣の會員讀者諸君には特に地方版を配布す

山崎延吉先生著

増補八版

婦人の覺醒

附表　女房の善惡競

價三十錢　送料二錢

村田宇一郎先生著

民育雜話

第一編(三版)　價三拾錢　送料二錢

第二編(最新刊)　價七拾錢　送料四錢

發行所　東京市赤坂區溜池町三十一　中央報德會　振替東京九七〇〇

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

男女日用書式

かな專習講義錄

總裁 小野鵞堂　會長 神部曉秋

名譽顧問 尾上柴舟 岡山高蔭

內容見本 郵代進呈

東京四谷左門町 大日本かな專習會

六ヶ月卒業

內務省囑託 天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢 送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町 丙辰出版社

振替東京三三三〇〇番

賜天覽臺覽

指導經營 研究實績 青年團處女會

天野藤男著 內務文部兩大臣其他序

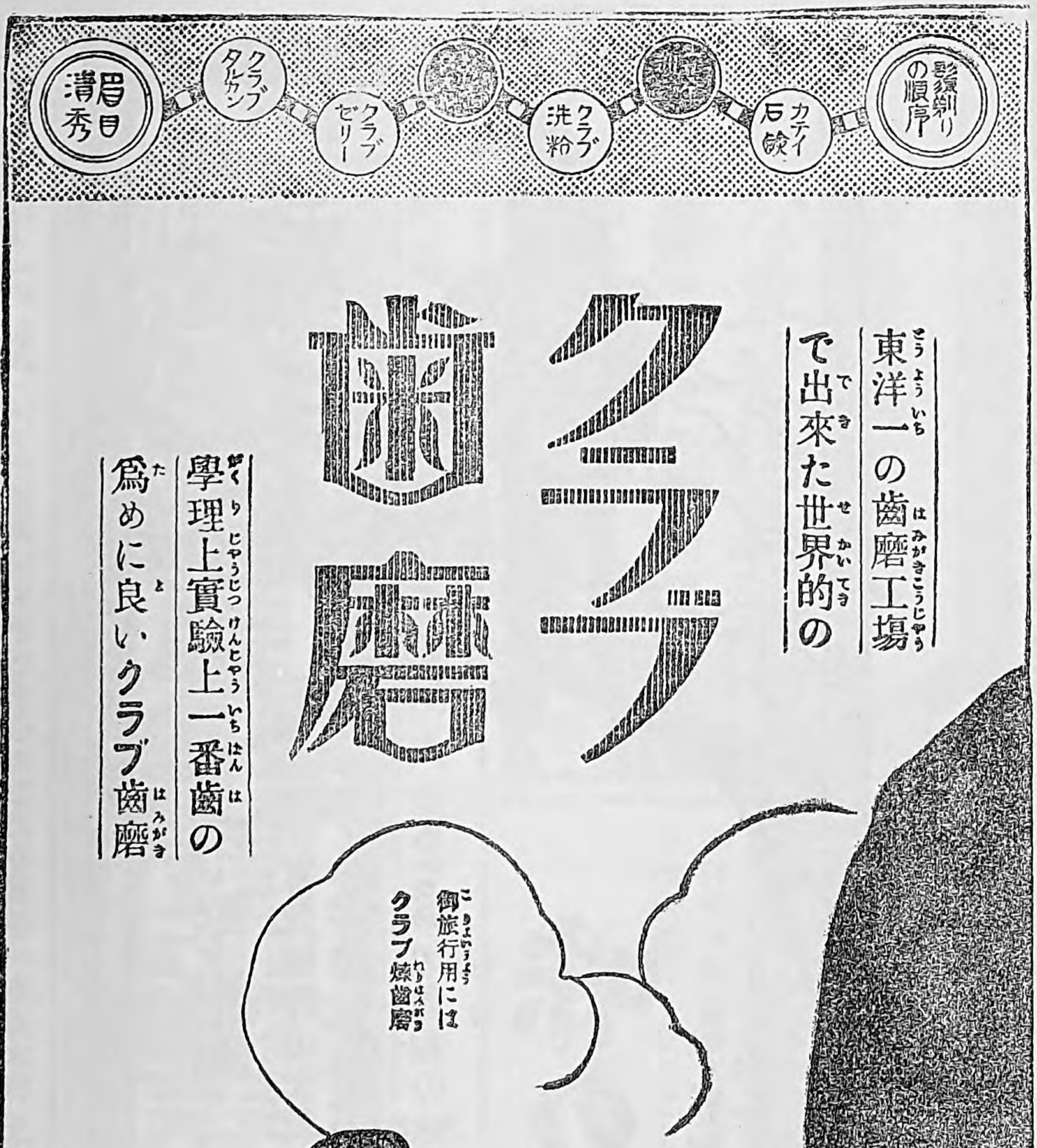
定價二圓五十錢 送料十二錢

◎好評六版◎

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目 振替東京三三三〇〇番 丙辰出版社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正十年七月二十七日印刷納本
大正十年八月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所